

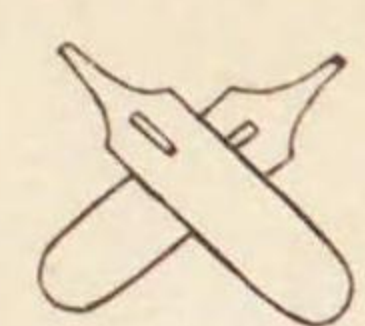
029.7  
Ke116k











慶應義塾圖書館和漢圖書目錄

第四卷

第五門 政治、外交  
第六門 經濟及社會問題  
第七門 統計  
第八門 法律



029.7  
Kell62  
II



39691

昭和十一年三月に於ける恒例書庫調査によりますと同月末の本塾図書館の蔵書冊数は總數二十四萬二千七百八十二冊其中洋書七萬五千〇七十六冊和漢書は十六萬七千七百〇六冊であります。さうして本館がかく多數の蔵書を有するに至りましたのは決して一朝一夕の事ではありません。初め明治三十八年教授田中一貞氏が本館監督を兼職して愈々蔵書の整理に着手したる時は其蔵書總冊數も僅々九千冊に過ぎなかつたのであります。然るに三年後の明治四十年十月和漢圖書目錄を刊行致しましたる時は早くも蔵書總數三萬冊となり明治四十五年慶應義塾創立五十年記念圖書館建築落成と共に印刷に付したる和漢圖書目錄再版には實に二萬一千〇五十八冊の蔵書と保管圖書一萬八千百〇九冊總計三萬九千六百六十七冊を掲載するに至りました。其後大正五年度より十年度迄は慶應義塾圖書館年報を發行し、同十一年に至り全部纏つた目錄編纂の議起り、昭和四年十二月洋書目錄を刊行致しました。次いで第三版和漢圖書總目錄の原稿整理に着手致しましたが日本國運の發展と慶應義塾の隆盛に伴ひ本館の増加冊數の躍進は實に目覺しきものがありました。目錄の十二門全部を一時に編輯する事は多くの歳月を要する事が明となりました。因て數回に分ちて印刷に付する事と致しまして便宜上第五門政治外交第六門經濟及社會問題第七門統計第八門法律の四門のみを先づ刊行する事となりました。此四門の冊數のみにても實に二萬六千五百七十八



冊（本年三月末現在）に上るのでありまして、再版和漢圖書目録の本館藏書數よりも多き事五千五百二十冊であります。藏書のいやが上にも益々増加せん事は本館の熱望して止まざる所でありまして、震災後増築したる舊書庫と同一大の新書庫は早くも既に收容の餘地なからんと致しております。此盛觀を見るに至りましたのは義塾當局の指導宜しきを得た爲と又一方塾外篤志家諸君の同情の賚ありしがために外なりません。即ち、日原、中井、星、濱野、三神、宮永、佐々木、小寺、小幡、根津、阿部、岩永、望月、渡邊、澤木の各文庫及び新井由三郎、小田切萬壽之助、平賀敏、波多野承五郎、朝吹常吉、門野重九郎其他諸君の貴重有益なる書籍及び研究資料の寄贈が其一端であります。尙目下整理中の圖書寄贈者の重なるものに尾崎行雄、松永安左衛門等の諸君があります。殊に支那研究の一機關たる望月文庫は其の基金に據り年々多くの資料を購入し行々は新井由三郎、田中萃一郎兩氏の遺書と共に相待つて支那研究者にとりて一寶庫たらんとしております。

昭和十一年四月

慶應義塾圖書館

### 凡例

- 一 圖書目録に掲載したる書籍は昭和七年三月末現在を以て標準としたるも多少其以後のものをも收容したり
- 一 圖書並列の順序は同一著者の同一書名は出版年の不明なる單行本を先にし次に出版年明なるものを置き次に叢書或は全集の類に收容せられたるものを置き寫本缺本は之を最後に置けり
- 一 叢書全集の類は同題名の下に一々書名と著者名を列記したるも總括書名にのみ番號を付したるものと收容の各書名に個々の番號を付したるものありて一定せず
- 一 總括書名にのみ番號を付したる叢書全集の類には内に收容したる書名を分出したるものと然らざる者あり是等は皆編輯の便宜に従へり
- 一 定期不定期を問はず繼續刊行物は雜誌に類して内容の雜然たるものは細目を分出せず單行本と同一視すべきものは之を分出せり
- 一 單行本にして内容の如何によりては之を重出或は三出しそれ以上に互るものは雜之部のみに出して重出せず
- 一 索引は最初藏書全目録編輯の計畫にて着手したれば本卷には附加せざる事とせり

昭和十一年四月



## 第四卷 目次

### 第五門 政治、外交

- (一) 政治及雜書……………一頁
- (二) 外交、植民……………六
- (三) 國際問題……………二六

### 第六門 經濟及社會問題

- 一、經濟……………二三
- (一) 經濟原論……………二三
- (二) 經濟學史及經濟史……………四
- (三) 財政……………一五
- (四) 銀行、貨幣及金融……………二五
- (五) 農業附山林、牧畜、水產……………三三
- (六) 商業……………三九
- (七) 工業……………四四
- (八) 運輸、交通……………五〇
- (九) 保險……………五四
- (一〇) 私經濟學……………五九
- (一一) 簿記及會計學……………四〇

### 二、社會問題

- (一一) 經濟一般及雜書……………四〇五
- (一) 社會問題及社會政策一般……………四一
- (二) 勞働問題……………五九
- (三) 人口及人種問題……………五九
- (四) 社會主義、共產主義及無政府主義其他……………六一
- (五) 經濟及產業組合……………六七
- (六) 貧民及救濟……………六五
- (七) 社會衛生及風教……………六三
- (八) 犯罪及感化……………六四
- (九) 婦人及兒童問題……………六七
- (一〇) 雜書……………六三

### 第七門 統計

- (一) 統計……………六九
- (二) 統計學……………六九

### 第八門 法律

- (一) 法制一般及雜書……………六五



# 第五門 政治、外交

(二)	(1)	法學通論、法理學	七〇九
(二)	(2)	法學通論	七〇九
(三)	(1)	羅馬法、法理學	七二〇
(三)	(2)	羅馬法、法制史並同資料	七二三
(四)	(1)	法制史並同資料	七二三
(四)	(2)	國法學、憲法、行政法	七三三
(五)	(1)	國法學	七四七
(五)	(2)	憲法	七四九
(五)	(3)	行政法	七五五
(六)	(1)	民法總論	七六一
(六)	(2)	民法總論	七六一
(六)	(3)	物權	七六六
(六)	(4)	債權	七六九
(六)	(5)	親族法、相續法	七七三
(六)	(1)	商法一般	七六六
(六)	(2)	商法總則	七六九
(六)	(3)	會社法	七八〇
(六)	(4)	商行為法	七八二
(六)	(5)	保險法	七八三

(七)	(6)	手形法	七九四
(七)	(7)	海商法及海法	七九五
(八)	(1)	無體財產權法	七九七
(八)	(2)	刑法、刑事政策、監獄法	七八八
(九)	(1)	刑事政策	七八八
(九)	(2)	刑獄	七九四
(九)	(3)	監獄	七九四
(一〇)	(1)	民事訴訟法、刑事訴訟法、破產法	七九四
(一〇)	(2)	民事訴訟法	七九四
(一〇)	(3)	刑事訴訟法	七九八
(一一)	(1)	破產法	八〇一
(一一)	(2)	國際法及國際私法	八〇二
(一二)	(1)	社會立法	八〇八
(一二)	(2)	信託法	八〇九
(一三)	(1)	判決例	八〇〇
(一四)	(1)	法令理由書及草案	八〇三
(一五)	(1)	法草	八〇三
(一五)	(2)	雜誌	八〇七







政治、外交 (政治及雜書)

蟻の念 (梅辻規清著 昭和四(日本經濟大典第三三卷))	一九E	一/三
同	二E	九/三
有栖川宮島津左府板垣參議木戸參議建白 寫本	一元	〇
アルゼリニ於ケル行政 貴族院事務局編 明治三二	五P	元
同	五P	一〇
朝比奈知泉文集 朝比奈知泉著 昭和二	六P	五
朝日政治經濟叢書 朝日新聞政治經濟部編		
一 税の解説 朝日新聞政治經濟部編 昭和五	二E	六
二 小額金融の話 朝日新聞政治經濟部編 昭和五	二E	六
三 樞密院問題 大塚喜平等編 昭和五	七P	五
四 中小商工業の話 昭和五	七E	五
五 農家經濟の改善 昭和五	七E	五
六 アタマン・セミヨノフ及其の生活と活動 ゴル	八H	五
七 チンスキー著、對露同盟會譯 大正九	八H	五
八 輓近英國政治思想論 正一三(大日本文明協會大正三年度刊行書)	四P	一五
九 萬國平和論 兵藤三郎著 明治四〇	三P	一
一〇 萬國形勢總覽 岡田好成、内村邦藏共譯 明治一八	H	三〇
一一 萬國統一論 中澤丈右衛門著 明治二一	H	三〇
一二 巴爾幹の將來 長瀬鳳輔著 大正九(通俗國際文庫	五P	五
一三 婆心錄 明治二六(樂翁公遺書下卷)	一M	五

同	一七M	四/一
米國政治外交概観 藤井新一著 昭和三(文明協會ライブラリ昭和三年刊行書)	四P	二七
米國大勢論斷 土屋元作者 大正一三	四P	一五
比島の現状 臺灣總督官房調査課編 大正一二	五P	一四
比島に關する米國特派調査委員の報告 臺灣總督官房調査課編 大正一二	五P	一四
辨妄 安井息軒著 昭和四(日本儒林叢書第四册)	一五M	五/四
白耳義ニ於ケル獨逸ノ行政 外務省臨時調査部編 大正七	八P	六
白耳義と歐羅巴戰亂 ファイユ著 大正四	三P	八
伯林市行政ノ既往及現在 大槻龍治報 明治三四	五P	二四
ピアード博士講演集 財團法人東京市政調査會編 大正一二	五P	二六
日耳曼 大宰相比斯馬克政略起原 加藤正之譯 明治九	一三	三
戊戌夢物語 高野長英著 明治三六(改定史籍集覽 第一七册)	三H	三/七
同 大正一三(仙臺叢書第七卷)	七M	四/七
同 寫本	一元	六
防海策 明治三九(佐藤信淵家學大要)	一E	一〇
防海餘論 明治三九(佐藤信淵家學大要)	一E	一〇
同 昭和二(佐藤信淵家學全集下卷)	九M	七/下
木堂政談集 岸田友治編 大正一一	四P	二八

政治、外交 (政治及雜書)

同 松浦武四郎校 昭和二(隨筆文學選集第一卷)	一〇M	三/一
同 關人と黨人 鷗崎鷺城著 大正二	一P	二六
日本米禍來る 樋口麗陽著 大正一三 再版	七P	二五
危機 米國膨脹論 正岡猶一著 大正三	三P	二五
米國議會(第七回)ニ於ケル重要案件 日本銀行紐育代理店監督役報 大正一〇	五P	二五
米國の觀たる滿洲問題 ヤング等著、太平洋問題調査會研究部譯 昭和四(太平洋問題叢書二)	七P	六
米國カリビアン政策と滿蒙問題 陸軍省調査班編 昭和六	七P	三七
米國國防日 外務省情報部編 大正一三	五P	三九
米國加州排日事情 千葉豐治著 大正一〇(日米關係調査蒐録第一輯)	八P	二七
米國ニ於ケル第三黨運動 外務省情報部編 大正一四	六P	一五
米國に於ける市政調査 東京市政調査會譯 昭和二(市政調査資料第一三〇號)	六P	七
米國の研究 清澤洸著 大正一四	四P	二六
米國の個人主義 ファーバー著、星一譯 大正一二	四P	一七
米國の政治組織及活動 大山卯次郎著 昭和五	七P	一四
米國の東漸 石川實著 大正九(通俗國際文庫第六卷)	五P	五
米國恐るゝに足らず 池崎忠孝著 昭和四	七P	二四
米國聯邦治案策 ドレーバー著、尾崎行雄譯 大正一五(尾崎行雄全集第一卷)	二M	二/一

牧民忠告 張養浩著	一六	一五
牧民忠告解 樋口好古著 大正四(日本經濟叢書卷一四)	九E	一/四
牧民後判國字解 松平定綱著 昭和七(近世地方經濟史料第三卷)	三五E	三/一
牧民心書 丁若鏞著 明治四四	一P	一〇五
同	一〇三	九/三
同 大正一〇(朝鮮研究叢書第一卷)	八〇	五/五
同 大正一五	四P	三〇九
同 細井肇譯 大正二〇 再版(通俗朝鮮文庫 第一輯)	四P	三〇
ボリシェビキの理論と實際 ラッセル著 前田河	四P	七
ボルシェビズムとファッシズムと民主主義 ニッ	七P	三九
テイ著、田中力譯 昭和八(社會文庫第一八册)	七P	三九
ボルシェウイズムとアメリカニズム外現世の五大	七P	三九
問題 浮田和民著 昭和五(文明協會ライブラリ	七P	二四
和五年刊行書)	七P	二四
ボスニヤ・ヘルツェゴヴィナの併合に就いてトル	七P	二四
ストイ著、深見尙行譯 昭和六(トルストイ全集 第二〇卷)	八M	一〇
撫育教導傳 永山盛富著 昭和七(近世地方經濟史 料第六卷)	三五E	三/六
武家七德後篇 正司秀祺著 大正五(日本經濟叢書 卷二三)	九E	一/三
同	一五E	三/三
同	一六E	一/三







政治、外交 (政治及雜書)

治國修身錄 昭和四 (日本經濟大典第一三卷)	三E	九/三	一
治國要法 長野豐山著 昭和四 (日本經濟大典第三卷)	九E	一/三	一
同	三E	九/三	一
治鄉三約 陸世儀著 光緒二一 (陸桴亭先生遺書第一八册)	四	三/八	一
沈文肅公政書 沈葆楨著 光緒六	二〇五	二四	三
黨國 陳公博最近言論集 陳公博述 民國一七	三〇五	一三〇	一
陳公博先生最近論文集 陳公博著	三〇五	一三〇	一
治政談 篠原善一著 昭和五 (日本經濟大典第四卷)	九E	一/四	一
同	二E	九/三	一
地租營業稅 地方委讓ニヨル衆議院議員選舉失權見込者數調 衆議院議員選舉法調査會刊 (參考資料第七號)	九P	三	一
地帶收用 弓家七郎著 大正一五 (市政調査資料第九號)	六P	六	一
第一回乃至勅語及上奏集 衆議院事務局編 明治三七第二〇議會勅語及上奏集 (衆議院先例彙纂附錄)	六P	二七	一
褚民誼最近言論集 褚民誼述 民國一八	三〇五	六	一
朝鮮獨立騷擾史論 青柳南冥著 大正一〇 再版	八〇〇	二四	一
朝鮮獨立運動秘話 千葉了著 大正一四	四P	二四	一
報朝鮮事件 水谷新八編 明治一五	八〇〇	五七	一

挑戰人の政治 松田雪堂著 大正一三	四P	一五	一
朝鮮國遣使ニ付閣議分裂事件 宮島誠一郎著 昭和四 (明治文化全集第二二卷)	五M	一/三	一
朝鮮問題講演集 大正一一 (朝滿叢書第五卷)	八M	三/四	一
朝鮮問題を通じて見たる滿蒙問題 附其 崔棟著 提案 昭和七	九P	六	一
朝鮮に於ける新施政 朝鮮總督府編 大正九	五P	六	一
朝鮮を直視して 龜山榮吉著 大正一三	四P	二六	一
朝鮮論 大庭寬一著 明治二九	五P	二三	一
朝鮮論 尾崎行雄著 大正一五 (尾崎行雄全集第三卷)	二M	二/三	一
同	二M	二/三	一
近朝鮮政治史 高權三著 昭和五	七P	一七	一
朝鮮政治史綱 高權三著 昭和八	八P	三七	一
朝鮮施政の方針及實績 朝鮮總督府編 大正四	二P	九	一
朝鮮總督府施政年報 (明治四三年度) 朝鮮總督府編 明治四五	三R	六	一
朝鮮統治三年間成績 朝鮮總督府編 大正三	二P	四	一
町村是調査綱要 橫山雅男講 岩手縣內務部編 明治四二	一P	九	一
朝鮮類要 趙昇撰 (知不足齋叢書第一〇〇册)	五	一/〇	一
中米及び墨西哥 柳澤健著 (世界の今明日一四)	七P	三六	一

政治、外交 (政治及雜書)

中國獨立運動的基點 戴季陶著 民國一七 增訂二版	三〇五	二	一
中國學生運動小史 查良鑑著 民國一六	三〇五	六	一
中國秘密社會史 後藤英男記 大正一五 (滿鐵調査資料第五〇編)	三二H	七	一
同 大正一四	三〇H	六	一
中國革命之爭論問題 瞿秋白著 一九二八	七P	六	一
中國革命史 貝華編 民國一五	三〇四	三	一
中國革命史 印維廉著 民國二〇	三〇五	一五	一
中國革命與共產黨 瞿秋白著 一九二八	七P	六	一
中國革命與三民主義 施存統著 民國一七 (革命叢書之五)	七P	六	一
同	三〇五	九	一
中國國家主義青年團致國民黨書中國國家主義青年團第三次全國代表大會對時局宣言 民國一七	八P	九	一
中國國民革命之使命 范錡著 民國一七 再版	三〇五	六	一
中國國民黨中央執行委員會組織系統 滿鐵上海事務所編 昭和三	二P	六	一
中國國民黨第一次全國代表大會宣言 民國一八	三〇五	一七	一
中國國民黨第二次全國代表大會宣言 民國一八	三〇五	一八	一
中國國民黨第三次全國代表大會宣言及決議案 民國一八	三〇五	一	一
中國國民黨重要宣言彙編 黨義研究會編 民國一八	三〇五	一	一

中國國民黨重要宣言訓令集 中國國民黨陸軍軍官學校政治部編 民國一四	七P	一四	一
中國國民黨の沿革與組織 陳味涼著 民國一六	三〇五	六	一
中國國民黨の思想的根據 昭和二 (滿鐵パンフレット第三八號)	六P	九	一
中國國民黨勞工政策的研究 張延瀛著 民國二〇 再版 (中國勞工政策學會叢書一)	三〇五	二四	一
中國國民黨史 華林一著 民國一七 (新時代史地叢書)	七P	六	一
中國國民黨史稿 鄒魯編 民國一八	三〇五	七	一
中國國民黨所代表的是什麼 陳公博著 民國一七	七P	七	一
同	三〇五	七	一
中國國民黨的組織法 民國一七 (黨化小叢書六)	三〇五	一五	一
中國國民黨黨義 玉恒著	三〇五	六	一
中國國民黨要人演講集 汪精衛等共著 民國一八 再版	三〇五	五	一
中國民話論 鮑明鈞著 民國一四	三〇五	五	一
中國民衆運動之史的發展 袁平凡編 民國二〇	七P	一六	一
同	七P	一六	一
中國問題之回顧與展望 陶希聖編 民國一九	三〇五	八	一
中國問題裏的幾個根本問題 安立德著 唐鳴時譯 民國一七	三〇X	八	一
中國政黨史 印維廉編 民國六 再版	七P	六	一
中國存亡問題 孫逸仙著 民國一八	三〇五	二〇	一



政治、外交 (政治及雜書)

中國土地政策 潘楚基著 民國一九	三六	西	一
中華排日論 宮田信一著 大正一〇 再版	四P	六	一
中華革命黨宣言草案	三Q	六	一
中華民國政府大綱改訂 曾友豪編 民國一五 改訂再版	三五	〇	一
中華政治組織綱領 南滿鐵調查課編 大正一三 (滿鐵調查資料第三七編)	九X	B	八
中華民國國治芻議 伍廷芳著 民國四	三五	七	一
中華黨國の裸體を見よ 白逾桓著 昭和四	八P	六	一
籌蒙芻議 姚錫光著 大正一〇 (滿鐵叢書第五卷)	七M	六	五
中南支那ニ於ケル外國人ノ勢力擴張ノ手段其他 菊池武芳著 大正六 (南支那及南洋調査第一〇)	八P	一	一
中日現狀之比較 黃耀武著 民國一	五P	一	一
第三 中央政治通訊 一九二八	二P	七	二
中央ヨーロッパ國民運動 (金雞文獻二)	八P	一	一
書籙緒論 胡太初著 寶祐元	一〇五	二	八
同 民國一〇 (百川學海第一四册)	五	〇	一
中立正黨政談 第一三—六四號 政談社編 明治一三—一五	四P	二	四
中山政治ABC 朱采真著 民國一八 再版 (ABC叢書)	三五	一	四
中山叢書 孫逸仙著 民國一七	一四	一	四

D

大亞細亞主義論 小寺謙吉著 大正五 再版	三P	二	四
大亞細亞主義と日支關係、大亞細亞主義與中日關係 中谷武世著 昭和八	七P	〇	四
大亞遊記 細井肇著 大正八	七P	〇	一
大道に立ちて 蟠川新著 大正一四	八P	一	一
大英國霸業難 へットナー著、田中萃一郎譯 大正六 三版	四P	三	一
同	五〇	五	一
大英國民 プーミー著、加藤直士譯 明治四二 (大日本文明協會第一期刊行書第五卷)	一P	〇	一
同	六P	二	五
大學治平章大意考 保岡吉甫著 稿本	二元	五	一
大學或問 天明八 熊澤蕃山著	二七	一	五
同 明治四二 (少年必讀日本文庫第五編)	H	〇	〇
同 大正三 (日本經濟叢書卷一)	九E	一	一
同	一五E	一	一
同	一六E	一	一
同 大正七	三五E	一	一
同	一〇三	八	九
同 昭和三 (日本經濟大典第三卷)	一九E	一	一

同

同 寫本

代議立法與直接立法 董修甲著 民國一五 (百科小叢書第九四種)	三五	五	一
彌代議政體 ミル著、前島孝義譯 明治二五 三版	四P	九	一
同 明治三六 六版	七P	一	一
代議政體 ミル著、永峰秀樹譯 昭和四 (明治文化全集第七卷)	一五M	七	一
大金澤建設と大野築港に就ての私見 光谷次郎松著	八P	九	一
第九政戰錄 鈴木梅四郎著 大正九	五P	六	一
大日本憲政史 大津淳一郎著 昭和二、三	六P	〇	〇
第一、二卷 憲政濫觴時代			
第二 卷 國會開設運動時代 三黨鼎峙時代			
第二、三卷 憲政準備時代			
第三—六卷 明治憲政時代			
第六—一〇卷 大正憲政時代			
大日本政戰記錄史 政戰記錄史刊行會編 昭和五	八P	六	一
大日本政黨史 若林清著 大正二 再版	八〇	〇	一
大日本帝國議會誌 大日本帝國議會誌刊行會編 昭和二—六	二P	五	六
第一 自第一議會至第三議會 (明治二三年—同二五年)			
第二 自第四議會至第七議會 (明治二五年—同二七年)			
第三 自第八議會至第九議會 (明治二七年—同二九年)			

政治、外交 (政治及雜書)

第四 自第一〇議會至第一三議會 (明治二九年—同三二年)			
第五 自第一四議會至第二〇議會 (明治三二年—同三七年)			
第六 自第二一議會至第二三議會 (明治三七年—同四〇年)			
第七 自第二四議會至第二六議會 (明治四〇年—同四三年)			
第八 自第二七議會至第三三議會 (明治四三年—大正二年)			
第九 自第三一議會至第三六議會 (大正二年—同四年)			
第一〇 自第三七議會至第三九議會 (大正四年—同六年)			
第一一 自第四〇議會至第四一議會 (大正七年—同八年)			
第一二 自第四二議會至第四四議會 (大正八年—同一〇年)			
第一三 自第四五議會至第四七議會 (大正一〇年—同一一年)			
第一四 自第四八議會至第五〇議會 (大正一一年—同一二年)			
第一五 自第四八議會至第五〇議會 (大正一二年—同一四年)			
第一六 自第五一議會 (大正一四年—昭和元年)			
第一七 自第五二議會至第五四議會 (昭和元年—同三年)			
第一八 總索引			
第二次普選を前にして 附總選 永井榮藏等共著 舉便覽 昭和五	七P	二	六
第二の世界大戰 英米の 高津正道著 昭和五	七P	一	元
第六十一回帝國議會ニ於ケル芳澤外務大臣演說 芳澤謙吉述	二P	五	一
第六十回帝國議會ニ於ケル芳澤外務大臣演說 昭和七	二P	四	一
第四次全國代表大會與中國國民黨之復興 中國國民黨中央執監委員非常會議編 民國二〇	七P	一	六
第四十六議會と農政問題 古瀬傳藏編 大正一三	五P	二	六
大帝國 第一卷 第二卷 (二號缺) 第二卷 (二、五、七、一〇) 明治三二年六月—同三三年一月	四N	八	五



政治、外交 (政治及雜書)

大東合邦論 森本藤吉著 明治二六	H	一三	一
大都市行政比較調査報告 東京市文書課編			
第一輯 都市行政組織 昭和二	六P	四	一
第四輯 都市教育行政に關する調査 昭和三	四K	三	一
第五輯 都市社會行政に關する調査 昭和二	四Q	三	一
大都市公企業比較調査 大都市調査統計協會編	三〇E	七	三
第一編 電氣軌道事業			
第二編 電氣供給事業			
第三編 乘合自動車事業			
大都市制度調査資料 東京市刊			
第二一四輯 外國に於ける大都市制度 昭和七	二〇P	七	三
大東遊記 對星樓山人著 大正一一(滿鮮叢書第二卷)	八M	三	一
田園都市 內務省地方局有志編 明治四五 六版	一P	四	一
土着の議 藤田東湖著 昭和五(日本經濟大典第四卷)	九E	一	一
同 明治四二(東湖全集)	三E	九	一
道義國家の原理 大川周明著 大正一四(社會教育研究所リフレット第三)	四P	一	一
獨逸エルサス・ロートリンゲン制度要領 貴族院事務局編 明治三一	五P	元	一
同 獨逸復興の原動力 池田林儀著 昭和四	七P	三	一

獨逸富強論 ヘルフェリヒ著、永井柳太郎譯 大正五	七P	二五	一
獨逸軍國主義 民友社編 大正五(現代叢書)	三P	五	一
獨逸人の北米合衆國の極東政策 ハーゲン述、喜多川見たる 孝太郎譯 大正七	八P	七	一
獨逸國か滅亡か ベルンハルディ著、西村二郎譯 大正五 三版	四P	二	一
獨逸國民の將來 ベルンハルディ著、大瀨甚太郎譯 大正四	三P	一三	一
同 大正四 三版	三P	一五	一
獨逸皇帝 山口小太郎著 大正三	一〇三	三	一
獨逸ニ於ケル都市計畫法制及行政 復興局長官官房計畫課編 昭和三(復興局調査彙報第九號)	六P	二六	一
獨逸の膨脹 アンドリヨン著 大正五 再版	四P	一〇	一
獨逸の現勢 望月小太郎編 大正二	二P	五	一
同	二P	六	一
獨逸の軍國主義 トライチケ述、マツカーベ著、大原里靖抄譯 大正五	四P	四	一
獨逸の誇大妄想 ライヒ著、內田魯庵譯 大正四	三P	五	一
自國を誤り世獨逸の主戰論 附英國名ベルンハル界に災せる獨逸の主戰論家の駁論 ティ著、早稻田大學編輯部譯 大正三	三P	七	一
同 大正四 六版	三P	四	一
獨逸世界政策 ビューロー著、大日本文明協會譯 大正四(大日本文明協會第三期刊行書)	六P	三〇	一

E

同 獨逸戰前の真相 ベーエンス著、町田梓樓譯 大正五	四P	六	一
獨逸社會民主黨 煙山專太郎著 大正八(通俗國際文庫第二編)	五P	三	一
獨逸帝國と佛蘭西共和國 高桑駒吉著 大正三	三P	八	一
獨逸都市に於ける住居行政 內務省地方局編 明治四(地方叢書泰西資料)	二Q	六	一
ドイツ都市に於ける土地區劃整理 東京市政調査會編 昭和二	六P	六	一
獨逸は何故敗けぬか セラード著、島谷亮輔譯 大正七	六P	二七	一
獨語 友部好正著 昭和三(日本經濟大典第一四卷)	一九E	一	一
同	三E	一	一
獨逸政治論叢書 大畑書店刊			
第一卷 現代獨逸政治學概論 今中次磨著 昭和七	七P	三	一
第二卷 現代獨逸政治史總論 今中次磨著 昭和七	七P	三	一
第四卷 民族的社會主義論 今中次磨著 昭和七	八Q	三	一
動亂支那の真相 長野期著 昭和六	七P	二	一
同澤主義(三民主義)を排す 菊池武德著 昭和三	八P	四	一
戒大演說會傍聽筆記 明治一四(大阪日報抄萃)	三三	一	一
英米議會典型 クッシング著、法制局譯 明治二三	五P	二六	一
同	H	九	一
英佛米首相官邸之姿鏡 後藤新平著 大正一一	七P	二九	一

政治、外交 (政治及雜書)

永嘉先生八面鋒 陳傳良著 太田泰藏閱 天保一四	三〇	五	四
同	四	五	四
同 天保一五	H	四八	四
同 嘉慶一八(湖海樓叢書第五一五八冊)	四	七八	四
英國地方行政法 衆議院議員選舉法調査會刊	六J	三	一
千八百九英國地方行政法 衆議院議員選舉法調査會刊	六J	三	一
英國現代史 煙山專太郎著 昭和五	三H	一	一
英國議院政治論 王權政府諸會議篇 トット著、尾崎行雄譯 明治一五	七P	七	一
同 大正一五(尾崎行雄全集第一卷)	二M	二	一
同	一七M	九	一
英國議事院談 福澤諭吉譯述 明治二	二〇	六	二
同	一三	二	二
同 明治三一(福澤全集卷二)	一M	一	一
同	一M	一	一
同 大正一五(福澤全集第二卷)	九M	一	一
同	二〇M	一	一
同	五〇	一	一



政治、外交 (政治及雜書)

英國議事院談卷之	アランド著、福澤諭吉譯	明治二	二〇	一
英國自治制度の歴史的考察	小川市太郎著、昭和三	八P	四	一
英國自治制度の特質	小川市太郎著、昭和二(市政調査資料第一四號)	六P	六	一
英國經綸上の大問題	バーカー著、杉山其日庵譯	五P	四	一
英國憲政論	バジョット著、吉田世民譯	大正七	一四H	一
同	(興亡史論第八卷)		五	一
同	昭和六(世界興亡史論第八)		三H	一
英國々會政治	トッド著、林田龜太郎、岸清一共譯	明治二六	一P	一
英國々會史	スコット著、高田早苗譯(早稻田叢書)	明治三二	再版	一
英國の住宅政策	河合榮治郎著、昭和二(市政調査資料第一二號)	六P	六	一
英國の憲法政治	マリオット著、占部百太郎譯	大正三	三P	一
同			三P	一
同			三P	一
同			五〇	一
同			一〇〇	一
英國の總選舉	中村三之丞著	大正一一	四P	一
英國を眺めて	萩原清次郎著	昭和四	八P	一
英國政治の動向	茂木惣兵衛著	昭和八(世界の今)	七日一二	一

英國政治制度	占部百太郎著	昭和三(政治ライブラリー第七卷)	六P	一
英國政治制度論	藤井新一譯	昭和五(文明協會ライブラリー)	七P	一
英國政界革新ノ闘將コブデン、ブライイト二大名	演說附英國穀物條例	武藤山治編	大正二三	七P
英國衆議院先例類集	ハッセル著、法制局譯		五P	一
英國衆議院先例類集	法制局編	明治二三	H	一
英國炭坑國有問題	竹内正巳編	昭和七(統制經濟に關する資料第三)	八P	一
英國都市計畫法	復興局長官房計畫課譯	昭和二	六P	一
英國と其領土	デッケルト著、煙山專太郎譯	大正一〇(大日本文明協會大正一〇年度刊行書第六卷)	四P	一
英國は何處へ行く	トロッキイ著、萩原久興、越智道順共譯	大正一五	再版	七P
政治繪入小學讀本	武藤山治著	昭和三	六P	一
英領印度現行統治組織	ホーレン著、臺灣總督官房調査課編	大正一三(南洋支那及南洋調査第九一輯)	五P	一
英政沿革志	ヘンスマン著、大島貞益譯	明治一二	七P	一
英政如何	ホンブランク著、鈴木唯一譯	昭和四	五M	一
英私私記	劉錫鴻著	光緒二二(元和江氏靈鷲閣叢書第二集第一)	四	一
英蘇合併論	吉村源太郎編	大正一〇	五P	一
英帝國の統一問題	吉村源太郎調	大正七	五P	一

F

英帝國主義與中國	唐文倩著	民國一八	三〇五	一
永續すべき平和の基礎	コスモス著、煙山專太郎譯	大正六	四P	一
埃及問題	吉村源太郎稿	大正一〇	五P	一
益軒先生與宰臣書	(益軒全集卷三)		五M	一
燕居偶筆	寫本		二九	一
袁政府偽造民意密電書後	梁啓超著	民國五	二P	一
袁世凱偽造民意紀實	雲南政報社編	民國五	五P	一
鹽鐵論	桓寬著	張之象註	寶永四	五
同	天明七		六	一
演說集	尾崎行雄述	昭和二(尾崎行雄全集第六卷)	一七M	一
江藤司法卿建白	寫本		一元	一
ファッションに對する闘争	ニン著、鈴木安藏譯	昭和	七P	一
ファッションの國家思想	ベルンハルト述、川崎末五郎編譯	昭和八(社會思想パンフレット第一二輯)	七P	一
ファッション論	エルコリ著、吉野次郎、萬里信一郎共譯	昭和七	七P	一
ファッション政治理論	ロッコ著、長崎太郎譯	昭和	七P	一
ファッションとは何か	後藤虎之助著	昭和七	七P	一
同			七P	一
伊太利にファッション運動	アキラ著、廣島定吉譯	昭和二	八〇	一

政治、外交 (政治及雜書)

ファッショント國家論	貝島兼三郎	昭和八	七P	一
ファッショント政府の經濟政策	枝吉勇編	昭和七	三E	一
(統制經濟に關する資料第一)			三	一
ファッション	藤井悌著	昭和四(社會科學叢書第二三卷)	七P	一
同	(社會經濟體系第八卷)		六E	一
ファッション思想・運動	土方成美著	昭和七	八P	一
ファッション研究	改造社編	昭和七	七P	一
ファッション研究	リッペー著、磯貝實譯	昭和七	七P	一
ファッションと日本の文化及教育	岡田怡川著	昭和七	七P	一
ファッションの擡頭と既成政黨の没落過程	小松東三郎著	昭和七	七P	一
ファッション運動とムッソリーニ	下位春吉述	昭和二	四P	一
同			四P	一
フィリピン獨立問題	三神敬長著	大正八	六P	一
官府治一覽	東京府編	明治五	二P	一
筆と舌	尾崎行雄著	大正二四	四P	一
婦人參政權論	森口繁治著	昭和二(政治ライブラリー第六卷)	六P	一
不恤緯	蒲生君平著	安政五	一五	一
同	明治四四(蒲生君平全集)		七M	一



政治、外交 (政治及雜書)

不恤緯	蒲生君平著 大正六 (日本國粹全書第二〇輯)	一八M	四	一
改府縣制要論	櫻井繁治著 昭和二	四P	三	一
正府縣制要論追補	櫻井繁治著 昭和四	七P	五	一
福惠全書	黃六鴻編 小畑行簡訓譯 嘉永三	一〇五	三	一
同	嘉永六	五	六	一
同		H	五	一
同		H	五	一
復興亞細亞の根本精神	安岡正篤著 (社會教育研究所リフレット第四)	四P	一	一
復興亞細亞の諸問題	大川周明著 大正一一	五P	一	一
復興中國國民黨	汪精衛等述 民國二〇	七P	二	一
昭和四年十二	復興事業進捗狀況 復興事務局編	八P	五	一
昭和五年十二	復興事業進捗狀況 復興事務局編	八P	五	一
月末日現在	復興事業進捗狀況 復興事務局編	八P	五	一
佛國議院典型	法制局編 明治二三	H	四	一
佛國ノ比例代表法採用ノ場合ニ於ケル議會委員會ノ報告	衆議院議員選舉法調査會刊	九P	三	一
富國強兵論	平井元治郎述 明治二	二〇	三	一
佛國ノ宣傳	參謀本部譯 大正八 (海外事情號外)	六P	八	一
佛國市町村制	衆議院議員選舉法調査會刊	六J	六	一

佛國都市計畫法	復興局長官官房計畫課譯 昭和二	六P	二	一
富國獻策	伊藤大三郎著 昭和五 (日本經濟大典第四卷)	一九E	一	一
同		二E	九	一
富國強兵論	平井元治郎述 明治二	一〇	三	一
普國東部六州市制、普國東部七州町村制	衆議院議員選舉法調査會刊	六J	七	一
普國東部六州州制	衆議院議員選舉調査會刊	六J	六	一
富國雜議	龜田翼著 大正四 (日本經濟叢書卷一九)	九E	一	一
同		一五E	一	一
同		一六E	一	一
同		二五E	一	一
同		一〇三	一	一
同		一九E	一	一
同		一九E	一	一
同		二E	九	一
富國存念會	仁井田好古著 大正六 (日本經濟叢書卷三二)	九E	一	一
同		一六E	一	一
同		二五E	一	一

政治、外交 (政治及雜書)

同		一〇三	九	一
同	(日本經濟大典第四卷)	一九E	一	一
同		二E	九	一
福井縣自治民政資料	木戸正榮編 明治四五	八P	四	一
福澤先生明治七年一月一日の詞	寫本	二四	三	一
福澤論	吉先生井上外務卿ニ送ル 意見書 寫本	二四	一	一
フランス革命の原理	ロベスピエール述、内田佐久郎譯 昭和三 (革命家演說集第四編)	七P	三	一
フランスの内亂	マルクス著、山田鐵治譯 昭和六 (希望閣文庫三)	七P	一	一
古澤滋篇	古澤滋著 昭和六 (現代日本文學全集第五卷)	二六B	四	一
普選問題統體觀	江木衷著 大正一一	五P	一	一
普選に直面して政治の倫理化を提唱す	後藤新平著 大正一五	六P	一	一
普選の話	田川大吉郎著 大正一四	四P	一	一
普選を中心として	今井嘉幸著 大正一一	四P	一	一
普選讀本	尾崎行雄、林田龜太郎共著 大正一五	一〇P	二	一
普選運動と病的思想	田中幸一郎著 大正九	四P	一	一
同		四P	一	一

再び起ち全大衆に呼びか	箕浦春浪著 昭和七 二版	七P	三	一
普通民權論	福本巴著 昭和二 (明治文化全集第五卷)	一五M	一	一
佛領印度支那國	佛領印度統治要覽 及南洋調査第一 情調査第一卷 佛領印度統治要覽 七五輯	八P	一	一
普通選舉	佐々木惣一著 大正九	五P	一	一
普通選舉法大意	都新聞社編 大正一四 三版	四P	一	一
普通選舉論	吉野作造著 大正八 三版	五P	一	一
普通選舉と無產政黨	安部磯雄著 (社會問題講座)	六P	一	一
外事彙報	第一號 (大 外務省政務局發行 正三年)	七N	一	一
外人の觀たる最近の朝鮮	朝鮮總督府編 昭和七 (調査資料第三五輯)	八P	一	一
外國に於ける大都市制度	東京市役所編 昭和七 (大都市制度調査資料第四輯)	一〇P	一	一
街路樹	井下清講 大正一四 (都市講話第一冊)	六P	一	一
街頭政治讀本	佐々弘雄著 昭和八	七P	一	一
學堂回顧錄	尾崎行雄述 大正二	一P	一	一
學堂漫談	尾崎行雄著 昭和四	七P	一	一
學堂論叢	尾崎行雄著 大正一五 (尾崎行雄全集第四卷)	二M	一	一
同		七M	一	一
學堂論叢	尾崎行雄著 昭和二 (尾崎行雄全集第七卷)	二M	一	一







政治、外交 (政治及雜書)

魏文毅公奏議	魏裔介著 (畿輔叢書初篇第三〇一—三〇三册)	四	三〇一—三〇三
議員が大臣となるは曠職なり	古谷榮一述 昭和	七P	三三四
議院感謝表決及軍費豫算	衆議院事務局編 明治二七 (參考叢書第四)	H	二三
帝國院論策	林包明著 明治二三	H	二五
議員選舉運動秘訣	古屋景晴著 昭和四	八P	二六
議事必携	バルグレーツ著、小幡篤次郎著 明治一	七P	二六
議事院談後編	中上川彦次郎譯 福澤諭吉閣 明治七	一三	二
議事章程	昭和三 (明治文化全集第四卷)	一五M	一
議會演說集	石川安次郎編 大正一—三 (島田三郎全集第一卷)	八M	一
議會早わかり	東京日々新聞政治部編 昭和五	七P	九
議會の話	緒方竹虎著 昭和四 (朝日常識講座第四卷)	八M	一
議會及政黨論	菊地學而著 明治三五 (帝國百科全書第八〇編)	四M	九
議會制度論	美濃部達吉著 昭和五 (現代政治學全集第七卷)	八P	一〇三
議會政治論	馬場恒吾著 昭和八	七P	二七
議會政治と政黨	山浦貫一著 昭和五	七P	二五
議會主義に就いて	レーニン著、上野書店編輯部譯 昭和三 (階級闘争パンフレット第一)	七P	二

議展覽會陳列品目錄	東京日日新聞社編 昭和五	七P	七
擬太平策	李焜稿 (畿輔叢書初編第三八九册)	四	一
魏鄭公諫錄	魏徵撰 (畿輔叢書初編第一四三册)	四	一
魏鄭公諫續錄	魏徵著 (畿輔叢書初編第二三九册)	四	一
義勇軍とバルチザン戦争	マルクス著、山田敬治譯 昭和六 (希望閣文庫三)	七P	一七九
吳稚暉陳公博辯論集	孟明編 民國一七 再版 (革命叢書之七)	三三	一〇
吳稚暉言論集	吳稚暉著 民國一二	三三	一〇
吳稚暉最近言論	吳稚暉著 民國一六 增訂再版	三三	一〇
要人吳稚暉最近言論集	吳稚暉述 民國一八	三三	一〇
御布告往來	冲志樓主人著 明治五	一三	七
後北條氏民政史論	牧野純一著 大正五 (奉公叢書第四編)	一〇三	三〇
血で描いた五・一五事件の真相	關東朝日新聞社編 昭和八	七P	三三
吾人の將來	ベルンハルテ著、海軍々令部譯 大正三	三P	一〇
軍備制限	尾崎行雄著 昭和四 (時事問題講座第八)	一六S	六
軍備制限と陸軍の改造	中尾龍夫著 大正一〇	七P	五
郡中利害封事	藤田幽谷著 昭和七 (近世地方經濟史料第三卷)	三三	三

軍國議會史要	花井卓藏著 明治四〇	一P	五
同	昭和五 (訟庭論草)	一三J	三
軍國氣質	大正六 (戰時列國地方資料第五輯)	一〇E	二
軍國主義	蜷川新著 大正四	三P	七
軍國主義打破	杉村陽太郎著 大正一〇 (軍備縮少問題研究資料の二)	五P	八
軍國主義論	リーブクネヒト著、松下芳男譯 昭和五 (社會思想全集第二二卷)	五Q	三
軍國主義政治學	トライチケ著、浮田和民譯 大正七、九 (新早稻田叢書)	五P	五
郡市町村廢置分合表	自明治三六年一月三十一日 至同四一年一月三十一日	三X	五
同	内閣統計局編 明治四二	三X	五
同	自明治四二年一月一日 至大正二年一月三十一日	二X	四
同	自大正三年一月一日 至大正七年一月三十一日	二X	〇
郡市町村廢置分合一覽表	自明治卅一年一月三十一日 至同卅六年一月三十一日	二X	五
内閣統計局編	明治三九	二X	五
群書治要	魏徵撰 天明七	六	三
軍縮問題倫敦會議となるまで	海軍軍事普及委員會編 昭和四	七P	九
群衆と政治	クリステンセン著、佐久間秀雄譯 大正五 (大日本文明協會第四期刊行書第六卷)	四P	五
行政學序論	蠟山政道著 (社會經濟體系第二二卷)	六E	一

萩のこの月	日本新聞社編 明治二四 (「日本」第八七六號附錄)	三X	六
排貨事情調査報告	東亞同文會編 大正四	一〇E	六
排曲學論	酒井雄三郎著 明治二五	H	一七
白石建議	明治四〇 (新井白石全集第六)	一M	八
同	昭和三 (日本經濟大典第四卷)	九M	一
同	昭和三 (日本經濟大典第四卷)	三E	九
白石小品	新井白石著 (溫知叢書第二編)	三M	三
濱口内閣下地方議會の狀況	立憲政友會編 昭和六 (經濟調査資料四)	八P	五
汎獨逸主義	アンドレル著、大原里靖譯 大正五	四P	四
假面を剥いた汎獨政策	シニラダム著、外務省臨時調査部譯 大正七 再版	八P	一七
判例を中心としたる普選法	奈良正路著 昭和五	八P	四
同		八P	一〇
汎ツラニズムと經濟ブロック	野副重次著 昭和八	四P	四
原内閣擁護論	高橋鐵太郎著 大正一〇	八P	三
哈爾濱市制問題資料	濱岡福松編 大正一五	六P	四
林子平上書	寫本	一〇	元
兵役革新論	松島剛著 昭和三 再版	四P	二〇

政治、外交 (政治及雜書)



政治、外交 (政治及雜書)

丙午封事	三浦安貞著	大正元	(梅園全集上)	五M	五三/上	一
平民の目ざまし	中江篤介著	昭和四	(明治文化全集第七卷)	一五M	一七/七	一
平民主義	李守常著	民國一二	再版(百科小叢書第一五種)	三五	五	一
平理策	丹羽昶著	大正五	(日本經濟叢書卷二一)	九E	一/三	一
同				一五E	三/三	一
同				一六E	一/三	一
同				三五E	一/三	一
同				一〇〇三	一八/三	一
同				一九E	一/三	一
同				二E	九/三	一
同				九M	七/中	一
同				九E	一/四	一
同				一六E	一/四	一
同				一五E	一/四	一
同				一〇〇三	一八/四	一

同				一九E	一/三六	一
同				二E	九/三六	一
同				四	初三四五	一
同				四P	一八〇	一
同				四P	三四	一
同				四P	三三	一
同				八〇〇	五三	一
同				一P	二〇〇	一
同				一五M	一/五	一
同				三五五	一〇八	一
同				三五五	〇七	一
同				三五五	三三	一
同				九E	一/九	一
同				一五E	三/九	一
同				一六E	一/九	一
同				三五E	一/九	一

政治、外交 (政治及雜書)

同				一〇〇三	一八/九	一
同				一九E	一/九	一
同				二E	九/元	一
同				九E	一/五	一
同				一五E	三/五	一
同				一六E	一/五	一
同				二五E	一/五	一
同				一〇〇三	一八/五	一
同				一元	二	一
同				一〇〇三	一八/二	一
同				二M	一/六	一
同				一M	三/四	一
同				一〇〇三	一八/五	一
同				一五M	一六/六	一
同				一P	五	一
同				一P	共	一
同				一P	一	一

同				七P	一四	一
同				六P	一四	一
同				九P	一九	一
同				七P	一四	一
同				六P	九五	一
同				四P	一八二	一
同				五P	一五	一
同				九P	一五	一
同				四P	一八二	一
同				三E	九/二六	一
同				四P	三	一
同				三H	一六	一
同				三P	六	一
同				八P	四	一
同				一〇P	三〇	一



政治、外交 (政治及雜書)

反古籠 恒松勤一著 大正二四	七P	一〇三	一
封事 藤田幽谷著 大正五 (日本經濟叢書卷二〇)	九E	一〇	一
同	一五E	一〇	一
同	一六E	一〇	一
同	一五E	一〇	一
同	一〇〇三	一〇	一
同 昭和四 (日本經濟大典第三二卷)	一九E	一〇	一
同	二E	九/三	一
補助艦問題と最近の我軍艦 平賀讓、石丸藤太共述 昭和二	四P	三三	一
鮑觀澄建國講演輯錄 鮑觀澄述 大同二	一〇P	五	一
法權撤廢問題に直面して母國朝野に懇ふ 青島居留民大會刊 昭和六	八P	一五	一
北海道第一期拓殖計畫事業報文 北海道廳編 昭和六	二P	三	一
增補北海道拓殖の進歩 北海道廳編 明治四三	三P	一〇四	一
北海道廻瀾録 原田壽三編 昭和四 (明治文化全集第一二卷)	二五M	一〇三	一
保甲運動之理論與實際 即擊書編 民國二〇 再版	三〇五	一〇〇	一
北伐完成迄の國民黨 南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編 昭和三 (パンフレット第五三號)	六P	一〇	一

北米合衆國 ジーグワイード著、藤井新一、藤井千代子共譯 昭和六	七P	三三	一
北米合衆國並加州中央及地方政治組織 大山卯次著	六P	六	一
北米聯邦準備制度調査 東京高等商業學校編 大正合衆國調査部第八回報告	三P	一〇	一
本朝政體 四屋純三郎編 明治一三	三P	七	一
本多正信記 本多正信著 寫本	五	五	一
本佐錄 本多正信著 (遺老物語第六卷) 寫本	一〇	八	一
同 大正三 (日本經濟叢書卷一)	九E	一〇	一
同	一五E	一〇	一
同	一六E	一〇	一
同	一〇〇三	一〇	一
同 大正七	一五E	一〇	一
同 昭和三 (日本經濟大典第三卷)	一九E	一〇	一
法政論纂 京城帝國大學法文學會編 昭和六 (京城帝國大學法文學會第一部第四冊)	二五J	三	一
保守新論 中正社發行	五P	三	一
奉呈松塘正田君封 佐藤信淵著 大正一五 (佐藤信淵家學全集卷)	九M	七/中	一

I

奉天新政權關係者の一人として新政權を樹てた理由を世界各文明國民に告ぐ 賴欣伯著	八P	一〇	一
奉天省に於ける司法制度 水谷國一編 昭和二 (滿鐵大策 百年之安危 西師意著 明治二八)	六P	六	一
馮總司令最近政見目錄 三民公司編 民國一二	三〇五	三〇	一
馮總司令在首都之講演 三民公司編 民國一七	三〇五	三〇	一
一世界人の見たる米國の正義人道 鈴木梅四郎著 大正一〇	五P	六	一
一詩人ノ東京都市計畫論 岡田書記官稿	六P	一〇	一
易言 鐵城相慶生著	四X	四	一
イギリスの田園都市 弓家七郎著 大正一五 (市政調査資料第一〇號)	六P	六	一
イギリスの保健行政組織 ボーター著、東京市政調査會記 昭和二	六P	六	一
イギリスの都市計畫法 東京市政調査會編 大正一三 (市政調査資料第六號)	六P	五	一
池邊三山篇 池邊三山著 昭和六 (現代日本文學全集第五一巻)	三六B	四	一
意見十二箇條 (群書類從第一七輯)	三M	一	一
一國の首都 幸田露伴著 昭和五 (露伴全集第七卷)	三三B	七	一
一局議院論 植木枝盛著 昭和四 (明治文化全集第七卷)	一五M	七	一
最印度事情 在孟買帝國領事館調 明治四一	三P	一六	一

政治、外交 (政治及雜書)

印度の現狀及將來 稻原勝治著 大正九 (通俗國際文庫第五卷)	五P	一〇	一
印度の行政及財政 貴族院事務局編 明治三一	五P	一〇	一
同	五P	一〇	一
印度の國民運動 吉村源太郎著 大正一〇	五P	一〇	一
印度統治改革問題 吉村源太郎稿 大正九	五P	一〇	一
印度と其の國民運動 中谷武世著 昭和八 (世界の今明日四)	七P	一〇	一
尹少宰奏議 張受長編 (畿輔叢書初篇第四一〇、四一一冊)	四	一〇	一
殷周制度論 王國維著 民國六 (廣倉學叢書甲類第二集第六冊)	四	一〇	一
一九二九年政治決議 山口慎一編 昭和五 (支那問題研究資料第二輯)	七P	一〇	一
板垣伯岐阜遭難錄 岩田德義著 大正一〇 三版	五五H	一〇	一
伊太利におけるファシズム アキラ著、黒川健三譯 昭和二 (政治批判叢書第三編)	七P	一〇	一
伊太利に於ける都市計畫と土地制度 チオヂー講岡田次郎作譯	六P	一〇	一
伊太利政治經濟研究 田畑爲彦著 昭和八	一〇P	一〇	一
伊藤秘書類纂 伊藤博文編 昭和八 第一卷 日清事件	一〇P	一〇	一
伊藤欽亮論集 伊藤欽亮著 昭和四	七P	一〇	一
同	七P	一〇	一



政治、外交 (政治及雜書)

伊藤欽亮論集 伊藤欽亮著 昭和五	五二	三三	二
伊藤侯演說集 日報社編	H	三〇	二
伊藤公全集 小松綠編 昭和二、三	二M	二四	三
同	八〇	三	三
新潟縣岩船町是 伴田瀧右衛門編 大正七	三H	三	一
岩船郡岩船町是 伴田瀧右衛門編 大正七	三H	三	一
所謂ポーランド廻廊問題 パデレウスキ述、日波協會譯 昭和八	七P	三四	一
自治行政論 都筑馨六著 明治二五	五P	二八	一
自治興新論 井上友一講 大正元、二(早稻田大學政治經濟科第二八回講義錄)	一P	一五	一
自治民政資料 福岡縣廳發行 大正四	三P	五	一
自治の開發訓練 井上友一著 大正元	一P	一〇	一
比較自治の精髓 水野鍊太郎著 明治四三	一P	一七	一
自治論 李菽香 林董譯 明治一三	五〇	一六	一
自治論纂 明治二二	H	九	一
自治制度論 渡邊宗太郎著 昭和六(現代政治學全集第一二卷)	八P	一〇	一
自治生活の新精神 後藤新平著 大正一〇	四P	七	一
自治制講義	H	三	一
自治制の活用と人 水野鍊太郎述 大正二 再版	三P	九	一

自治制の根本義 岡見慎二著 大正七	四P	三	一
自治要義 井上友一著 明治四五 八版	一P	一四	一
自衛權とは何ぞや 原木郁郎編 昭和七	七P	三六	一
事變前に於ける東北四省行政機構 滿鐵調査課編 昭和七	一〇P	三	一
治法要旨 大正八(日本風教叢書第五輯)	九P	三	一
自治行政論 都筑馨六著 明治二五	五P	二八	一
時事論集 福澤諭吉著 昭和三(福澤撰集)	一四M	一	一
時事論集 福澤諭吉著 大正一五(福澤全集第八一〇卷)	九M	一〇	三
同	三〇M	一〇	三
同	五〇	一〇	三
同 昭和八	三〇M	一〇	三
時事小言 福澤諭吉著 明治一四	一P	九	一
同	三P	四	一
同	四P	八	一
同	四P	三五	一
同 明治三一(福澤全集卷四)	一M	一	一
同	一M	一	一

政治、外交 (政治及雜書)

同 大正一五(福澤全集第五卷)	九M	九	一
同	三〇M	三	一
同	五〇	三	一
時事小言 森作太郎著 大正一〇	四P	三	一
時事大勢論 福澤諭吉立案 中上川彦次郎筆記 明治一五	四P	六	一
同	四P	三五	一
同 明治三一(福澤全集卷四)	一M	一	一
同	一M	一	一
同 大正一五(福澤全集第五卷)	九M	九	一
同	三〇M	三	一
同	五〇	三	一
地方竹馬集 昭和七(近世地方經濟史料第二卷)	三E	三	一
地方雜書 寫本	一〇A	五	一
時務一家言 徳富猪一郎著 大正四 一〇版	三P	五	一
時務考 今宮義秀著 昭和四(日本經濟大典第三二卷)	一九E	三	一
同	三E	三	一
時務三論 獨醒居士著 明治三五	四P	一六	一

盡言集 劉安世撰(畿輔叢書初篇第一五五至一五八冊)	七	一	四
人權新說 加藤弘之著 明治一六 三版	H	一六	一
同 昭和二(明治文化全集第五卷)	一五M	一	一
人權新說駁論集 明治文化全集編輯部編 昭和二	一五M	一	一
人民自救の道 杜天一著 昭和五(東亞小冊第七)	二P	三	一
人民讀本 竹越與三郎著 大正二	三P	一三	一
仁政篇 玉虫十藏著 大正一五(近世社會經濟叢書第五卷)	九M	一	一
壬辰封事(東湖全集)	五M	一	一
人種差別撤廢問題 日星會編 大正八	三P	一三	一
同	五P	一	一
時論一束 尾崎行雄著 大正一五(尾崎行雄全集第五卷)	二M	二	一
同	一七M	一	一
自作農創定と農業問題 和田淑三著 昭和四 政治闘争パンフレット第一卷	七P	三	一
時勢論 田口卯吉著 昭和三(鼎軒田口卯吉全集第五卷)	二M	三	一
同	七M	一	一
自主的出兵論 松田三德述 大正七	三P	一六	一
治水事業ニ關スル統計書 内務省土木局編	三〇N	一	一



政治、外交 (政治及雜書)

治水論 井上甚太郎著 明治三三	五P	三	一
實業同志會創立總會議事錄 大正一二	二P	兜	一
實業政治 武藤山治著 大正一五	一〇P	九	一
自由原論 トークザイル撰、肥塚龍重譯 明治一二 至一四	八〇〇	二五	八
自由人は斯く語る 室伏高信著 大正一三	四P	一五	一
自由之理 ミル著、中村敬太郎譯 明治五	一〇五	三	六
同	H	七	六
同 昭和二 (明治文化全集第五卷)	一五M	一	一
自由論 ミル著、近江谷晋作譯 大正一四 (世界名 著叢書第二卷)	四P	三〇	一
自由論 ミル著、高橋久則譯 昭和三 (世界思想全 集第二四)	一四F	三〇	一
自由黨史 板垣退助監修 明治四二	一P	八	二
第四 自由黨運動史 明治二六	H	七	九
上木自由論 ドクザイル著、小幡篤次郎譯 昭和二 (明治文化全集第五卷)	一五M	一	一
徐大總統と其周圍 沃丘仲子著 井上一葉譯 大正 九	一〇三	七	一
上言 大正四 (日本經濟叢書卷八)	九E	一	一
同	一五E	一	一

同	一六E	一	一
同	三五E	一	一
貞觀政要 吳兢撰	一〇三	八	一
同 文政六	六	九	〇
同	六	〇	〇
日蓮聖人貞觀政要對照 吳兢撰 大正五	二X	三	二
御親寫 貞觀政要對照 錄共	二	六	〇
明治勅諭條目次 自元 勅諭 至十六年	一元	九	一
女子政社並政談集會參加制限撤廢運動 衆議院 議員選舉法調査會刊 (參考資料第四號)	九P	二	一
上諭條例 江蘇布政使司衙門刊 雍正一二	一四	四	〇
十事解 古賀精里著 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	九E	一	一
同	一五E	一	一
同	一六E	一	一
同	一五E	一	一
同	一〇三	一	一
同 昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一九E	一	一

K

同	三E	九	一
東京都市計畫 住居商業及工業地域 武部六藏述 大 の基本問題 (復興建築叢書第一二號)	五P	三〇	一
正一四 (復興建築叢書第一二號)	九E	一	一
詢芻邇言 土屋高著 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	一五E	一	一
同	一六E	一	一
同	一五E	一	一
同	一六E	一	一
同	一五E	一	一
同	一五E	一	一
同 昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一〇三	一	一
同	一九E	一	一
十六國議院典例 蔡文森輯譯 民國三 五版	二E	九	一
純日本の家長選舉論 後藤武夫著 大正一一 再版	三五	七	一
普通選舉 大橋順藏著 昭和五 (日本經濟大典第四 六卷)	七P	九	一
嘉永隨筆 大橋順藏著 昭和五 (日本經濟大典第四 六卷)	一九E	一	一
同	一九E	一	一
下學邇言 會澤安著	三E	一	一
過激派 民友社編 大正八 (新時代叢書)	三	一	一
過激主義の心理 スバルゴ一著、淺野護譯 大正九	四P	一	一

政治、外交 (政治及雜書)

同	三〇X	A	一
開國政略 黃統著 民國一〇	三〇X	A	一
會計檢査院史 川口嘉編 昭和六 (明治前期財政經 濟史料集成第一七卷)	二四E	一	一
解放と改造の立場から 北浦孝市著 大正一二 再版	四P	一	一
同	二E	一	一
改弊別論 昭和五 (日本經濟大典第四五卷)	一九E	一	一
同	五〇	一	一
同	二〇M	一	一
同	九M	一	一
同	一M	一	一
同	一M	一	一
同 明治三一 (福澤全集卷三)	一三	一	一
海外時事評論 山本利喜雄述 (早稻田大學政治經濟 科第二八回講義錄)	一P	一	一
會議辯 福澤諭吉著	一三	一	一
同 明治三一 (福澤全集卷三)	一三	一	一
同	一M	一	一
同 大正一五 (福澤全集第三卷)	九M	一	一
同	二〇M	一	一
同	五〇	一	一
同	一九E	一	一
花月亭筆記 明治二六 (樂翁公遺書下卷)	一M	一	一
鹿兒島縣政黨史 薩藩史料調査會編 大正七	七P	一	一
改置府縣概表 大藏省編 明治五	一〇六	一	一
同	一三	一	一











政治、外交 (政治及雜書)

經濟錄 太宰春臺著

同 享保一四

同 大正三 (日本經濟叢書卷六)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

經濟錄 太宰春臺著

同 享保一四

同 大正三 (日本經濟叢書卷六)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

經濟錄 太宰春臺著

同 享保一四

同 大正三 (日本經濟叢書卷六)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

政治、外交 (政治及雜書)

建白書一覽表

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

建國大綱問答 曹無逸著

二P 八

三五 一四

八P 一六

三五 一五

八P 三七

七P 三

一五 二

三五 一三

一五 二

憲法政治に對する長防人士の責任

憲法政治の理論と實際

權理提綱

同

同

同

同

同

同

憲法政治に對する長防人士の責任

憲法政治の理論と實際

權理提綱

同

同

同

同

同

同

三P 二五

六P 九

七P 元

二M 二

二M 二

七M 四

一〇八 四

一五M 四

一八X 四

江木衷述 大正六

馬場鐵一著 大正一四

尾崎行雄著 明治一〇

同

同

同

同

同

同

三六 九

二E 九

一六 八

一〇三 九

二E 九

一六 八

一〇三 九

二E 九

一六 八



政治、外交 (政治及雜書)

希望閣文庫 希望閣刊				
三 フランスの内亂 マルクス著、山田鐵治譯 昭和六	七P	一九		
義勇軍とバルチザン戦争 同	七P	一九		
吉林省ニ土地整理ニ關スル法律 板倉眞吾之編 於ケル 式會社臨時經濟調査委員會資料第一三編	一三J	九		
近代個人主義の諸相 大杉榮著 大正一五 (大杉榮全集第一卷)	八M	六		
近代國際政治史 占部百太郎著 昭和八	一〇P	三		
同	一〇P	三		
近代空中戰及化學戰の都市及重要補給地點に於ける建築施設に及ぼす影響 ユシエウニコフ著、陸軍航空本部譯 昭和二	六P	一四		
近代民主政治 プライスマ著、松山武譯 昭和四 (岩波文庫第五二一五二二)	一四M	一七		
近代支那論 矢野仁一著 大正一一	五P	一四		
近代帝國主義論 プレブス・リーグ編、内田佐久郎譯 昭和四 (プレブス叢書第四冊)	七P	三		
近事政論考 陸實著 昭和四 (明治文化全集第七卷)	一五M	七		
近十年來世界上兩大怪物 劉公度著 民國一六	三〇五	三		
近世獨逸觀 パーカー著、栗林勝太郎譯 明治四一	一P	四		
今世國家論 ホーリュー著、明治二七 (日新叢書第一卷)	五P	四		
今世國務論 ホーリュー著、明治二七 (日新叢書第三、六卷)	五P	六		
近世國際政治史序說 神川彦松著 (社會經濟大系第一二卷)	二六E	三		

近世民主政治論 森口繁治著 大正九	一〇三	三四		
禁止されたる政黨 宮武外骨編 昭和六 (隨題隨記隨刊乙三)	七P	三三		
今書 蒲生君平著 文久三	一四	三三		
同 明治四四 (蒲生君平全集)	七M	四		
同 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	九E	七		
同	一五E	三		
同	一六E	一		
同	二五E	一		
同	二〇三	一		
同 昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一九E	一		
同	二E	一		
同 大正六 (日本國粹全書第二〇輯)	一八M	一		
欽定康濟錄 陸會禹著、小田仲郷閱 文政九	三〇	八		
金融資本と帝國主義 猪俣津南雄著 昭和四 (經濟學全集第二六卷)	一八E	一		
歧路にデモクラシー ハーシヨイ著、田制佐重譯 大正九 (大日本文明協會第四期刊行書第五五卷)	四P	六		
既成政黨撲滅論 板倉勝憲述 昭和二	六P	四		

紀州政事鑑 寫本

紀州政事草 徳川吉宗著 寫本	二九	四		
貴族院委員會會議錄 第二 貴族院事務局編 明治五回一四二	八N	一		
貴族院委員會先例錄 第一一三 貴族院事務局編 大八回議會 正六	三P	二五		
貴族院事務局報告 第二 貴族院事務局編 明治四五回一三一	八N	二		
貴族院改革問題と貴族制度の研究 澤田實編 大正一三	四P	一五		
貴族院改革論集 廣瀬嘉六編 大正一三	四P	一兵		
貴族院改革資料 堀切善次郎著 大正一二	五P	一兜		
貴族院改革と將來 鎌田勝太郎著 大正一四	六P	一〇		
貴族院要覽 貴族院事務局編 明治四〇一	八N	三		
貴族、資本金、労働者 龜井貫一郎著 昭和五	七P	一五		
神戸クロニクル社説 小泉八雲著 昭和三 (小泉八雲全集第一七卷)	九B	五		
神戸水道擴張誌 神戸市役所編 大正一一	九P	三		
コブテン 二大名演説 武藤山治譯 大正一三	四P	一四		
同	四P	一五		
胡文忠公政書 胡珉生著 光緒二五	一〇五	三二		
公文書 寫本	一三	三		
工部省沿革報告 昭和六 (明治前期財政經濟史料集成第一七卷)	四E	二七		

政治、外交 (政治及雜書)

皇朝經世文緯編 盛康撰 光緒二三	四	三		
第一 冊 目錄 第一一四 冊 學術				
第一 冊 治體 第一二一 冊 吏政				
第一九一 冊 戶政 第四一 冊 禮政				
第四九一 冊 兵政 第六七 冊 刑政				
第七一 冊 工政				
古代政治思想研究 謝无量著 民國一三 再版 (國學小叢書)	三〇五	三		
皇道政治學概論 藤澤親雄述 昭和八	一〇P	二		
公園の設計 井下清著 昭和三 (造園叢書第四卷)	四P	三六		
黃遠生遺著 黃遠庸著 民國一五 三版	三〇五	四		
こがねのはなし 昭和五 (日本經濟大典第四六卷)	一九E	一		
同	二E	一		
公議所法則案 昭和三 (明治文化全集第四卷)	一五M	一		
公儀所日誌 第一 明治二	二二	四		
同 昭和三 (明治文化全集第四卷)	一五M	一		
校爾廬抗議 馮桂芬著 光緒二四	四	三		
公會演説法 尾崎行雄著 大正一五 (尾崎行雄全集第一卷)	二M	一		
同	一七M	一		
黨國 胡漢民最近言論集 大東書局編 民國一八	三〇五	一〇		



政治、外交 (政治及雜書)

胡漢民先生演講集 胡漢民著 民國一六	三〇五	三〇五	一
黃禍論梗概 森林太郎著 明治三七	五P	一元	一
國家 フラトーン著、村松正俊譯 昭和三(世界大思想全集第一卷)	四P	三九	一
國家道德論 明治四二(泊翁叢書第一輯)	一M	三九	一
國家學 南弘編 明治三九(帝國百科全書第一四四編)	四M	一元	一
國家學原理 高田早苗講	一P	四	一
國家學會雜誌 第一 國家學會刊 明治二〇	二N	三	一
國家學說と社會思想 加田哲二著 大正一一	四P	九	一
同	四P	二	一
同	四P	二	一
國會開說論者密議探聞書 昭和四(明治文化全集第二二卷)	一〇〇	二六	一
國會明鏡 加藤平四郎著 明治二三	五M	三	一
國會難局の由來 福澤諭吉著 明治二五	H	三九	一
同 明治三一(福澤全集卷五)	四P	三九	一
同	一M	三	一
同 大正一五(福澤全集第六卷)	九M	三	一
同	三M	三	一

同	國會の前途 福澤諭吉著 明治二五	五〇	三九	一
同	明治三一(福澤全集卷五)	四P	三九	一
同	同	一M	三九	一
同	同	一M	三九	一
同	大正一五(福澤全集第六卷)	九M	三九	一
同	同	三〇M	三九	一
同	同	五〇	三九	一
同	第一國會始末 議員集會所編 明治二四	H	三七	一
同	昭和四(明治文化全集第三卷)	五M	三七	一
同	國家に貢獻するものは少數か多數黨か 實業同志會調查部編 昭和三(實同調査資料九)	六P	二三	一
同	國家之研究 寬克彦述 大正二	一P	一五	一
同	同	一P	一五	一
同	國家の明日と新政治原則 杉森孝次郎著 大正二	四P	二七	一
同	同	四P	二七	一
同	國家の統治權 加藤弘之著 大正二(「自然と倫理」の補遺第一)	一P	四〇	一
同	國家及國民論 市村光惠著 大正三	三P	三	一
同	同	三P	三	一

國家論 堀真琴著 昭和五

同 昭和三(大思想エンサイクロペヂア第一七卷)	二D	八P	三	一
國家論 オッペンハイマー著、廣島定吉譯 昭和四(改造文庫第一部第二〇篇)	一九M	九	一	
フランツ・オツ 國家論 岡上守道譯述 大正九	四P	五	一	
國家論戰爭論 佐野學著 昭和五(佐野學集三)	六Q	三	一	
國家三大問題に就て天下同憂の士に檄す 黑龍會編 昭和四	七P	三	一	
國家生理學 佛郎都著 文部省譯 明治一五、一七	一P	三	一	
國家社會主義とフアシズム 今里勝雄著 昭和七	八Q	四	一	
國家主義 高島素之著(社會經濟體系第七卷)	二六E	七	一	
國家宗教關係論 彬周士著 藤堂融譯 明治三一	H	二四	一	
國家哲學 三谷隆正著 昭和四(社會科學叢書第一九編)	七P	四	一	
同(社會經濟體系第一二卷)	二六E	七	一	
國家要傳 昭和七(近世地方經濟史料第七卷)	二五E	三	一	
國憲議 君勳自著 中華民國一一	三〇五	八	一	
國憲汎論(附錄) 小野梓著 明治一八	一P	六	一	
國憲修正論 寧協萬著 民國一一	三〇五	六	一	
國基 紀維貞著	三	五	一	
同	六	元	一	

政治、外交 (政治及雜書)

同 昭和四(國民思想叢書國體篇中)	一六M	二五	一
同 大正五(日本國粹全集第二輯)	一八M	四	一
皇國より見たる滿洲事變の政治經濟的效果に就て 陸軍省調査班編 昭和八	七P	三六	一
こころのあと 藤田東湖著 明治二四	一元	八	一
國防及外交 犬養木堂述 大正三(公民叢書第二篇)	三P	三	一
佐藤中將國防爭議評論 大庭久吉編 大正七	二六S	二五	一
松波博士國防爭議評論 大庭久吉編 大正七	三P	二九	一
國防と軍制 三宅覺太郎著 大正四	五P	六	一
國福は來れりと日本 尾崎行雄著 大正一〇	二M	一〇	一
國本論 松平定信撰 大正六(三十幅第一)	二M	一〇	一
同(樂翁公遺書上卷)	一M	三	一
同並附 昭和三(日本經濟大典第一三卷)	一九E	三	一
同 湯淺源藏著 昭和四(日本經濟大典第二二卷)	二E	九	一
國醫論 湯淺源藏著 昭和四(日本經濟大典第二二卷)	一九E	三	一
同	三E	三	一
大阪日國事犯公判傍聽筆記 明治	八〇	五	一
報附錄	二〇	一	一
國情研究叢書 國情研究社編	一	一	一



政治、外交 (政治及雜書)

第一卷 新興諸國の現状 長瀬鳳輔著 大正一一	四P	一〇九
第二卷 懊惱の佛蘭西 重徳泗水著 大正一一	四P	二六
第三卷 政争渦中の支那 小川節著 大正一一	四P	二七
國會國民大會議 植木枝盛著 昭和四(明治文化全 集第七卷)	一五M	一七
國民悲痛の叫び 紫雲莊編 昭和六	三E	一四
國民自覺論 徳富猪一郎著 大正一二	四P	一五
國民會議的意義及其使命 中國國民黨中央執監委員 非常會議編 民國二〇	七P	一九
國民革命概要 郭伯棠著 民國一八(考試準備黨義 概要叢書)	三〇五	一五
國民革命的危機和我們的錯誤 陳公博著 中國一 七三版	三〇五	一六
國民革命的兩大使命 曹雪松著 民國一七	三〇五	一三
國民革命與中國國民黨 戴季陶著 民國一七 再版	三〇五	二
同 民國一八	三〇五	一四
國民に訴ふ 若槻禮次郎著 昭和二	七P	二四
國民の公正なる批判を仰ぐ 關菊治著	九P	三
國民政府建國大綱 孫逸仙著 民國一八 一三版	三〇五	九
同 民國一七(中山叢書第二册)	一五	一
國民政府建都南京宣言	三〇五	四
國民政府公報 國民政府文官處刊 民國一六一	三〇N	四

國民政府の産業政策 小谷綱吉編 昭和五(滿鐵 調査資料一二三編)	八P	六
國民政治讀本 板倉卓造著 大正三	三P	二〇
同	三P	二
同 大正四 再版	五〇	三五
國民政治時代 板倉卓造著 昭和二 四版	四P	三七
同	五〇	三五
國民思想淨化ニ關スル管見 萱村庄右衛門述 昭 和七	八P	一九
國民小訓 徳富猪一郎著 大正一四	五P	三〇
同 補 昭和八	一〇P	一七
國民的戦争と國家總動員 佐藤綱次部著 大正七	一〇〇三	三五
國民黨第三回第三次全體會議 里見甫編 昭和五 中央執行委員會(上海滿鐵調査資 料第七編)	八P	六
國民投票ノ制度ニ就テ 衆議院議員選舉法調査會刊	九P	四
國民黨の新宣言(支那研究彙録三二)	三五	二
國民黨三年來の變化 客觀者(支那研究彙録三三)	三五	三
國民と政治 徳富猪一郎著 昭和三(蘇峰叢書第三 册)	七P	八
國民黨政綱 孫逸仙著 民國一七(中山叢書第二册)	一五	一
國難降伏論 高鍋日統著	五P	一五
國難來 内田良平著 大正一四	四P	一九

穀類專賣論 フライシユマン著、長崎常譯 昭和二 (文明協會昭和二年度刊行書)	四P	三三
黑龍江三十年事歴 黒龍會編 昭和六	八P	二四
黑龍江省施政大綱三年計劃書 韓雪階著 大同二	九P	六
國際現勢與中國革命 丁立三著 民國一九	三〇五	一六
國際法及び國際問題 恒藤恭著 大正一一	九J	九
國際聯盟 バトラー著、大日本平和協會譯 大正八	五P	二
國際聯盟ニ於ケル軍備縮少問題 外務省編 大正 一五	二S	六
國際政治の基礎的概念 信夫淳平著(社會經濟體系 第一二卷)	六E	一三
國際政治の綱紀及連鎖 信夫淳平著 大正一四 (國際政治論叢第二卷)	六P	九
國際政治論叢 信夫淳平著		
第二卷 國際政治の綱紀及連鎖 大正一四	六P	九
國際社會民主主義批判 ロソフスキー等著、齋藤 猛夫譯 昭和四	七P	三
同	七P	一〇
國際社會史論 ローレンス著、今村源三郎著 大正 一一(大日本文明協會大正一一年度 刊行書)	四P	一〇
國策統制論 大林一之著 昭和三	七P	一四
國勢調査參考書(産業及 職業分類) 内閣統計局編 昭和四	八P	三
國勢及市勢調査法 高橋二郎著 明治四一	一P	九

政治、外交 (政治及雜書)

國體國是及現時の思想問題 建部遜吾著 大正九 再版	五P	五
國體認識學 里見岸雄著 昭和四(國體科學叢書第 二卷)	七P	五
國體論 江木衷著 大正一〇	四P	九
國體新論 加藤弘之著 昭和二(明治文化全集第五 卷)	一五M	一
非國民「大阪國體擁護運動報告」 浪人會編 大正 朝日新聞 應懲	三P	一四
國都及大都市制 東京市役所編 大正一三	四P	一八
同 大正一四	七P	二六
公民講座 大正一四	三N	五
公民叢書 清水書店編		
第一編 憲法政治の理論と實際 馬場鏝一著 大 正一四	六P	九
湖南自治運動史 王無爲編 民國九	三〇五	四
足康南海文集彙編 康有爲著 民國六	六	二六
混同秘策 佐藤信淵著 明治二一	一五	九
同	三E	九
同 昭和四 日本經濟大典第一八卷)	一九E	一八
同 大正一五(佐藤信淵家學全集中卷)	九M	一七
今日の太平洋問題 ゴーロン著、赤司繁太郎譯 大正一二(大日本文明協會大 正一二年度刊行書)	四P	一三



政治、外交 (政治及雜書)

上近衛公書 柴野栗山撰 大正六(三十輯第四)	二M	二〇五/四	一
政治的方面 呼倫貝爾事情 濱岡福松編 昭和二(哈 より見たる) 運調査資料第五七編)	六P	四〇	一
甦生の支那 山本唯三郎著 大正一四	五P	三五	一
公車上書記 光緒二一	六	二五	一
考試準備黨義概要叢書 世界書局刊			
民生主義概要 黃旭初著 民國一八	三〇五	一五	一
黨義概要 朱翊新著 民國一九	三〇五	一九	一
孫文學說概要 周斐成著 民國一八	三〇五	一五	一
建國大要五權憲法概要 吳道誠著 民國一八	三〇五	一五	一
民權初步概要 黃旭初著 民國一九	三〇五	一九	一
中山實業計劃概要 黃旭初著 民國一八	三〇六	一〇	一
民權主義概要 黃國初著 民國一八	三〇五	一四	一
國民革命概要 郭伯棠著 民國一八	三〇五	一四	一
黨史概要 陶百川、陶廣川共著 民國一八	三〇五	一四	一
甲申臆議 陸世儀著 光緒二一(陸桴亭先生遺書第 一九冊)	四	三/九	一
皇室制度講話 酒卷芳男著 昭和九	一〇P	三	一
皇室社會新政 鈴木梅四郎著 大正七	三P	一五	一
同	一〇三	四	一
皇室と國民 德富猪一郎著 昭和三(蘇峰叢書第一 冊)	四P	二六	一
黃書 王夫之著、松井等譯 大正八(支那近世政治 思潮)	四H	一〇	一

廣州事變與上海會議 廣州平社編 民國一七	三〇六	九	一
廣州三月二十九日革命史 革命紀念會編 民國一五	三〇五	四	一
膠州灣 田原天南著 大正三	三P	一〇	一
同	五P	一九	一
江楚會奏變法摺 劉坤一、張之洞共著	三	一三	一
高立憲國民教本 土屋良遵著 大正二二 五〇版	五P	一七	一
模高等試驗問題集 高文受驗學會編 昭和五	七P	一三	一
交通問題に關する調査、道路名街路名、町名 地番に關する調査、火災と都市計畫其の 復興局長官々房計畫課編 大正一四(復興局調査 彙報第一號)	六P	一五	一
講話條件の基礎をなせるウエルソンの雄辯 大正八(國際日本協會叢書第一編)	四P	四	一
久原一家言 久原房之助著 昭和六	一〇P	一四	一
同 再版	八P	二九	一
熊本縣政攪亂史 能田益貴編 大正一二	四P	三三	一
熊本俚談 龜井道齋著 寫本	一九	五	二
君論 マキアヴェリイ著、永井修平譯 昭和四(明治 文化全集第七卷)	一五M	七	一
訓政時期地方行政計畫 邵元冲著 民國一八	三〇五	六	一

君主經國策 マキアヴェリイ著、吉田彌邦、松宮春 一郎共譯 大正七(興亡史論第七卷)	一四H	四	一
同 昭和六(世界興亡史論第七)	三H	三/七	一
君主經國策批判 フレデリック大王著、長瀬鳳輔譯 大正八(興亡史論第二期第八卷)	一四H	一〇	一
同 昭和六(世界興亡史論第七)	三H	三/七	一
君主論 マキアヴェリイ著、橋田東聲譯 昭和三	九J	一五	一
極論封事 寫本	一〇七	四	一
極論時事封事 古賀精里著 大正四(日本經濟叢書 卷一七)	九E	七	一
同	一五E	七	一
同	一六E	七	一
同	二五E	七	一
同	一〇三	八/七	一
同 昭和四(日本經濟大典第二六卷)	一九E	三	一
同	二E	九/三六	一
極東に於ける帝國主義 猪俣津南雄著 昭和七 (經濟學全集第二四卷)	一八E	二四	一
極東の情勢に就て 陸軍省調査班編 昭和八	七P	三三	一

政治、外交 (政治及雜書)

極東露領に於ける黄色人種問題 グラウエ著、太田三孝譯 大正一三 (露文翻譯調査資料第八號)	二P	五	一
極東西比利亞に於ける自治機關 井川忠雄編 大 正九	五P	五	一
支那共和以後 宇治田直義著 大正一〇	四P	四	一
同	四P	一七	一
九經詩並序 狩野良知著 寫本	四	三	一
救急或問 安井息軒著 明治二四(少年必讀日本文 庫第二編)	H	三〇/三	一
同 大正六(日本經濟叢書卷三二)	九E	七	一
同	一六E	三	一
同	二五E	三	一
同	一〇三	八/三	一
同 昭和五(日本經濟大典第四七卷)	一九E	七	一
同	二E	九/四	一
鳩民遜言 平山貞著 昭和七(近世地方經濟史料第 六卷)	二五E	三/六	一
林有傳夢談 坂崎斌編 昭和四(明治文化全集第二 造氏傳夢談 二卷)	一五M	三	一
急務檄言 高橋秀臣著 明治三四 三版	一P	三	一



政治、外交 (政治及雜書)

九千萬同胞に懇ふ 滿洲青年聯盟編	昭和六	八P	二七
鳩巢與白石諫書 室直清著	大正六 (三十輯第二)	二M	〇五
日支鮮人百年の滿蒙開發策 石山福治著	大正一三	五P	〇〇
長計たるべき滿蒙開發策	大正一三	五P	〇〇
滿蒙經營論 阪東宣雄著	昭和二	六P	五
滿蒙權益要録 布勢信平著	昭和七	一〇P	〇
滿蒙問題 華企雲編	民國二〇 (邊疆問題叢書)	三〇五	一〇七
進めば生 退けば死 滿蒙問題の解決 大井一哲著	昭和六	七P	三四
滿蒙に於ける露國の現勢力 市川倫著	昭和三 (滿蒙調查資料第七編)	六P	二四
滿蒙に轉向せられむとする排日運動 東亞經濟調查局編	昭和四 (東亞小冊第一)	二P	七
滿蒙之改造 (内外評論大號) 内外評論社編	大正一一	八P	五
滿蒙の我權益 大阪對支經濟聯盟著	昭和七	七P	三
滿蒙を大觀して 阪東宣雄著	昭和三	六P	二
滿蒙政治經濟提要 東亞經濟調查局編	昭和七 (經濟學全集第二五卷)	八E	七
滿蒙鮮血の清算 内藤隈南著	昭和六	七P	二〇
滿蒙新國家と我生命線 佐藤四郎著	昭和七 (滿蒙講座二)	八P	一〇
滿蒙處分論 クロボトキン著、大井包孝譯	大正三	三P	一〇
滿蒙諸懸案に就て 第一師團司令部編	昭和六	七P	二五

同		七P	三〇
滿蒙統治の王道的原则 安岡正篤著	昭和七	八P	一八
滿蒙通覽 福昌公司調查部編	大正七	三P	一六
滿洲獨立論 大井一哲著	昭和六	八P	一四
滿洲不安の實相 陸軍省調查班編	昭和六	七P	三三
滿洲委任統治論 有賀長雄著	明治三八 再版	一P	元
滿洲事變勃發滿二年 陸軍省著	昭和八	七P	三三
同		七P	三三
滿洲事變前に於ける我が權益侵害事情 大連商工會議所編	昭和七	八P	一五
滿洲國經綸の精神 金崎賢著	昭和七 (滿蒙講座五)	八P	一八
滿洲國協和會之概要 大同二		七P	〇八
滿洲國民之總意 滿洲國外交部編	大同元	八P	三四
同		八P	三五
同 (日譯)		八P	三六
滿洲國の容相 陸軍省調查班編	昭和七	七P	二九
滿洲公共機關聯合會決議事項 會編	昭和七	八P	一六
滿洲問題 永雄策郎著	昭和七 (現代經濟學全集第二八卷)	二六E	天
同		二六E	一九

政治、外交 (政治及雜書)

滿洲問題 矢内原忠雄著	昭和九	二P	二
滿洲問題研究 信夫淳平等共編	昭和四 (太平洋問題叢書一)	七P	六
滿洲問題の鍵開間島 長野朗著	昭和六	七P	一七
滿洲問題の全貌を語る 日笠芳太郎著	昭和八	一〇P	元
滿洲に於ける日本の地位 千葉豊治著	昭和七 (滿蒙講座)	八P	一五
滿洲における日本及日本人 佐藤四郎著	大正一四 (滿洲紹介叢書第二輯)	七P	三六
滿洲の野に展開された民族戦 長野朗著	昭和六	七P	一四
滿洲の鐵道を繞る日米露支 長野朗著	昭和六 (滿洲問題叢書第一卷)	七P	一六
滿洲政治經濟事情 滿鐵調查部編	昭和五	二五N	二
滿洲通志 露國大藏省編	中野二郎、懸文夫共著	一P	四〇
滿洲はどうなるか 小川平吉述	昭和六	七P	二〇
滿洲憂患史 (支那人の觀たる滿洲) 予覺民著、森政忠譯	昭和五	八P	六
滿鐵事業的暴露 魏承先著	民國二二 (東北研究叢書)	三〇五	二三
マルクス國家論 河野密著	(社會問題講座)	六P	六
マルクス主義政治講話 ベルドニコフ、スウエ	トロフ共著、山川均譯	七P	七
主義叢書第三卷	昭和三三版 (マルクス主義叢書第三卷)	七P	七

松山領代官執務要鑑 昭和七 (近世地方經濟史料第一卷)		二五E	三
明夷待訪錄 黃宗義著	大正八 (支那近世支那明夷待訪錄)	一四H	一〇
近世支那明夷待訪錄 (小傳原) 黃宗義著、來原慶助	附 譯 大正一二	四P	二元
政治論策 明夷待訪錄 (文) 附 譯 大正一二		四P	二元
明治十三年記事本末 (東京日々新聞所載) 昭和四 (明治文全集第二二卷)		二五M	三
明治建白沿革史 戸田十畝著	明治二〇	八〇〇	五三
國家學會創立 明治憲政經濟史論 國家學會編	大正三	五P	五
明治三十年記念 明治憲政史 工藤武重著	大正三、一一	六P	天
同		三P	三
明治憲政史 尾佐竹猛著 (社會經濟體系第一二卷)		二六E	三
明治民權史論 中野正剛著	大正二	一〇〇三	一四
明治日本政記 淺井由雄、伊藤清一郎共著	明治二九	八〇〇	三四
名家意見書 昭和四 (明治文化全集第三卷)		二五M	三
明鏡叢書 博文社刊		二五M	三
何が日本を躍進させるか 濱部壽次著	昭和五	二M	四
明糖事件を暴露す 松下傳吉編	昭和八	七P	六五







政治、外交 (政治及雜書)

無敵の米國 關原榮著 大正九 再版	七P	三三	一
無得志齋鈔錄 寫本	六	六	一
明日はどうなる 竹越與三郎著 昭和六	七P	三六	一
ナチス 長守善著 昭和八	七P	三六	一
ナチスの真相 安達堅造著 昭和八	七P	三六	一
農會流れに棹して 横井時敬著 大正一四 (横井博時評全集第一〇卷)	九M	四〇	一
内治外交 尾崎行雄著 明治二六 再版	八P	三〇	一
内外蒙古に對する露國の活動 (小川繁著 昭和五 (東亞小冊子第八))	二P	六	一
内外政黨事情 中村義三編 昭和四 (明治文化全集第三卷)	五M	三	一
五十内閣更迭史論 弘田直衛著	八〇	六	一
内國問題 陳伯華編 民國一五 (公民教育叢書刊第一四種)	三五	四	一
内務省土木局直轄工事年報 (附録) 内務省土木局編	一五N	充	一
内政公報 内政部編 民國一七一	三五	〇	一
中江兆民集 中江兆民編 昭和四 (改造文庫第一〇三七篇)	一九M	三	一
南米及び西班牙 堀口九萬一著 昭和八 (世界の今)	七P	三八	一
南方勢力の實相と其の批判 佐々木到一著 昭和	七P	二五	一
南方帝國論 松本敬之著 大正七	四P	三	一
南洋廳施政十年史 南洋廳編 昭和七	八P	一八	一

同			
南洋時事 志賀重昂著 明治二〇 四版	八P	一八	一
同 昭和二 (志賀重昂全集第三卷)	四P	三三	一
奈良朝時代の奥羽經營 菊池仁幹著 大正四 (奉公叢書第二編)	一〇三	四	一
日米不戰論 河村幹雄著 昭和五 再版	七P	三三	一
日米關係調査蒐錄 千葉豐治編	七P	三三	一
第一輯 米國加州排日事情 千葉豐治 大正一〇	八P	一七	一
日米問題實力解決策 大石蒼海著 大正五	二P	四	一
日露協會講演會速記録 第七 日露協會編 大正七	八N	七	一
日露戰爭に就いて トルストイ著、深見尚行譯 昭和六 (トルストイ全集第二〇卷)	八M	三	一
日本危し 鈴木享著 昭和七	七P	三三	一
日本萬機公論社目録見書	五P	元	一
日本打開論 櫻井兵五郎著 昭和二 二版	四P	三	一
日本フアッシュム批判 長谷川如是閑著 昭和七	七P	三三	一
日本學生思想運動史 杉山謙治著	七P	二〇	一
日本改造法案大綱 北一輝著 大正一二 三版	五P	二五	一
日本改造の具體案 田中澤二述 昭和三	六P	二七	一
同	六P	二六	一

同

日本改造の意義及其綱領 鈴木梅四郎著 大正八 再版

八P 三三 一

同

日本改造論 松村介石著 大正一二

四P 一四 一

日本憲政發達史 小久保喜七著 大正一五

六P 三 一

國體擁護 日本憲政本論 加藤房藏著 大正二

一P 一四 一

同

日本憲政成立史 鈴木安藏著 昭和八

一〇P 三 一

日本憲政史 工藤武重著 大正四 (現代叢書)

三P 五 一

日本憲政史 尾佐竹猛著 昭和五 (現代政治學全集第六卷)

八P 天 一

日本憲政提要 稻田周之助著 大正二 (政治學叢書)

三P 一三 一

日本金融資本政治の解剖 森喜一著 昭和六

三E 二七 一

通 日本國會議論 織田純一郎著 明治一三

八〇〇 五四 一

日本國民の生存と滿洲 長野朗著 昭和六

七P 一五 一

日本國民之將來 宮本基著 明治三一

五P 二七 一

日本國勢論之進歩 一名義勇 山本忠輔著 明治二〇

八〇〇 五八 一

日本國勢大觀 矢部周編 昭和五

一〇P 一 一

日本皇室論 福澤諭吉著 昭和六 六版

七P 三七 一

政治、外交 (政治及雜書)

日本民權發達史 白柳秀湖著 (社會問題講座)	六P	九	一
日本民權發達史 植原悦二郎著 大正五	三P	二〇	一
日本モンロー主義と滿洲 (金子堅太郎述 昭和七 (紀要第一三號))	八P	三二	一
日本の決意 細井肇著 昭和七 (滿蒙講座)	七P	二八	一
日本の滿洲開發 大形孝平著 昭和七 (滿蒙講座)	八P	二七	一
日本の無產政黨運動 (麻生久著 (社會經濟體系第一〇卷))	一六E	三	一
日本の侵略 ステイナー著、薄田貞敬譯 大正九 (大日本文明協會第四期刊行書第五一卷)	四P	五	一
日本之輿論 當世名士 內山正知編 明治二〇	七P	二〇	一
莫然 日本靈國觀の解脫 永井義憲著 昭和八	七P	二六	一
日本論 戴季陶著 民國一七	七P	一四	一
日本政治動向論 蠟山政道著 昭和八	八P	二五	一
日本政治年鑑 同文館編輯部編 明治四二	三R	五	一
日本社會思想史 內田繁隆著 昭和五	八P	一五	一
日本政權競爭史 湯本文彦著 明治四四	二二	一	一
同	八〇〇	三三	一
日本政教の根本問題 (國體) 安岡正篤著 昭和二 (金雞文叢書第二)	六P	七	一
日本政體史 稻田周之助著 大正三 (政治學叢書)	三P	一五	一



政治、外交 (政治及雜書)

日本政黨發達史	上野熊藏編	大正七	三版	五P	五
日本政黨の現勢	若荷房吉著	昭和四		七P	四
日本政黨史	馬場恒吾著	昭和三	(大思想エンサイクロペヂア第一七卷)	二D	六/七
日本政黨史	林田龜太郎著	昭和二		四P	二四〇
大學より	發源する日本赤化思想運動現狀と其學術的折伏	批判集言社編	昭和三	七P	九
日本侵略下之滿蒙	石明著	民國一七	再版	三〇五	四
日本帝國の一轉機	徳富猪一郎著	昭和四		八P	三
日本と世界	文明協會刊	昭和七	(文明協會ニユズ)	三三N	三
日本は衰へる?	北村佳逸著	昭和六	四版	七P	二〇七
二十年後の太平洋	西師意著	昭和二		四P	三〇
同				四P	二六
二十年前の回顧	日英同盟の効力	西師意著	大正一〇	四P	六
日韓古蹟	奥田鯨洋著	明治四四	三版	八〇	二四
日華親善策	宮田信一著	大正二二		五P	二七
人間生活の實現	遠藤隆吉著	大正一三		四P	二六
西久保村田氏へ遺書翰	衣笠政忠著	昭和七	(近世地方經濟史料第六卷)	三E	三/六
日清事件	伊藤博文編	昭和八	(伊藤博文秘書類纂第一卷)	二P	六/一

0

日清戰時評論	尾崎行雄著	大正一五	(尾崎行雄全集第五卷)	二M	二/五
同				一七M	四九/五
日知錄抄	顧炎武著、松井等譯	大正八	(支那近世政治思潮)	一四H	一九
農家訓	山名文成著	大正四	(日本經濟叢書卷一五)	九E	一/五
同				一五E	三/五
同				一六E	一/五
同				一五E	一/五
同				一〇〇三	一八/五
同				一九E	一/三
同				二E	九/三
農民と政治運動	莊原達著	(社會問題講座)		六P	七
現農村政策の新研究	秋野茂廣著	昭和五	(農民叢書)	三E	六
農村盛衰と國家の興亡	大井一哲著	昭和五	三版	七P	二五
入關後に於ける奉天派	船橋半三郎編	昭和三	(滿鐵パンフレット第四〇號)	六P	二〇五
紐育及其附近の地方計畫	復興局長官房計畫課編	大正二三	(復興局調査彙報第八號)	六P	一七
歐米人の支那觀	東亞同文會調査編纂部編	大正七		五P	三

歐米の政黨政治	田中幸一郎著	大正二		一P	二
同 再版				四P	六
歐米最近農政問題	有元秀夫著	大正一三		四P	一七
歐米政界の新潮流	水野鍊太郎著	昭和二	(政治ライブラリー第一卷)	六P	一
歐米視察談	田中談	昭和二		六P	一五
歐美政黨政治	田中幸一郎著、畢厚譯	民國二		三〇五	四
王道内篇	長澤不尤著	大正一四	(日本經濟叢書卷一三)	九E	一/三
同				一五E	三/三
同				一六E	一/三
同				一〇三	一八/三
同				一〇三	一八/三
同				一九E	一/三
同				二E	九/三
同				一六E	一/三
同				一六E	一/三
王道天下之研究	田崎仁義著	昭和二		六P	五
大越成徳遺稿	志立鐵次郎編	大正一五		六P	一

政治、外交 (政治及雜書)

王法論	鳥尾小彌太著	明治一六		八P	三
英國議院政治論	王權篇	トット著、尾崎行雄譯	明治一六	四P	二〇八
伊藤參議手寫大隈參議國會開設奏議	昭和三			一三	四
大隈參議國會開設奏議	昭和四	(明治文化全集第三卷)		一五M	一/三
大藏省の伏魔殿預金部内容	附英佛大藏省武藤山治著	昭和二	(實同調査資料七)	六P	六
明治廿九年九月近江國水害地一覽表	河村景慶著	明治二		九P	六
鸚鵡言筆解	藤原成徳著	昭和五	(日本經濟大典第四八卷)	一九E	一/四
同				二E	九/四
「オムスク」市ト「オムスク」政府	庄司鐘五郎調	大正八	(滿鐵調査資料第八)	一五H	一
懊惱の佛蘭西	重徳泗水著	大正一一	(國情研究叢書第二卷)	四P	二六
オルガンニザチオンの本義と政治的意義	アルボル	下テン著、土岐百巖譯	大正九	一〇三	一三
オルターネーティヴ・ヴォート及其ノ効果	衆議院議員選舉法調査會刊			九P	一八
大阪府三島郡勢一覽	大阪府自治行政講究會三島郡支部編	昭和二		四P	二〇三
大阪府勢一覽	大阪府編	昭和二		三P	九



政治、外交 (政治及雜書)

大阪市會議員第一次普通選舉文書戰上に現れたる政見の量的觀察 大阪市社會部調査課編 昭和四(社會部報告第一〇五號) 彙算綱目	八P	五	一
汪精衛文存 汪精衛著 民國一五	四X	五	一
黨國汪精衛最近言論集 汪精衛著 民國一八	三五	三	一
汪精衛先生演說集 中央軍事政治學校政治部宣傳科編 民國一五(政治叢書第一種)	三五	二八	一
汪精衛先生最近演說集	七P	一〇	一
同	七P	一〇	一
王政三大典考 崔述著 明治三七(崔東壁先生遺書第四冊)	二〇五	二〇	〇
歐戰後の支那 徐世昌著、檜崎桂圓譯 大正一〇	二〇三	一六	一
同 三版	四P	一〇	一
大鹽平八郎檄文 大鹽平八郎著 昭和五(日本經濟大典第四五卷)	一九E	一	一
同	三E	九	一
王少司馬奏疏 王家楨著(畿輔叢書初編第一六〇冊)	四	初二六〇	一
歐洲現代政治及學說論集 小野塚喜平次著 大正五	二〇三	四	一
歐洲現代政治史 セーニヨボス著、山崎直胤等譯 明治四三、四四(大日本文明協會第一期刊行書第三二、三三卷)	一P	七	二
同	五P	二五	二

同	六P	一五	二
歐洲の改造 ヒル著、大日本文明協會譯 大正八(大日本文明協會第四期刊行書第三八卷)	四P	四	一
現歐洲之憲政 小野塚喜平次著 大正二	一P	一元	一
歐洲の新噴火口 今岡十一郎著 昭和八(世界の今)	七P	三七	一
歐洲政治史 今岡登志喜著(社會經濟體系第一二卷)	六E	一	一
歐洲政治史概論 ラグィツス著、廣瀬哲士譯 大正六	四P	七	一
十九世紀歐洲政治史論 酒井雄三郎著 明治三三(早稲田小篇)	一P	七	一
歐洲政治思想史 高橋清吾編 大正一〇(新早稻田叢書六)	五P	七	一
歐洲戰後の社會運動 桑田熊藏著 大正一二	五P	三	一
同 昭和三 増訂改版	六P	一〇	一
歐洲戰局の現在及將來 吉野作造著 大正五(現代の政治第二)	三P	七	一
歐洲市政論 マンロー著、村田岩次郎譯 大正三	三P	一	一
同	三P	二	一
同	五〇	三七	一
同	一〇〇	五	一
歐洲大陸に於ける政府と政黨 ロウエル著、民友社譯述 明治三二	一P	〇	一
同	H	一元	一

歐洲大陸市政論 內務省地方局譯 明治三二	五P	二七	一
歐洲大戰 民友社編 大正五(現代叢書)	三P	〇	一
歐洲大戰の經驗 大日本文明協會編 大正五(大日本文明協會第四期刊行書第一卷)	三P	〇	一
歐洲大戰の心理的教訓 ルボン著、大日本文明協會抄譯 大正六(大日本文明協會第四期刊行書第一八卷)	三F	二〇	一
恐ルベキ亞米利加厄介ナル歐羅巴 星野行則著 大正一一	四P	二五	一
未大杉榮遺稿 安谷寛一編 昭和三	四P	二七	一
尾張國郡司百性等解文(改定史籍集覽第二四册)	三H	三	一
大山重憲筆記 大正五(日本經濟叢書卷二六)	九E	一	一
同	一六E	一	一
同	一〇〇	一	一
同	二五E	一	一
應用市政論 安部磯雄著 明治四一	一P	三	一
尾崎行雄演說集 尾崎行雄著 昭和二(尾崎行雄全集第六卷)	二M	一	一
尾崎行雄氏大演說集 尾崎行雄述 大正一四	七P	二五	一
同 二版	七P	二五	一
パンフレット集 大井一哲著 昭和八	七P	二七〇	一
巴里コミュニケーション 木下牛治譯編 昭和六	三H	一〇〇	一

北京政府政治組織綱領 大塚令三編 昭和三	六P	一〇	一
同	六P	一〇	一
北平特別反日會の内容 順天時報社編 昭和四	八P	〇	一
波斯事情 外務省歐米局第二課編 大正二三	五P	三	一
波斯より土耳其まで 文明協會編 大正一五(文明協會編 大正一五(文)	四P	二〇	一
ピーター・クロボトキン クロボトキン著、吉田徳次郎譯 昭和三(革命家演說集一)	七P	四	一
ポーランドのバルチック政策 キアトコウスキー述、日波協會譯 昭和八	七P	三四	一
プロレタリアートの政治的任務 レーニン著、廣島定吉譯 昭和四	七P	二七	一
樂亭筆記(樂翁公遺書中卷)	一M	三五	一
蘭臺奏疏 馬從聘著(畿輔叢書初編第一五九册)	〇	初二九	一
蘭領印度行政關係法規及選舉法 昭和六(南支那及南洋調査第一九四輯)	三J	一三	一
蘭領印度の政治並に其批評 ヘル著 昭和五(南支那及南洋調査第一八三輯)	八P	七	一
蘭領東印度事情 外務省通商局編 大正五	二P	三	一
蘭領東印度立法行政並選舉法附蘭領印度附屬總督府調査課編(南支那及南洋調査第一五五輯)	三J	一四	一
黎明期のロシア 山川菊榮著 大正一二	四P	一六	一
黎明之朝鮮 金谷榮雄著 大正一三	四P	一六	一

政治、外交 (政治及雜書)



政治、外交 (政治及雜書)

黎明の支那 亞細亞學生會編 大正一四	七P	一〇〇
黎明錄 福田德三著 昭和二 三版 (經濟學全集第六集上)	一三E	一五六
同	一三E	一五六
歷年演講錄 孫逸仙著 民國一七 (中山叢書第三册)	一四	二六
歷年政治宣言 孫逸仙著 民國一七 (中山叢書第四册)	一四	二六
列國議會同盟會議報告書 森田茂等報	二N	一五
列國議會同盟並同日本議員團概要 大正一五	六P	一五
列國海軍と其の國民 バイナオタア著、石丸藤太譯 昭和三 (文明協會ライブラリ昭和三年度刊行書)	四P	一六
列強間の日本 竹島慶四郎著 明治四五	七P	一四
列強の政戰 芦田均著 大正一三	四P	一六
列強在中國之勢力 李長傳著 民國一七 再版	三三	一三
レーニン主義の基礎 高山洋吉譯 昭和三 改訂版 (スターリン、ブハーリン著作集第三卷)	七P	一六
レーニン帝國主義論體系 メシチエリヤコフ編、川内唯彦譯 昭和四 (體系別レーニン選集第一卷)	七P	一四
隣民撫育法 西山太郎兵衛著 昭和七 (近世地方經濟史料第六卷)	三E	一六
聯邦政治 陳茹玄著 民國一五 再版 (政法叢書)	三三	一四
理蕃概要 臺灣總督府民政部編 明治四一	一P	一五
同 明治四三	一P	一〇

同 大正元	五P	一
理蕃誌稿 猪口安喜編 大正七、一〇	一五H	一六
吏治管見類鈔	三〇五	一四
(宋)李旰江文抄 杉原直養校 慶應二	六	一五
立憲同志會加入の理由 黒須龍太郎述 大正二	五P	一〇
立憲勤王論 尾崎行雄著 大正七 六版	四P	一〇
立憲國民教本 土屋良遵著 大正一二 五〇版	五P	一三
歐洲立憲政況一斑 小野塚喜平次著 明治四一	一P	一四
同	一〇三	一
立憲政體略 加藤弘之著 昭和四 (明治文化全集第七卷)	五M	一七
立憲政友會報國史 菊池悟郎編 昭和六	九P	一五
立憲政友會史 小林雄吾編 大正一三一 一五	三H	一四
第一卷 伊藤總裁時代 第二、三卷 西園寺總裁時代 第四卷 原總裁時代		
維新前後 立憲思想 尾佐竹猛著 大正一四 於ける	八〇	一〇
立憲主義と議會政治 森口繁治著 大正一三 (學術叢書第四編)	四P	一六
陸軍省日誌 明治一五	二元	一〇
陸宣公奏議 陸贄撰	五	一六

臨沂縣行政司法報告書 沈叔美著 民國五

鄰症臆議 大橋順藏著 昭和五 (日本經濟大典第四卷)	一九E	一〇
同	三E	一〇
鄰紳 加藤弘之著 昭和四 (明治文化全集第七卷)	一五M	一七
立法一元論 野間五造著 大正一五、昭和二	六P	一八
野間五造著述 立法一元論批判集 野間五造編 昭和四	八P	一七
李相國論事集 李絳著 (畿輔叢書初編第一四四册)	四	一
理想の憲政 江木衷著 大正六	四P	一九
同	四P	一九
同	四P	一九
同 昭和二 (冷灰全集第四卷)	一〇三	一
同	一〇三	一
栗山堂書抄 柴野栗山著 大正六 (三十輯第三)	二M	一
栗山上書 柴野栗山著 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	九E	一
同	九E	一
同	一五E	一
同	一六E	一
同	一六E	一
同 昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一九E	一

政治、外交 (政治及雜書)

同 寫本	三E	一〇
選舉戰 勞働農民黨の初陣 勞働黨京都府支部聯合會編 昭和二	七P	一四
露國事情 露國政府編、民友社譯 明治三二	一P	一
露國皇室の内幕 シダコッフ著、田原禎次郎譯 明治三八	一P	一
露國共產黨第十二回大會 鈴木尚三譯 大正一五 (勞農露國研究叢書第五編)	九M	一五
露國共產黨第十二回大會決議 (工業に關する決議) 鈴木尚三譯 大正一三 (露文翻譯勞農露國調査資料第二五編附錄)	五P	一六
露國の闇黒面 シダコッフ著、田原禎次郎譯 明治三七 再版	一P	一五
露國の地方自治組織 鈴木尚三、佐藤有二共譯 大正一五 (勞農露國研究叢書第六編)	九M	一六
露國の自治共和國及自治州 エコノミーチエスカヤ・ジューズニ社編、高橋克己譯 大正一四 (露文翻譯勞農露國調査資料第二二編)	五P	一六
同 (勞農露國研究叢書第三編)	九M	一六
露國之實相 堀竹雄、竹村尙次共編 明治三七	三P	一六
露國の各聯盟共和國概要 高橋克己譯 大正一三 (露文翻譯勞農露國調査資料第二〇編)	五P	一四
露國の農民生活と革命 ヒンダス著、向井俊郎譯 大正一三	五P	一七
露國の統治組織及機關 南滿洲鐵道株式會社編 大正一三	五P	一七



政治、外交 (政治及雜書)

露國の統治組織及機關 (勞農露國研究叢書第一編)	九M	三〇	一
露國侵略史 須崎芳三郎著 明治三七 (帝國百科全書第一〇五編)	四M	一〇三	一
羅馬法皇使節派遣論 鈴木智之、小野實共著 大正一一	四P	一〇〇	一
論語三言解 廣瀬淡窓著 大正一五 (淡窓全集中卷)	九M	三〇	一
露農國家と教會 莫斯科出版司法人民委員部編、小山猛男譯 大正一四 (露文翻譯勞農露國調查資料第二二編)	二J	三三	一
同 (農勞露國研究叢書第六編)	九M	三〇	一
勞農露國の言論機關 內山彼得、小山猛男共譯 大正一四 (露文翻譯勞農露國調查資料第二九編)	五P	二七	一
同 大正一五 (勞農露國研究叢書第六編)	九M	三〇	一
一九二三年勞農露國の情態 岡本節三報 大正一十月私の見た 三 (哈調報第一號)	五P	一六	一
勞農露國承認の意義 福田德三著 昭和二三版 (經濟學全集第六集下)	三E	六	一
同	三E	六	一
勞農ロシアの現勢 産業勞動調査所編 昭和二三	四P	二六	一
同	七P	五	一
勞農露西亞の一考察 林源三郎著 大正一三	二P	五	一
勞農露西亞の實情 山崎龜吉著 大正一三	五P	一七	一
勞農露西亞の國賓として 鈴木茂三郎著 大正一六版	七P	一七	一
同 六版	四P	一四	一

勞農政府の運命 北川鹿藏稿 大正一三 (哈調資料第一九號)	五P	二六	一
勞農西伯利の近情 哈爾濱事務所調査課譯 大正一 (哈調資料第二號)	五P	二五	一
露西亞が讓歩するまで 堀江一正編 大正一五 (哈調小冊子第一册)	六P	二五	一
露西亞時代の大連 上田恭輔著 大正一七 (鷄肋集第四編)	四P	四〇	一
露西亞事情 (露西亞事) 露西亞通信社編 昭和一一 (情集改題)	三N	八	一
ロシア革命家の生活論 トロツキー著、西村二郎譯 大正一四	四P	一九	一
ロシアの現在及將來 井上寛述 昭和八 (社會思想パンフレット第一輯)	七P	二七	一
ロシアの危機 トルストイ著、春秋社譯 大正一四 (トルストイ全集第一三卷)	八M	二〇	一
露西亞の輪廓 横井半三郎著 昭和二三	七P	二〇	一
露西亞の社會 今井政吉著 大正一一 (社會講座)	四P	二四	一
同	七P	二四	一
露西亞論 內田硬石、吉倉凡農共著 明治三四	一P	二四	一
露西亞大觀 サロリー著、浮田和民譯 昭和二三	四P	二七	一
露西亞帝國 ポリニー著、林毅陸譯 (早稻田叢書) 明治三四	一P	二	一
ロシアは何處へ行く トロツキー著、田中九一譯 昭和二三	七P	二	一
ロシアより歸りて 後藤新平講 昭和二三 (朝日民衆講座第六輯)	七P	一〇	一

老子の政治思想に就て 鶴澤總明著 大正一五

ロスレル氏答議 昭和四 (明治文化全集第二二卷)	二五M	一	一
ルーズヴェルト氏の日本觀 ルーズヴェルト著	五P	三	一
梁任公文集彙編 梁啓超著 民國三	六	一五	一
龍筋鳳髓判 張鷟撰、劉允鵬原註 嘉慶一六 (湖海樓叢書第五二至五四册)	四	七	一
柳子新論 山縣大貳著 明治一七	元	七	一
同	八〇	二六	一
同 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	九E	一	一
同	一六E	一	一
同	一五E	一	一
同	一〇〇	一	一
同 昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一九E	一	一
同	三E	一	一
同 大正五 (日本國粹全書第四輯)	八M	一	一
同 昭和三 (新註皇學叢書第一二卷)	二M	一	一

政治、外交 (政治及雜書)

S

柳窓談言 長谷川敦高著 (泉州史料)	三P	二六	一
佐伯郡制誌 佐伯郡地方振興財團編 昭和四	四H	七	一
佐嘉藩治規約、肥前藩日誌、佐嘉藩日誌 肥前藩政府刊 明治二	一三	一〇	一
佐賀市水道誌 佐賀市役所編 大正一三	八P	二七	一
再革命の獨逸 北哈吉著 昭和八 (世界の今明日八)	七P	二〇	一
最近米國の真相 後藤武男著 大正一一	四P	一〇	一
同	一〇〇	二八	一
最近獨逸政派の消長 藤本ベルブローカー銀行調査部譯 大正九	四P	三	一
最近埃及 クローマー著、安田勝吉譯 明治四四 (大日本文明協會第一期刊行書第一一、一二卷)	一P	一〇	一
同 明治四五 再版	六P	一五	一
最近の韓國 (日露戰爭中に於ける韓國の諸問題) 松宮春一著 明治三三	一P	四	一
最近の露西亞 稻原勝治著 大正九 (通俗國際文庫第三卷)	五P	四	一
最近の西伯利とソウェイト政府 哈爾濱商品陳列館編 大正一二	八P	二四	一
最近の支那事情 (支那政局の推移と排日の狀況、日支通商條約改正問題と兩國の將來) 岡崎省藏述 昭和四	八P	二四	一
最近の支那事情と國民黨の領導 村上貞吉述 昭和七	八P	二六	一
最近歐米各國事情 清水徳太郎著 昭和八	七P	三五	一



政治、外交 (政治及雜書)

最近露西亞史講話 齋藤清太郎著	大正一〇	一四H	二四	一
最近政治概況 民國一八		三五	七	一
最近政治經濟講話 實業同志會編	大正一四	七P	三六	一
最近政治思想史 高橋清吾著 昭和二(政治ライブラリー第三卷)		六P	六	一
再認識下の支那 中山優著 昭和八(世界の今明日三)		六P	三六	一
祭政説略 (黒川真頼全集第六)		一M	三/六	一
最新行政文牘 商務印書館編輯所編 民國一四 二版	民國一四	三五	五	一
宰相責任論 コンスタン著、大塚成吉譯	明治一六	七P	三三	一
埼玉縣人間郡制誌 埼玉縣人間郡編	大正一二	八P	九	一
埼玉縣大里郡制誌 埼玉縣大里郡編	大正一二	六H	三	一
佐治樂言 汪輝祖纂 (知不足齋叢書第九六冊)		五	一	一
避け難き大變革 トルストイ著、深見尚行譯 昭和六(トルストイ全集第二〇卷)		一八M	一〇	一
佐久間象山上書 大正六(日本經濟叢書卷三二)		九E	一	一
同		一六E	一	一
同		二五E	一	一
同		一〇〇M	一八/三	一

同 昭和五(日本經濟大典第四六卷)		一九E	一/四六	一
同		二E	九/四六	一
同 昨年の歐米 原勝郎著 明治四五 再版		一〇〇M	一〇三	一
三國干渉論 尾崎行雄著 大正一五(尾崎行雄全集第五卷)		二M	二/五	一
同		一七M	四/五	一
三事忠告 張養浩著 天保五		三	八	一
山上の展望 下田將美著 大正一〇		四P	七	一
同		四P	三	一
同		七P	二八	一
同		四P	七	一
三重組織の國家と責任 國家論 スタイナー、ギッヂンク共著、坂本義雄、鹽見清共譯 大正一一		四P	七	一
參考資料 衆議院議員選舉法調査會刊		四P	七	一
第一號 選舉法ニ關スル參考書		九P	一九	一
第二號 小學校教員被選舉權要望運動狀況		九P	二〇	一
第三號 僧侶被選舉權獲得運動狀況		九P	二二	一
第四號 女子政社並政談集會參加制限廢廢運動		九P	二二	一
第五號 衆議院議員選舉法罰則對照調		六J	九〇	一
第六號 衆議院議員選舉違犯者調		六J	九〇	一
第七號 地租營業稅ノ地方委讓ニ依ル衆議院議員選舉失權見込者數調		九P	一三	一
三民主義 孫逸仙著 民國一六		七P	一四六	一

政治、外交 (政治及雜書)

同 一九二八		七P	七	一
同 民國一七(中山叢書第一冊)		一五	一	一
全譯三民主義 孫逸仙著、沈觀鼎譯 民國一九		七P	二四	一
同 孫逸仙著、金井寬三譯 昭和四(改造文庫第一部第四〇篇)		一九M	四	一
同 孫逸仙著、長野朗譯 大正一五		八P	九	一
同 三民主義問答 史寒菲、曹雪松共編 民國一七三版 (黨化小叢書之四)		三五	五	一
三民主義之理論的體系 周佛海著 民國一七 五版		八P	三	一
同		三五	六	一
三民主義淺説 朱翊新編 民國一七		七P	三	一
三民主義淺説 曹雪松、戚憲農共編 民國一六 再版		三五	四	一
三民主義大綱 曹雪松編 民國一七 再版(黨化小叢書之三)		三五	六	一
三民主義的連環性 胡漢民著 民國一七		七P	三	一
三民主義と階級闘争 梅嵩南著 昭和四		七P	七	一
三又政戦録 弘田直衛著 大正四		七P	一〇	一
同		七P	二九	一
賛成と反對 加藤六蔵編 明治三六		一P	一	一
三申先生饒舌贅文集 永田正吾編 昭和五		七P	一〇〇	一

三醉人經綸問答 中江篤介著 昭和四(明治文化全集第七卷)		一五M	一/七	一
札幌區區勢調査原表(明治四二年三月一日實施) 札幌區役所編		三R	三	一
札幌區區勢調査研究 高岡熊雄著 大正九		五P	九	一
差出方地方要集録 寫本		一〇	三	一
佐州巡村記 寫本		一〇	二八	一
薩長十肥 小林雄七郎著 昭和四(明治文化全集第二二卷)		一五M	一/三	一
讀薩長論 田口卯吉著 昭和三(鼎軒田口卯吉全集第五卷)		二M	三/五	一
民政制治民政篇 內務省地方局編 大正二		一P	一七	一
同		一〇〇M	二四五	一
成大録 一名鴻爪後記 小林存編 大正四		七P	二四九	一
政談 荻生徂徠著 大正三(日本經濟叢書卷三)		九E	一/三	一
同		一五E	三/三	一
同		一六E	一/三	一
同		二五E	一/三	一
同		一〇〇M	一八/三	一
同 昭和三(日本經濟大典第九卷)		一九E	一/九	一



政治、外交 (政治及雜書)

政談 荻生徂徠著 昭和三(日 經濟大典第九卷)	三E	九/九	一
同 昭和五(日本思想圖評史料第六卷)	二EM	三/六	一
同 寫本	一〇八	一七	二
制度整理之先驅 <small>主要食料品 關稅之撤廢</small> 岡崎久次郎著 大正元	三P	一九	一
制度整理要論 <small>武富時敏著 三編</small> 明治四五(問題叢書第	四P	二四	一
政學錄 鄭端輯(畿輔叢書初篇第一六一至一六四册)	四	初六六六四	四
政語 松平定信著(樂翁公遺書上卷)	一M	三/上	一
同 昭和四(日本經濟大典第一三卷)	一九E	一/三	一
同	三E	九/三	一
政變物語 前田蓮山著 大正九	八〇〇	一四〇	一
政法哲學 スペンサー著、濱野定四郎、渡邊治共譯 明治一九 再版	四P	一八	二
同 三版	七P	一八	二
同後編 再版	四P	三三	一
政治文獻年表 吉野作造編 昭和四(明治文化全集 第七卷)	二五M	一/七	一
政治地理學 山本信博著 明治三七(帝國百科全書 第一〇七編)	四M	一〇四	一
政治道德法典 八木幸吉編 大正一三	四P	一〇四	一

政治道德論 浮田和民講 大正元、二(早稻田大學政 治經濟科第二八回講義錄)	一P	一三	一
政治外交篇 榎原茂樹、岸田英治共著 昭和五(大 支那大系第三卷)	一八M	七/三	一
政治學 ブレンチュリー著、中根重一譯 明治一六 再版	四P	一三	五
政治學 南弘編 明治三九(帝國百科全書第一四五 編)	四M	一〇	一
政治學 大山郁夫、無產者自由大學共編 昭和三 (無產者自由大學第九講座)	七P	三	一
政治學 一名國 ライトゲン講 李隆介、山崎哲藏 家學 共譯 明治二七 訂正再版	一P	一五	一
同	H	二七	一
政治學上 佐藤丑次郎著 明治四一	一P	一〇	一
ツクレイ政治學上 浮田和民解説	一P	七	一
政治學ABC 朱采真著 民國一八 再版(ABC 叢書)	三五	一五	一
政治學概論 今中次鷹著 昭和三(大思想エンサイ クロベチア第一七卷)	二D	六/七	一
政治學概論 惲代英編 民國一五(政治講義第五種)	七P	一四五	一
政治學概論 高橋清吾著 昭和二(文化科學叢書第 五卷)	四P	三〇	一
政治學概論 戶澤鐵彦著 昭和五(現代政治學全集 第一卷)	八P	一〇	一
政治學原理 稻田周之助著 大正元(政治學叢書)	六P	一五	一
政治學範典 ラスキ著、市村今朝藏譯 昭和七 (世界大思想全集第六四)	七P	三二	一

政治、外交 (政治及雜書)

政治學研究 吉野作造編 昭和二	六P	九	二
同 第一	六P	九	一
政治學講義 稻田周之助著 大正二二 四版(政治 學叢書第一編)	五P	一四	一
政治學の根本問題 ヘルゲル著、友岡久雄譯 大正 一四	四P	一五	一
政治學の任務と對象 蠟山政道著 大正一四	五P	三三	一
同	六P	一三	一
政治學說史 今中次鷹 昭和六(現代政治學全集第 四卷)	八P	一三	一
政治學說史 シュテレンベルヒ著、藤本直譯 大正 一四	四P	一〇	一
同	四P	一八	一
同	七P	七	一
政治學說史大要 カスバリー著、藤本直譯 昭和八	八P	三三	一
同	一〇P	三	一
政治學史 津田欽一郎著 明治三八(帝國百科全書 第一二五編)	四M	三三	一
同	一〇P	八	一
政治學史大綱 ホロック著、小寺謙吉譯 大正一一	四P	二三	一
政治學叢書 稻田周之助著	六P	五	一
政治學原理 大正元	六P	五	一
支那及露西亞 大正六	六P	五	一
外交史要領 昭和三	六P	二三	一

政治學大綱 小野塚喜平次著 明治三六	一P	一〇	二
同 明治四〇、四一 三、四版	五P	一九	一
同	一〇三	一四	二
政治學特殊研究 山崎又次郎著	七P	一四	一
第一輯 比例代表法と多數本位代表法 昭和五	一P	一〇	一
政治原論 浮田和民講(早稻田大學明治四二年度政 治經濟科第一學年講義錄)	一P	一〇	一
同 (早稻田大學政治經濟科第二八回講義錄) 大正 元、二	一P	一七	一
政治汎論 ウイルソン著、高田早苗譯 明治三〇 四版 (早稻田叢書)	一P	三三	一
同 明治四一	一P	一〇	一
同 大正五、七 初版(新早稻田叢書第一、二編)	五P	一〇	二
政治汎論 永井惟直著 明治三三(帝國百科全書第 四七編)	四M	四	一
政治篇 昭和八(異說日本史第一三)	二四H	一〇	一
政治篇 明治文化全集刊行會編 昭和四(明治文化 全集第七卷)	二五M	一/七	一
政治篇 野村秀雄編 昭和六(明治大正史第六卷)	三〇H	八/六	一
政治批判叢書 弘文堂書房刊	五Q	八三	一
第二編 一九〇五年以後 レーニン著、村山藤四 郎譯 昭和二 再版	四Q	三三	一
同	五Q	八三	一



政治、外交 (政治及雜書)

第三編	伊太利に於けるファシズム	アキラ著、黒川健三譯	昭和二	七P	二
第四編	勞農ロシアの社會主義的建設(社會主義)	アハリン著、河上肇、大橋積共譯	昭和二	五Q	元
第五編	支那は何處へ行くか?	トルセン著、蓬臺恒治譯	昭和二	七P	元
第六編	帝國主義と石油問題	アノット著、風間信三譯	昭和二	一八E	充
第七編	勞働組合運動の理論と戰術	ロソウスキ著、上西薫譯	昭和二	五Q	空
第八編	農民問題	エンゲルス著、村山藤四郎譯	昭和二	五Q	共
第九編	協同組合論	レイニン著、小林直衛譯	昭和二	五Q	天
第一〇編	勞働組合の指導理論	マルクス等著、鈴木安藏譯	昭和三	五Q	兎
第一編	轉換期の經濟政策	ゾルザ著、高岡隆吉譯	昭和三	一八E	毛
第二編	マッセンストライク	ルクセンブルグ著、清水平九郎譯	昭和三	五Q	突
政治評論	小山東助著	大正一三(鼎浦集第一卷)	大正一	八M	三
政治一新論	武藤山治著	大正一〇	大正一	四P	充
政治上の國民總動員	上杉慎吉著	昭和二 再版	大正一	四P	三
政治上の諸論文	ドストイェフスキ著、黒田辰男譯	大正一五(ドストイェフスキ全集第一三卷)	大正一	一五B	三
政治科學	ピアード著、高橋清吾譯	大正一一	大正一	一〇〇三	六

政治改革	建部遜吾著	大正一〇(現代社會問題研究第一九卷)	大正一〇	四P	三	
政治改造運動	武藤山治著	大正一三 再版	大正一〇	四P	一〇	
政治家のキャラクリ	吉野鐵拳著	大正一三	大正一〇	八〇	一九	
政事刑事の本義	黒川眞頼著	明治四四(黒川眞頼全集第六)	大正一〇	一M	三	
政治講義録辭解	(早稻田大學政治經濟科第二八回講義録)	大正元、二	大正一〇	一P	二五	
政治經濟科講義録研究法	早稻田大學編輯局編(同)	大學政治經濟科第二八回講義録	大正元、二	一P	二三	
政治初學須知	山本利喜雄講(早稻田大學政治經濟科第二八回講義録)	大正元、二	大正一〇	一P	二四	
政治經濟年鑑	東京政治經濟研究所編	昭和五	大正一〇	一五N	元	
政治經濟勞働者運動地圖	ラドラー著、産業勞働調査所譯	昭和六	大正一〇	三X	三	
政治紀行	尾崎行雄著	昭和二(尾崎行雄全集第九卷)	大正一〇	二M	九	
政治行動と政治意識	長谷川萬次郎著(社會問題講座)	中山大學政治訓育叢書	甘乃光等述	民國一八	六P	七
政治教育論	尾崎行雄著	大正二 三版	大正一〇	一P	一六	
政治の貧困	佐々弘雄著	昭和六	大正一〇	七P	一三	
政治の經濟的基礎	ピアード著、高橋清吾譯	大正一一	大正一〇	四P	一四	

政治の倫理化 後藤新平著 大正一五

政治の倫理化	後藤新平著	大正一五	大正一五	四P	二四
政治の理想	ラッセル著、松本悟朗譯	大正九	大正一五	四P	四
政治の社會的基礎	大山郁夫著	大正一三 一〇版	大正一五	五P	一四
政治の燈臺	大養毅著	明治二〇	大正一五	四P	二二
現代政治及學說論集	小野塚喜平次著	大正五	大正一五	一P	一三
政治及經濟	カンニングハム著	明治二七(日新叢書第五卷)	大正一五	三E	二二
政治及び政黨論集	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集 第五卷)	大正一五	二M	二
政治ライブラリー	政治教育協會編		大正一五	七M	九
第一卷	歐米政界の新潮流	水野鍊太郎著	昭和二	六P	二
第二卷	世界經濟と國際金融	堀江歸一著	昭和二	二六E	一三
第三卷	最近政治思想史	高橋清吾著	昭和二	六P	三
第四卷	國際聯盟政策論	神川彦松著	昭和二	六P	三
第五卷	社會思想文典	永井亨著	昭和二	一三F	六
第六卷	婦人參政權論	森口繁治著	昭和二	一五F	五
第七卷	英國政治制度	占部百太郎著	昭和三	六P	三
第八卷	近世經濟學說史上	高橋誠一郎著	昭和三	一九E	一五
第九卷	政黨及び政黨史	田川大吉郎著	昭和四	八P	六

政治、外交 (政治及雜書)

政治倫理化運動の一周年	後藤新平述	昭和二	大正一五	六P	五	
政治論	佐野學著	昭和五(佐野學集第四)	大正一五	六Q	四	
政治論略	ホルク著、金子堅太郎譯	昭和四(明治文化全集第七卷)	大正一五	一五M	七	
政治政策原論	今中次磨著(社會經濟體系第一二卷)	森山守次著	明治三三(帝國百科全書第四六編)	大正一五	四M	四
政治史	シエンカス著、川原次吉郎譯	昭和四	大正一五	八P	一	
政治心理論	稻田周之助著	大正一三	大正一五	五P	一六	
政治思想	五來欣造、廣瀬哲士共著	昭和九(現代政治學全集第二卷)	大正一五	一〇P	四	
政治思想の變遷	高橋清吾著	昭和三	大正一五	七P	三	
政治思想史	フォルレンダア著、服部實等譯(世界大思想全集第二期第一六)	市村今朝藏著	昭和三(大思想エンサイクロペヂヤ第一七卷)	大正一五	七P	三
政治思想史	今中次磨著	昭和二	大正一五	六P	四	
政治思想史	高橋清吾著(社會經濟體系第一二卷)		大正一五	一六E	三	
政治叢書	政治叢書社		大正一五	二P	五	
青年政黨論	糸澤憲八著	明治三七	大正一五	一P	一七	
政治的發展の一世紀	マックファーレン著、大庭寛一譯	明治四四(大日本文明協會第一期刊行書第三四卷)	大正一五	一P	一七	
同	大正元 再版		大正一五	六P	一五	



政治、外交 (政治及雜書)

政治的正義に關する研究	ゴドウィン著、松本悟	五Q	五三/三	一
政治哲學	アリストテレス著、木村鷹太郎譯	二四H	一〇六	一
政治哲學	五來欣造著、昭和三(大思想エンサイク	二D	六八/七	一
政治哲學	ロベチア第一七卷)			
政治哲學	スペンサー著、濱野定四郎、渡邊治共譯	七P	一八	二
政治と人物	安岡正篤著、昭和六(金雞文叢第一四)	八P	一元	一
政治と改革	安岡正篤著、昭和六(金雞文叢第一三)	八P	四〇	一
政治讀本	尾崎行雄著、大正一四	六P	三	一
同 三版		五〇	三三	一
同 昭和二(尾崎行雄全集第九卷)		二M	二/九	一
同		一七M	四九/九	一
政治と民意	アルブリック著、後藤新平譯、大正	三P	〇	一
同		一〇〇	一六	一
政治と宗教との關係	安藤正純著、大正二二	五P	一毛	一
政治闘争パンフレット				
第一卷 自作農創定と農業問題	和田叡三著、昭	七P	四	一
政治罪惡論	ブロール著、松平康國譯、明治三四	八P	一六	一
制科議	陸世儀著、光緒二二(陸桴亭先生遺書第一	四	三/八	一

政界革新の説	長島隆二著、昭和二	七P	二〇	一
政界革新運動と實業同志會	武藤山治述、大正二	五P	一五	一
同 大正四 三版		一〇P	三	一
政界の根本的淨化	鈴木梅四郎著、昭和七	七P	二四	一
最近政界の真相	犬養毅、大石正巳共著、明治四四	一P	一〇六	一
政海の燈臺	犬養毅著、明治二〇	四P	三六	一
政界春秋	藤田日東著、大正三	四P	三	一
齊相問對	澤村琴所著、大正三(日本經濟叢書卷六)	九E	一/六	一
同		一五E	三/六	一
同		一六E	一/六	一
同 大正七		一五E	一/六	一
同		一〇〇	一八/六	一
同 昭和三(日本經濟大典第一卷)		一九E	一/二	一
同		二E	九/二	一
征韓論實相	煙山專太郎著、明治四一 再版	八〇	二二	一
征韓論の舊夢談	佐田白茅著、昭和四(明治文化全	五M	一/三	一
集第二二卷)		七P	一六	一
生活安定の基本	神木鷗津著、昭和三	七P	一六	一

省營錄 佐久間象山著 大正六(日本國粹全書第二

省營錄	佐久間象山著、大正六(日本國粹全書第二	一八M	四八/三	一
政經	眞德秀著(說郛第七〇册)	四	三/〇	一
政教中止論	岡本柳之助著、明治三二	H	一三〇	一
政局動亂の真相	佐藤正著、昭和七	七P	二九	一
政教略義	金天祐著、昭和四(日本經濟大典第二八	一九E	一/八	一
同		三E	九/八	一
政教史論	木下尚江編、大正一四(島田三郎全集第	八M	八五/四	一
正名私議	内藤耻叟述、寫本	一元	七	一
西南亞細亞視察談	田鍋安之助述、大正一五	四P	二四	一
青年政黨論	橋本徹馬著、明治四五	四P	三	一
青年政黨論	糸澤憲人著、明治三七(政治叢書)	一P	五	一
政理叢談	第一號一五一、五三一、五五號、明治一五	二〇	一五	六
政戰に臨む	山本保庸編、大正一五	四P	三六	一
政戰三十年	尾崎行雄述、大正二	五〇	三三	一
同 三版		一P	一三	一
成周徹法演	何貽需著(畿輔叢書初篇第一九九册)	四P	二七	一
政争渦中の支那	小川節著、大正一一(國情研究	四P	二七	一
叢書第三卷)				

政治、外交 (政治及雜書)

政争と黨弊	細井肇著、大正三	三P	一五	一
明治十六盛衰記	後藤陸奥二、酒井忠誠著、昭和四(明	一五M	一/三	一
年各政黨	氏去就論、治文化全集第二二卷)			
政體選言	昭和四(日本經濟大典第二六卷)	一九E	一/六	一
同		二E	九/六	一
西哲夢物語	昭和三(明治文化全集第四卷)	一五M	一/四	一
政黨亡國論	大井一哲著、昭和五 一六版	七P	二六	一
政黨評判記	利光鶴松著、昭和四(明治文化全集第	五M	一/三	一
政黨一新論	憲政と大、菊地武徳述、大正四	三P	七	一
青島事件の善後交渉は如何に進みつゝあるか	青島居留民大會刊、昭和六	八P	一四	一
政黨の話	野村秀雄著、昭和五(第二期朝日常識講	一八M	八/五	一
政黨の發達	尾佐竹猛著、昭和八	一〇P	二四	一
政黨及び政黨史	田川大吉郎著、昭和四(政治ライ	八P	六	一
政黨政治の將來	ラフエチー著、小寺謙吉譯、大	四P	一〇五	一
政黨社會學	ミツヒエリス著、森孝三譯、大正二(大	一P	一四八	一
政黨資金論	ホロック著、安武貞雄譯、昭和五(文	七P	一三	一
明協會ライブラリ)				







政治、外交 (政治及雜書)

宣言及決議案(中國國民黨一)	大東書局刊	民國一	三五	二九	一
戰後の獨逸	葉山萬次郎著	大正一〇	四P	五	一
戰後の日本及支那	竹内正志著	大正八	五P	四	一
戰後の列強	長瀬鳳輔著	大正一〇(新時代叢書第一〇卷)	四P	四	一
戰後の列強	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集第五卷)	二M	二/五	一
同			二M	二/五	一
戰時に於ける里昂市經營事業	大正七(地方資料第八輯)		一〇E	二五/八	一
戰機は斯くして動く	ペーケレス著、石丸藤太譯		四P	三九	一
昭和二(文明協會昭和二年度刊行書)					一
選舉法講話	美濃部達吉著	昭和三(大思想エンサイクロペヂヤ第一七卷)	二D	六/七	一
選舉權ニ關スル調査資料	衆議院議員選舉法調査會刊		九P	一四	一
選舉及び國會	レーニン著、瓜生信夫譯	昭和三(マルクス主義文庫第八卷)	七P	七	一
選舉制度論	森口繁治著	昭和六(現代政治學全集第八卷)	八P	二六	一
選舉運動方法ノ取締ニ關スル調査資料	衆議院議員選舉法調査會刊		九P	七	一
鮮滿の經營(朝鮮問題の)	細井肇著	大正一〇	八P	三	一
千慮策	楊萬里著、天章禪師校		三	二	一
同	安政四		三	三	一

戰爭・貿易・海賊	小林知治著	昭和七	七P	三八	一
戰爭論	荒畑寒村著	昭和七	七P	三五	一
戰爭論	クラウゼヴィッツ著、馬込健之助譯	昭和六、七	一八S	四	一
戰爭論	レーニン著、水島梁二譯	昭和三(青年運動叢書第二卷)	四P	二七	一
戰爭と平和	ケイ著、本間久雄譯	昭和四(社會思想全集第三二卷)	五Q	三/三	一
戰爭是非	デイッキンソン著、小泉信三、三邊金藏共譯	大正四	三P	三	一
同			三P	三	一
同			五〇	二五	一
同			五〇	二五	一
戰前の歐洲	吉野作造著	大正六	八P	〇	一
雪窓夜話	寫本		八P	〇	一
社會傳統論	ワラス著、岡島龜次郎譯	大正一四(大日本文明協會大正一四年度刊行書)	四P	二七	一
社會フアシズム論	ラビンスキー著、田中勝太郎譯	昭和七(改造文庫第一部第八三篇)	一九M	二六	一
社會學的國家概念と法律的國家概念	ケルゼン著、堀眞琴譯	昭和四(世界大思想全集第四五卷)	七P	五	一
社會學と政治理論	新明正道著	大正一四	四P	一六	一
社會改造の原理	ラッセル著、村上啓夫譯	昭和四(世界大思想全集第四五卷)	七P	五	一
社會改造の諸原理	ラッセル著、松本悟朗譯	昭和三(社會思想全集第三五卷)	五Q	三/三	一

政治、外交 (政治及雜書)

社會革命の將來	五來欣造著	大正一〇	再版	一〇三	一
社會民衆黨五ヶ年闘争史	赤松克麿編	昭和七	八P	二七	一
運動社會の花	清水亮三編	明治二〇	八〇	五四	一
社會連帶主義	丸山岩吉著	大正一一	四P	二六	一
上海事件に關する報告	高久肇編	大正一四(滿鐵調査資料第四九編)	六P	二七	一
上海に於ける動亂直後の印象	森盛一郎報	大正一四	六P	二六	一
上海特別市公安局業務紀要	民國一七		三〇五	五	一
増芝區勢便覽	東京市芝區役所編	大正一五	六P	一四	一
西比利亞經濟援助ノ概要	臨時西比利亞經濟援助部編	大正七	九E	五	一
西比利亞の行政經濟事情	南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編	昭和四(露亞經濟調査叢書)	八P	三	一
澁谷町字名地番改正誌	澁谷町役場編	昭和三	二P	三	一
市町村會議事法講座	古屋景晴述	昭和四	八P	二九	一
改正市町村制要論	櫻井繁治著	大正一五	四P	三七	一
同(道)	昭和四		七P	三	一
市町村財政の實際と其理論	田子一民著	大正七	五P	三	一
京滬四大都市之市政	董修甲著	民國二〇(市政叢書)	三五	九	一
重憲筆記	大山重憲著	昭和五(日本經濟大典第三八卷)	一九E	一	一

同			二E	九/三	一
私議考案	海江田信義著	明治二五	二E	二	一
肄業餘稿	帆足萬里著	大正一五(帆足萬里先生全集上卷)	二M	三/上	一
司法省定制則並職制	寫本		一元	二六	一
資治清要	松平定信著	昭和四(日本經濟大典第一三卷)	一九E	一	一
同			三E	九/三	一
市場市營ニ關スル調査報告書	東京市役所勸業課編	大正元	一P	一	一
識節錄	淺日綱齋著	大正三(日本經濟叢書卷三)	九E	一	一
同			一五E	三/三	一
同			一六E	三/三	一
同			二五E	一/三	一
同			一〇〇三	八/三	一
同			一九E	一	一
同			三E	九/三	一
桎梏の印度	サンダーランド著、ボース、田邊宗夫共譯	昭和八	七P	三	一
四面楚歌の獨乙	スチオーブ著、元山敦譯	大正六	七P	二九	一



政治、外交 (政治及雜書)

下都賀郡制誌 栃木縣下都賀郡教育會編	大正一三	三〇H	一
支那分割論 <small>附袁世凱</small> 酒卷貞一郎著	大正二	再版	三P
支那我觀 松永安左衛門著	大正八	四P	一
同		五〇	一
同		三三	一
支那排日教材集 東亞經濟調查局編	昭和四 (東亞小冊第二)	九P	一
支那發達史と居留地論 西川喜一著	大正一四	三〇〇	一
支那事情講習錄 東亞同文會編	昭和四	三〇H	一
支那女子參政運動の經過 張叔夜著	(支那研究彙錄三六)	三〇	一
支那各地に於ける排日排貨狀況 東亞同文會編	(誘導部報告第五、六號)	五X	一
支那革命實見記 池亨吉著	明治四四	一P	一
同		一〇〇	一
同		三三	一
スターリン支那革命論 著、高山洋吉等共譯	昭和三 (スターリン、ブハリン著作集第一四卷)	五Q	一
支那革命論文集 山口慎一編	昭和五 (支那問題研究資料第一輯)	七P	一
支那革命史 吉野作造、加藤繁共著	大正一一	再版	五P
同		一〇〇	一
支那革命小史 吉野作造著	大正六	再版	三P

支那革命と世界の明日 細川嘉六著	昭和三	七P	一
支那觀 內田良平著	大正二	三P	一
支那研究 服部宇之吉著	大正五	三P	一
同		一〇〇	一
支那研究資料 第一、支那研究會編	大正六、七	一四N	一
支那近世政治思潮 黃宗義著、松井等譯	大正八 (興亡史論第二期第九卷)	一四H	一
同 昭和六 (世界興亡史論第一五)		三H	一
支那古代政治思想史(未完) 中江丑吉著	大正一四	三〇H	一
支那國民運動の指導原理 長野朗著	昭和二	四P	一
支那共和史 平川清風著	大正九	五P	一
同		六P	一
同 再版		一〇〇	一
支那問題辭典 支那問題研究所編	昭和四	三D	一
支那問題研究資料 山口慎一編	昭和五	一〇〇	一
第一輯 支那革命論文集		七P	一
第二輯 一九二九年政治決議その他		七P	一
增訂支那問題講話 中國問題研究會著	昭和六	七P	一
支那問題講話 プロレタリア科學研究所編	昭和五	六Q	一

支那に於ける排日運動と今回の排外暴動 大阪市役所産業部編	大正一四	六P	一
支那に於ける日本の野心 ショーンズ著、榎米吉譯	大正一〇	五P	一
支那に於ける列強の利權運動 徐之圭著	昭和五 (南支那及南洋調査第一六九號)	八P	一
支那ニ於ケル鐵礦暫行辦法ヲ撤廢セシムル急務ヲ論ズ 森恪述	大正六	二四E	一
支那に於ける鐵道利權と列強の政策 山本修平著	大正六	三P	一
支那の歩み 高柳保太郎著	大正一五	七P	一
支那の土匪と軍隊 長野朗著	大正一三	七P	一
支那の動亂に直面して 國土同盟會編	昭和二	四P	一
支那の動亂と山東農村 小澤茂一編	昭和五 (資料第三四編)	八P	一
支那の現狀 大西齋著	昭和五 (朝日常識講座第三卷)	八M	一
支那の現在及將來 西師意著	昭和三	六P	一
同		八P	一
支那の五族共和 中村久四郎著	大正一四 (東亞研究講座其四)	四P	一
支那の排外運動と門戶開放 小川節著	大正一四 (東亞研究講座其五)	四P	一
東支鐵道沿線 支那の實相と法權運用 八木象次郎著	昭和六	八P	一
支那の興國運動 大正一五 (經濟資料第一二卷第七號)		八P	一

支那の國民革命と國民政府 井出季和太著	昭和三 (南支那及南洋調査第一四九、一五二)	六P	一
支那の國是 徐朗西著	大正六	三P	一
支那の政黨 波多野乾一、松本鎗吉共著	大正八 (續支那研究叢書第一卷)	五P	一
同		一〇〇	一
支那の赤禍と日本 關德明著	昭和二	六P	一
支那の社會運動 大正一五 (經濟資料第一二卷第三號附錄)		八P	一
支那の將來 山本唯三郎著	大正元	一P	一
同		六P	一
支那を如何にすべきか 木村増太郎述	大正一五 (東亞研究講座第九輯)	四P	一
支那を觀て 細井肇著	大正八	七P	一
支那及露西亞(政治心) 稻田周之助著	大正六 (政治學叢書第二卷)	六P	一
支那及支那問題辭典 河瀬龍雄著	大正一五	三D	一
支那聯省組織論 長崎五造著	大正一〇	八〇	一
支那論 內藤虎次郎著	大正三	一P	一
同		八P	一
同		一〇〇	一
同 二版		六P	一
一九三〇年支那政治經濟年史 東亞經濟調查局編	昭和七	八P	一



政治、外交 (政治及雜書)

支那政治史綱領	參謀本部編	大正七	三P	二卷	一
同			一〇〇三	四	一
支那政治組織	森茂講(早稻田大學明治四二年度政治經濟科第二學年講義錄)		一P	六	一
支那政治組織の研究	及川恒忠著	昭和八	八P	三三	一
支那正觀	有賀長雄著	大正七	四P	元	一
同			一〇〇三	二	一
支那政黨結社史	竹内克己、柏田天山共著	大正七	八〇〇	五〇	二
支那政黨ノ現況	大正九		五P	六	一
支那新人と黎明運動	清水安三著	大正一三	四P	一四	一
支那新論	佐藤宏著	明治三一	五P	三〇	一
支那處分案	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集第三卷)	二M	二/三	一
同			一七M	四九/三	一
支那大觀	濱田精藏著	大正一一	四P	一六	一
同			一〇〇三	一七	一
支那と米國との關係	佐原研究室編	大正七	八P	七	一
同			六P	四	一
支那と米國との關係	山口昇編	大正六	三P	一七	一
支那讀本	長野朗著	昭和三	六P	二八	一

支那は何處へ往くか?	ドルセン著、蓮臺恒治譯	昭和二(政治批判叢書第五編)	七P	元	一
支那は眼覺め行く	ウイットフォール著、二木猛譯	昭和三	七P	六	一
支那は動く・支那を見よ	長野朗著	昭和二	四P	三九	一
同			四P	三三	一
新聞紙上の露西亞	南滿洲鐵道株式會社編	昭和四	三N	七	一
沈文肅公政書本	沈葆楨著		八	一六	一〇
新朝鮮風土記	師尾源藏著	昭和五	三H	二九	一
新獨逸	尾原亮太郎著	大正五	三P	六	一
新獨逸の政治組織	オーベンハイマー著、藤井新一譯	昭和四(文明協會ライブラリ)	七P	兵	一
新時代の曙	モリス著、本間久雄譯	昭和四(社會思想全集第三二卷)	五Q	三/三	一
新人會叢書	聚英閣刊				
五 新國家論	メンガー著、河村又介譯	大正一〇	一〇〇三	三五	一
新自由主義	ウイルソン著、關和知譯	大正三	四P	元	一
新攘夷論	ウキルキンス著	明治二七(日新叢書第二卷)	五P	五	一
清韓篇	デニー著、柴山尙則譯	明治二三	七P	一〇六	一
新廣東觀察記	李宗黃著	民國一一	三〇五	五	一
神權説と民約説	穂積陳重著	昭和三(法律進化論叢書第一册)	六P	一〇三	一
新興ドイツ魂	池田林儀著	昭和五	七P	二六	一

政治、外交 (政治及雜書)

新國家論	メンガー著、河村又介譯	大正一〇(新國家論會叢書第五編)	四P	六	一
同			一〇〇三	三五	一
清國通考	服部宇之吉著	明治三八	五P	九	二
同			三P	一六	一
新興の朝鮮	附統計圖表及各種分布圖	朝鮮總督府編	七H	元	二
新興支那とは何ぞや	高柳保太郎著	昭和三	二P	四	一
新興諸國の現狀	長瀬鳳輔著	大正一一(國情研究叢書第一卷)	四P	一〇	一
新疆問題	華企雲編	民國二〇(邊疆問題叢書)	三〇五	一〇	一
新民主主義論	リジス著、土岐百巖譯	大正九	一〇〇三	九	一
新モンロオ主義	厨川白村著	昭和四(厨川白村全集第五卷)	三B	九/五	一
新日本	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集第二卷)	二M	二/二	一
同			七M	四九/二	一
進歩黨々報	第一一二號	明治三十年五月一日	三N	三	二
新理想	荻野萬之助著	明治三五	一P	四	一
新理想國	ヒューズ著、大日本文明協會譯	大正八	四P	一五	一
同			四P	二四	一
新論	會澤安著		三	四	二
同			H	四九	二

同			三	五	二
同			二M	三/三	一
同			一五M	一/五	一
同			一〇五	三六	五
同			三	四	五
同			九E	一/三	一
同			一六E	一/三	一
同			三五E	一/三	一
同			一〇〇三	一八/三	一
同			一九E	一/三	一
同			三E	九/四	一
同			一〇六	天	二
同			七P	一〇五	一
同			一三	一四	二
同			一五M	一/五	一
同			一三	二	一
同			七P	一七	一



政治、外交 (政治及雜書)

新支那論	內藤虎次郎著	大正一三	三版	四P	二七三
新眞公法論	并附 大國隆正著	昭和四	(明治文化全集第一五卷)	一五M	一五
新裝亞細亞と阿弗利加	中平亮著	昭和八	(世界の今日日六)	七P	二七九
清典學要	明治七			七P	八
眞善美日本人	三宅雄二郎著	昭和四	(明治文化全集第一五卷)	一五M	一五
市政調査資料	財團法人東京市政調査會編				
第一號	都市財政に於ける特別賦課問題	ビード著	大正一二	一五E	一〇四
第二號	米國都市改良事業財源としての特別賦課(受益者負擔)	全米國市政協會編			
第三號	小額信用制度の研究	大正一三	再版	一五E	一〇三
第四號	現代都市計畫	アダムス著	大正一三	六P	七
第五號	米國クリイザランド市土地評價法	大正一三	再版	一五E	一〇三
第六號	博 ビード 土東京復興に關する意見	大正一四		六P	六
第七號	イギリスの都市計畫法	大正一三		六P	五
第八號	特別號 市都の制度に關する調査資料	大正一二		五P	二五
第九號	地域 弓家七郎編	大正一四		六P	四
第十號	米國の都市教育組織	川本宇之助著	大正一四	二K	二七
第十一號	地帶收用 弓家七郎著	大正一五		六P	六
第十二號	イギリスの田園都市	弓家七郎著	大正一五	六P	六

第一號	都市の結核問題	宮島幹之助著	大正一五	四Q	一〇六
第二號	英國の住宅政策	河合榮治郎著	昭和二	六P	七
第三號	米國に於ける市政調査	昭和二		六P	七
第四號	英國自治制度の特質	小川市太郎著	昭和二	六P	六
第五號	東京都制に關する諸案	小倉庫次著	昭和二	六P	一三
第六號	英國自治制度の歴史的考察	小川市太郎著	昭和三	八P	四
第七號	市政關係圖書目錄	神戸市立圖書館編	昭和八	三M	四
第八號	市政管見一名市長讀本	三浦綱五郎著	大正一一	七P	一〇一
第九號	市政管理ABC	揚哲明著	民國一八	三版(ABC叢書)	三〇五
第十號	市政學要	白敦庸著	民國二〇	(市政叢書一)	三〇五
第十一號	市政の一斑	東京市役所編	昭和八	七P	一三
第十二號	歐洲市政論	シヨウ著、内務省地方局譯述	明治三二	H	七
第十三號	市政叢書	大東書局刊	民國二〇		
第十四號	日本之農村都市	吳孝侯編譯		三〇六	七
第十五號	市政學要	白敦庸		三〇五	二二
第十六號	交通警察概論	高橋雄豹著、張仲英、劉大勳共譯		三〇六	四
第十七號	京滬四大都市之市政	董修甲著		三〇五	七
第十八號	一市政與民政	董修甲著		三〇五	九
第十九號	一都市分區論	董修甲著		三〇五	九
第二十號	市政與民政	董修甲著	民國二〇	(市政叢書)	三〇五

志士處世論 尾崎行雄著 大正一五 (尾崎行雄全集第二卷)

思想問題 藤井健治郎、深作安文共著 大正一〇 (現代社會問題研究第二三卷)

思想小史 岡村司著 明治四一

思想善導の唯一手段は何か? 浮田和民著 昭和

執政所抄 (續群書類從第一〇輯)

市有地貸渡規程改正案 東京市編

静岡縣富士郡會沿革誌 静岡縣富士郡役所編 大正一二

庄園制度之概要 吉田東伍著 大正五 (歴史講座)

同

松府錄奉記 寫本

小學校教員被選舉權要望運動狀況 衆議院議員選舉法調査會刊 (參考資料第二號)

蔣介石言論集 朱亮基編 民國一六

蔣介石先生演說集 中央軍官學校編 民國一八

職官表 記錄課編 明治六

職員令

商君書 嚴萬里校 光緒二

將來の都市と建築 片岡安述 大正一三 (復興建築叢書第一〇號)

政治、外交 (政治及雜書)

二M	二〇	一
一七M	四九	一
四P	三	一
五P	二五	一
七P	一六	一
三M	一〇	一
二P	五	一
八P	四	一
四P	七	一
一〇〇〇	七	一
一〇〇	五	一
九P	三	一
七P	七	一
三五	二	一
一五	三	一
二二	八	一
六	四	一
五P	二五	一

變理談 海保青陸著 大正五 (日本經濟叢書卷二六)

同

同

同

奉松塘君封事 明治三九 (佐藤信淵家學大要)

昭和維新の大國是 附錄平和的世 鈴木梅四郎著 昭和

昭和一新論 德富猪一郎著 昭和二

昭和革政の豫言 小林宜園著 昭和二 (宜園叢書第二編)

昭和四年三月東京市會議員總選舉投票棄權者ニ關スル調査 東京市調査課編 昭和六

庄屋手鏡 梅木忠章編 昭和七 (近世地方經濟史料第七卷)

自第一回議會衆議院議案件名錄 衆議院事務局編 至第六十回議會衆議院議案件名錄 衆議院議員選舉法調査會刊

衆議院議員選舉法調査會刊行書 衆議院議員選舉法調査會刊

選舉權ニ關スル調査資料

英國地方行政法 (千八百八十八年)

伊太利選舉法

英國新選舉法ニ依ル選舉資格

佛國ノ比例代表法採用ノ場合ニ於ケル議會委員會ノ報告

選舉訴訟及當選訴訟ニ關スル大審院判決要旨

九E	二六	一
一六E	二六	一
一〇〇〇	一六	一
一E	一四	一
七P	九	一
六P	七	一
六P	三	一
八P	三	一
三五E	三	一
八P	二	一
九P	二	一
六J	三	一
六J	三	一
六J	三	一
九P	三	一
六J	三	一



政治、外交 (政治及雜書)

衆議院議員選舉法	六 J	八
舊奧大利帝國下院議員選舉法	六 J	七
英國改正選舉法	六 J	七
普國東部六州州制	六 J	七
佛國選舉法	六 J	七
選舉運動方法ノ取締ニ關スル調査資料	九 P	七
舊普國下院議員選舉法	六 J	六
普國東部六州市制、普國東部七州町村制	六 J	七
普國選舉法	六 J	七
被選舉權ニ關スル調査資料	九 P	七
土耳其選舉法	六 J	六
舊獨逸帝國議員選舉法	六 J	六
ロシアニア共和國憲法	六 J	六
佛國市町村制	六 J	六
英國貧民救濟法	六 J	六
國民投票ノ制度ニ就テ	九 P	六
ラトヴィア共和國憲法	六 J	六
比例代表法ノ成績及各方面ノ意見並運動ノ狀況	九 P	六
獨逸選舉法	六 J	六
各國選舉事情	九 P	六
各國選舉法罰則	六 J	六
獨逸共和國憲法制定國民會議議員選舉法	六 J	六
英國投票法	六 J	六
白耳義選舉法	六 J	六

瑞西選舉法	六 J	八
オルターネーティヴ・ヴォート及其ノ效果	九 P	八
英國地方行政法(千八百九十四年)	六 J	八
改正衆議院議員選舉法義解(附關係 中村藤兵衛著 規 大正九)	九 J	八
衆議院議員選舉法ニ關スル調査資料 衆議院議員選舉法調査會刊(參考資料第一號)	九 P	九
衆議院議員總選舉一覽 衆議院事務局編	二 P	九
衆議院議員總選舉一覽 衆議院事務局編 明	二 P	九
第二十議會衆議院議員黨籍錄 治三七	二 P	九
第一回議會乃至 衆議院事務局編 昭和三	二 P	九
第五回議會乃至 衆議院事務局編 昭和七	二 P	九
第六十三回議會 衆議院事務局編 昭和七	九 P	八
第一回乃至第十回議會 衆議院事務局編 昭和七	九 P	八
第十五回總選舉衆議院議員當選回數調 衆議院事務局編 大正一五	四 P	八
第十七回總選舉 衆議院事務局編 昭和六	七 P	八
衆議院議事摘要 衆議院事務局編 明治三六、七、大正九	一三 N	八
衆議院報告 衆議院事務局編 大正八	一三 N	八
衆議院委員會々議錄 第四、一三、一四回 衆議院事務局編 大正九	八 P	八
衆議院委員會先例彙纂 衆議院事務局編 大正九	五 P	八
同 大正一三 改訂	五 P	八
衆議院事務局諸課報告 衆議院事務局編 明治二四	八 P	八
衆議院記事摘要 第一、一八、衆議院事務局編	一四 H	八

集議院日誌 昭和三(明治文化全集第四卷)

衆議院先例彙纂 追加 衆議院事務局編 明治二四	二七 H	一〇三
自第一回衆議院先例彙纂 衆議院事務局編 明治二	八 H	一〇三
自第一回 同 明治三二	八 H	一〇二
至第十三回 同 明治三二	八 H	一〇二
衆議員先例彙纂 大正九 改訂	八 P	一〇
同 大正一三 改訂	五 P	一〇
衆議院先例彙纂草案 明治三七	六 P	一〇
增衆議院要覽 衆議院事務局編 明治三一	三三 N	六
衆議院要覽 衆議院事務局編 昭和三一	一〇八	六
秋帆上書 高島秋帆著 寫本	一〇八	六
主權論 ホッパス著、文部省編輯局譯 昭和四(明治文化全集第七卷)	一五 M	七
民權家主權論纂 長束宗太郎著 昭和二(明治文化全集第五卷)	一五 M	七
脩德芻言 昭和五(日本經濟大典第四八卷)	一九 E	八
同	一九 E	八
ソヴェート及執行委員會 全露中央執行委員會幹部會編、鈴木尙三譯 大正一四(露文翻譯勞農露國調査資料第三一、三二號)	六 P	二
ソヴェート・ロシアの業績 日露協會編 昭和二(日露協會報告第二九號)	一三 N	二

政治、外交 (政治及雜書)

ソヴェート・ロシアの實相を語る 大竹博吉著 昭和八(世界の今明日一)	二 P	六
ソヴェート聯邦國民經濟大觀 外務省歐米局編 昭和二	一七 E	一
ソヴェート露國の極東進出 齊藤良衛著 昭和六	七 P	一
ソヴェート政權(レーニン著、西雅雄譯 大正一五)	四 P	一
綜合世界現勢圖鑑(中平亮著 昭和八(世界の今明日一)	七 P	一
足民論 木村謙著 昭和七(近世地方經濟史料第一卷)	一五 E	一
孫文學說概要 周斐成著 民國一八(考試準備黨義概要叢書)	一五 E	一
孫文主義研究集 民國一六	一五 E	一
同 民國一七 再版	一五 E	一
孫文主義大綱 甘乃光著 民國一五	七 P	一
存治編 顏元著(畿輔叢書初篇第三八〇册)	四 P	一
尊王論 福澤諭吉著 明治四四	七 P	一
同 再版	四 P	一
同 明治三一(福澤全集卷五)	一 M	一
同 大正一五(福澤全集第六卷)	一 M	一



政治、外交 (政治及雜書)

尊王論 福澤諭吉著 大正一五(福澤全集第六卷)	二〇M	三/六	一
同	五〇	三/六	一
孫總理講演集 孫逸仙述 民國一五	七P	一四	一
蘇聯邦東方政策の真相 陸軍省調査班編 昭和八	七P	三三	一
宋李斯江文抄 李靚著 慶應二	三	元	三
爭鹿記 花井卓藏著 大正四	八P	二八	一
滄浪夜話 大正六(日本經濟叢書卷三二)	九E	一/三	一
同	二六E	一/三	一
同	二五E	一/三	一
同	一〇〇三	一八/三	一
同 昭和五(日本經濟大典第四卷)	一九E	一/四五	一
同	三E	九/四五	一
同 ホウエイト氏ソールスベリト第三内閣 有賀長雄解説	一P	八	一
僧侶被選舉權獲得運動狀況 衆議院議員選舉法調査會刊(參考資料第三號)	九P	三	一
總選舉讀本 普通總選舉 藤澤利喜太郎著 昭和三	八P	四	一
桑梓五防 陸世儀著 光緒二一(陸桴亭先生遺書第二〇册)	四	三/〇	一

政治、外交 (政治及雜書)

同	一六E	一/三	一
同	二五E	一/三	一
同	一〇〇三	一八/三	一
同 昭和三(日本經濟大典第九卷)	一九E	一/九	一
同	二E	九/九	一
同 明治二四(少年必讀日本文庫第二編)	H	三〇/二	一
太平洋問題調査の栞 太平洋問題調査會編(太平洋問題パンフレット第七輯)	七P	一四	一
太平洋問題觀瀾 土屋元作著 大正一三	四P	一〇	一
太平洋を中にして 徳富健次郎編 大正三	四P	一三	一
同 昭和四(蘆花全集第一卷)	三B	一/二	一
太平洋及び濠洲 滿川龜太郎著 昭和八(世界の今明日二)	七P	二四	一
大邦建設の理想 滿川龜太郎著 大正一四(社會教育研究所リフレット第五)	四P	一七	一
黨國 戴季陶最近言論集 戴季陶述 民國一八	三〇五	一〇二	三
大局管窺 矢野恒太著 大正九	七P	二四	一
同	一〇〇三	一三	一
退去日録 尾崎行雄著 大正一五(尾崎行雄全集第三卷)	二M	二/三	一
同	一七M	四九/二	一

T

相定敵國 伊藤正徳著 大正一五	四P	三三	一
ソウェイト聯邦事情 南滿洲鐵道株式會社調査課編 昭和五	六N	七	一
應水道新書 龜井重磨著 明治二七	七P	七	一
水府公獻策 寫本	一〇七	三	三
水府老公御密書 寫本	五	六	一
水平運動發達史 吉井浩存著(社會問題講座)	六P	〇	一
地上の瑞西 安部磯雄著 昭和五(現代日本文學全集第三九卷)	三B	三	一
水雲問答 板倉勝明、林衡共著 昭和五(日本經濟大典第四八卷)	一九E	一/四	一
同	二E	九/四	一
樞密院問題 朝日新聞政治經濟部編 昭和五	七P	一六	一
ストックホルム平和會議演說草案 トルストイ著、深見尚行譯 昭和六(トルストイ全集第二〇卷)	八M	一/〇	一
泰庵戲言 交泰庵朝陽著 寫本	一三	七	一
大元官制雜記(永樂大)(廣倉學寮叢書甲類第二集(典本)第一册)	四	二/二	一
太平洋經國之書 鄭伯謙著(運志堂經解第三九一、三九二册)	三	三九/三	一
太平洋策 水足博泉撰 明治四二(肥後文獻叢書第二卷)	五M	一/二	一
太平洋策 大正三(日本經濟叢書卷三)	九E	一/三	一
同	一五E	一/三	一

支那國 民の聲對日要求 秀天才著、樋口麗陽譯 大正六	八P	元	一
大連の發展と上水道水源問題に就て 大連商工會議所編 昭和六	八P	一七	一
對世界日本自立宣言 松田福松著 昭和七(しきしまのみち叢書別冊第四)	七P	二〇	一
大戰後の世界 村川堅固等編 昭和八(世界文化史大系第二三卷)	四三H	一/三	一
大戰後の世界の動き 文明協會編 昭和三	四P	二五	一
大戰後の世界と日本 徳富猪一郎著 大正九	四P	〇	一
對支一家言 稻葉君山著 大正一〇	四P	二〇	一
對支橫議 大谷光瑞著 大正一三	四P	一〇	一
退思錄 櫻田地著 昭和四(日本經濟大典第二八卷)	一九E	一/六	一
同	三E	九/六	一
對支政策の根本方針 山田謙吉著 昭和三	八P	一五	一
大正憲政史 編 工藤武重著 昭和二	六P	六	一
大正乃政變と我が行動 木下成大郎著 大正三	五P	三〇	一
大正政界之裏面 城北隱士著 大正五 三版	三P	六	一
大正政局史論 徳富猪一郎著 大正五 再版	三P	九	一
大正政戰史 半澤玉城著 大正三	三P	〇	一
同 再版	三P	一四	一



政治、外交 (政治及雜書)

臺灣阿片問題	楊肇嘉編	昭和五	七P	二六	一
臺灣地方自治制改革案	臺灣地方自治聯盟刊	昭和六	七P	一七	一
臺灣議會の設置運動	蔡培久編	昭和五	七P	二九	一
臺灣議會設置請願理由書	大正一一	五P	九	一	一
同	大正一一	五P	一七	一	一
臺灣革命史	漢人編	民國一五	三〇四	三	一
臺灣の一年	川村竹治著	昭和五	八P	金	一
臺灣總督府民政事務成績提要	臺灣總督府民政局編	明治三〇	五P	一四	一
臺灣總督府理蕃誌稿第一	臺灣總督府編	明治四四	五P	元	一
臺灣統治志	竹越與三郎著	明治三八	一P	七	一
同			一P	金	一
同			〇〇	三三	一
臺灣統治綜覽	臺灣總督府官房文書課編	明治四一	一P	六	一
高垣兵右衛門上書	高垣兵右衛門著	昭和四(日本經濟大典第二八卷)	九E	一/六	一
同			三E	九/六	一
竹内式部集	竹内式部著	昭和六(大日本思想全集第一五)	二七M	五/五	一
玉くしげ別本	本居宣長著	大正四(日本經濟叢書卷一六)	九E	一/六	一
田中山梨兩大將に關する軍事費問題之真相	軍事刷新同志會編	大正一五	四P	三九	一

談海	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集第三卷)	二M	二/三	一
同			三M	四/三	一
多端なる支那	大阪商工會議所編	昭和七	八P	一九	一
起てる米國	米山梅吉述	大正七	四P	三	一
起て愛國の士	増山善太郎著	昭和二	四P	二七	一
戰後之他山の石	松本備著	大正二	三P	一五	一
露西亞			四P	三五	一
明治丁丑公論	福澤諭吉著	明治三四	四P	一四	一
同	明治四二	一〇版	四P	一四	一
同	大正五	一一版	四P	三	一
同	昭和三(福澤選集)		四M	八	一
同	大正一五(福澤全集第六卷)		九M	九/六	一
同			二〇M	三/六	一
同			五〇	三/六	一
帝範	太宗撰		三	四	一
同	附題	大正四(成實堂叢書)	三	四	一
同	寫本		六	一五	一
帝範國字解	市川鶴鳴著	天明九	四	五	一
同	明治四三(漢籍國字解全書第二卷)		七B	三/二	一

第一帝國議會便覽 明治二三

帝國議會解散史	笹原正志著	昭和七	八P	一五	一
帝國議會史	工藤武重著	明治三六、三九	一P	九	三
帝國議會史綱	明治		四P	二五	一
帝國議會史綱	工藤武重著	昭和二	四P	二五	一
第一帝國議會要録	植木枝盛編	明治二四	H	二五	一
廿世紀帝國主義	幸徳秋水述	明治三四	一P	五	一
之怪物			一P	五	一
帝國主義發達史論	リীগ編、内田佐久郎譯(改造文庫第一部第六七篇)		一九M	一〇三	一
帝國主義下の臺灣	矢内原忠雄著	昭和四	八P	七	一
帝國主義研究	猪俣津南雄著	昭和三	四P	二七	一
帝國主義民族問題	レニン著、青野季吉譯(大正一五(レニン著作集第二卷))		四P	二三	一
帝國主義の没落	ニアリング著、山田徹譯	昭和六	七P	七〇	一
三版			七P	七〇	一
帝國主義の現段階	ラビンスキー等著、橋研究所譯	昭和四	七P	二〇	一
帝國主義の經濟的考察	江澤一三著	昭和四	七P	四〇	一
帝國主義論	ヴァルガ著、西雅雄譯	昭和八	七P	二七	一
帝國主義論	ホブソン著、石澤新一譯	昭和五(改造文庫第一部第六四篇)	一九M	九三	一
帝國主義論	ホブソン著、時國理一譯	昭和三(社會思想全集第三五卷)	五Q	三/五	一
帝國主義論	猪俣津南雄著(社會問題講座)		六P	八	一

政治、外交 (政治及雜書)

帝國主義論	大西猪之介著	昭和三(大西猪之介經濟學全集第九卷)	一九E	三/九	一	
帝國主義論	レニン著、青野季吉譯	昭和三(レニン著作集第一三編)	七P	二	一	
同	昭和三(世界大思想全集第三〇卷)		八E	元	一	
同	昭和六(社會思想全集第一〇卷)		五Q	五/〇	一	
帝國主義論	レニン著、岡田宗司譯	昭和六(改造文庫第一部第六三篇)	一九M	一〇〇	一	
帝國主義論	佐野學、西雅雄共編	昭和五(スターリン著集第六卷)	六Q	八	一	
帝國主義侵略中國の趨勢和變遷概論	汪精衛著	民國一八	三三	一三	一	
帝國主義侵略中國痛史	唐守常著	民國一七	三三	元	一	
帝國主義的眞面目	李士剛著	民國一七	三五	一〇四	一	
帝國主義與中國	常書林著	民國一六	三五	六三	一	
帝國主義と世界經濟	ブハーリン著、川瀨欽吾、安田鶴雄共譯	昭和五(スターリン著集第六卷)	六Q	八	一	
帝國主義と資本の蓄積	ブハーリン著、小菅省三譯	昭和五(スターリン著集第六卷)	六Q	八	一	
帝政論	ダンテ著、中山昌樹譯	大正一四(ダンテ全集第八卷)	四P	三〇	一	
同	帝政論・書翰集	ダンテ著、中山昌樹譯	四P	六	一	
同	帝室論	福澤諭吉著	明治一五	四P	二七	一
同	明治四四		七P	二〇九	一	
同	再版		四P	一	一	



政治、外交 (政治及雜書)

帝室論 福澤諭吉著 昭和三 (福澤撰集)	四M	八	一
同 明治三一 (福澤全集卷五)	一M	一	一
同 大正一五 (福澤全集第五卷)	九M	九	一
同	一M	一	一
同	二〇M	三	一
同	五二	三	一
帝都復興院事務經過 復興局編 大正一三	二P	六	一
帝都復興事業概觀 復興局編 昭和三	六P	一〇三	一
同	六P	二九	一
帝都復興事業誌 復興事務局編 昭和六、七	九P	六	一
帝都復興事業圖表 東京市編 昭和五	一九X	五	一
帝都復興區劃整理誌 東京市役所編 昭和六	九P	一	一
帝都復興祭志 東京市役所編 昭和七	九P	二	一
帝都の制度に關する調査資料 財團法人東京市政調査會編 大正一二 (市政調査資料特別號)	五P	二五	一
同 大正一二 再版	六P	八	一
帝都と近郊 小田内通敏著 大正七	三P	一四	一
天賦人權辨 植木枝盛著 昭和二 (明治文化全集第五卷)	五M	一	一

天賦人權論 馬場辰猪著 昭和二 (明治文化全集第五卷)	五M	一	一
天業・滿洲國の建設 小山貞知編 昭和七 (滿洲評論パンフレット第四號)	七P	二四	一
天業政治 天業民報社編	三N	七	一
第一卷第一、大日本帝國憲法主義 (田中巳之助) 昭和三	五	一〇	一
天下國家を治御心持之次第 寫本	七P	三〇	一
轉換期支那の全貌 濱田峰太郎著 昭和八	七P	三〇	一
轉換期日本の動向 中野正剛著 昭和七	四P	三六	一
天然公園 本多靜六著 昭和三 (造園叢書第三卷)	七P	八	一
天皇中心政治論 金子力三著 昭和三	二〇	一	一
天保新政錄 寫本	一九E	一	一
同 昭和五 (日本經濟大典第四卷)	二E	一	一
同	八P	一〇四	一
百日天籟のさけび 金城外史著 大正一四	一P	一〇四	一
鐵道行政汎論 杉田百助著 明治四四	H	七〇	一
東亞之大勢 末廣重恭著 明治二六	H	二六	一
栃木縣々治概要 栃木縣編 明治二六	六P	七	一
土地増價税と土地未改良價格税の研究 小幡書記編 大正一三	六P	七	一

黨義ABC 朱翊新著 民國二一 三版 (ABC叢書)	三〇五	一六	一
黨義概要 朱翊新著 民國一九 (考試準備黨義概要叢書)	三〇五	一四	一
東宮勸讀錄 楊誠齋著 慶應四	H	五三	一
盜匪問題之研究 何西亞編 民國一四	三〇五	三	一
黨報 (憲政) 第一一五號 (明治三一年一月一日)	三N	六	一
黨報 (本黨) 一三二號 (四月五日)	三N	六	一
黨報 (憲政) 第一一五號 (明治三一年八月五日) 同	三N	四	一
東北四省行政組織一覽附東支鐵道組織一覽、東北四省縣長名、東北省黨務指導委員名、其他東三省各地要人名、平津地方要人名、南滿洲鐵道株式會社交涉部資料課編 昭和五	七P	一五	一
東北四省政局の現狀 園田一龜著 昭和四	七P	一〇	一
東北與日本 周憲文著 民國二一 (東北研究叢書)	三〇五	二四	一
東北與列強 陳叔兌著 民國二一 (東北研究叢書)	三〇五	三三	一
島治概要 鹿兒島縣大島々廳編 明治四五	三P	一〇	一
黨治問題 霽樓編 民國一七 (政治叢書一)	七P	六	一
途上偶感 矢野恒太著 大正一四	四P	二四	一
黨化教育實施法 顧詩靈編 民國一七 四版	三〇五	一五	一
黨化小叢書 大東書局刊	三〇五	一	一
六 中國國民黨的組織法 民國一七	三〇五	一	一

政治、外交 (政治及雜書)

東湖封事 明治四二 (東湖全集)	五M	四	一
黨國大事討論集 平社編 民國一九	八P	六	一
黨國的前途 余精一著 民國一七	三〇五	三	一
黨國要人最近的幾封信 大東書局編 民國一八	三〇五	九	一
特別都市計畫委員會會議事速記 復興局編 大正	六P	二	一
特別都市計畫委員會常務委員會會議事速記 復興局編 大正一四	六P	三	一
德國議院章程 徐建寅譯 光緒二一 (元和江氏靈鷲閣叢書第二集第一)	四	一	一
讀薩長論 田口卯吉著 昭和三 (鼎軒田口卯吉全集第五卷)	一七M	一	一
德島縣治概要 德島縣編 大正一一	六P	一六	一
同 昭和三	六P	一五	一
東京地方職員各議員人名錄 淺井辰三編 明治一六	二七	一五	一
東京府治概要 東京府編 大正八	四P	四七	一
東京府治一斑 東京府編 大正四	三P	二四	一
ピア東京復興に關する意見 大正一三 (市政調査資料第五號)	六P	六	一
東京府民政史料 高橋源一郎編 大正九	五P	七	一
同	一〇三	一	一
東京府民政史料講演會講演速記 東京府編 大正	五P	三	一
東京府史 附會 東京府編	八P	六	一



政治、外交 (政治及雜書)

Table listing various political and administrative reports from Tokyo, including '東京市町内會に關する調査', '東京市電氣局編', and '東京市普通經濟財政計畫ニ基ク新規事業概概附圖'.

Table listing various political and administrative reports from Tokyo, including '東京市町内會に關する調査', '東京市電氣局編', and '東京市普通經濟財政計畫ニ基ク新規事業概概附圖'.

政治、外交 (政治及雜書)

Table listing various political and administrative reports from Tokyo, including '東京市政要覽', '東京市震災後ノ復舊概要', and '東京土地區劃整理進捗狀況一覽圖'.

Table listing various political and administrative reports from Tokyo, including '都市計畫及住宅政策', '都市計畫及工場取締改正ニ關スル參考資料', and '都市計畫小話'.



政治、外交 (政治及雜書)

闘争の跡	大山郁夫著	昭和三	七P	〇
鳥谷部春汀篇	鳥谷部春汀著	昭和六 (現代日本文學全集第五卷)	二六B	〇
「東洋學藝雜誌」抄	明治文化全集編輯部編	昭和四 (明治文化全集第一五卷)	一五M	〇
東洋問題十八講	滿川龜太郎著	昭和六	八P	〇
東洋政治經濟思想淵源	來原慶助著	昭和三	四P	〇
東洋政治哲學	五來欣造著	昭和九 (現代政治學全集第二卷)	一〇P	〇
東洋とソウェート聯邦	ガルコーウイチ著、岸谷一郎譯	昭和七	一〇P	〇
通議	頼山陽著		空	〇
校正	弘化四		〇	〇
頼復	明治九		一五	〇
校訂	明治九		一五	〇
同	明治一五		五	〇
同			五	〇
同	閣古論 寫本		五	〇
同	次の極東戦争 帝國陸軍は	西野雄治著	昭和五	三
同	鶴見九皇遺策	鶴見九皇著	昭和三 (日本經濟大典第五卷)	一九E
同	大正一四 (續日本經濟叢書第二卷)		二E	〇

U

通俗愛國論	附西洋情 宮崎北鳴著	明治三五	七P	〇
宇宙立憲義開道	本名一乘立 憲義啓道	永井義憲著	昭和三	七P
宇内混同秘策	佐藤信淵著	大正六 (日本國粹全書第一九輯)	一八M	〇
同	明治三九 (佐藤信淵家學大要)		一E	〇
同	ウツド總督の教書	室田有譯	大正一一 (南洋叢書第二三卷)	六P
同	迂言 廣瀬淡窓著	大正六 (日本經濟叢書卷三二)	九E	〇
同	同		一E	〇
同	同		二五E	〇
同	同		一〇〇三	〇
同	昭和五 (日本經濟大典第四五卷)		一九E	〇
同	同		二E	〇
同	大正一五 (淡窓全集中卷)		九M	〇
同	動かぬ國フランス	町田梓樓著	昭和八 (世界の今明日一〇)	七P
同	動く滿蒙	松岡洋右著	昭和六	八P
同	同		八P	〇
同	雨芳洲剖子	雨森芳洲著	昭和四 (日本經濟大典第二二卷)	一九E

政治、外交 (政治及雜書)

W

同	雲南問題	華企雲著	民國二〇 (邊疆問題叢書)	二E
同	ウルグワイ國視察報告書	外務省通商局編	昭和六	八P
同	我が抱負	大木遠吉著	明治四五	一P
同	我が國に於ける都市協議機關	東京市役所編	昭和四	八P
同	和平運動	陳伯華等共編	民國一五 (公民教育叢刊第一五種)	三〇五
同	和漢明辨	佐久間大華著	昭和四 (日本儒林叢書第四冊)	一五M
同	我等は如何にこの凶逆思想を處置すべきか	井甲之著	昭和四 (しきしまのみち叢書第一編)	七P
同	我等は皇室と國家を如何に見るか	野依秀一著	昭和二	七P
同	早稻田政治經濟學雜誌	早稻田大學政治經濟學會刊	昭和三	三N
同	ウイルソン	福田吉藏著	大正八 (新時代叢書)	四H
同	ウイルソン奮闘史	片倉藤次郎著	大正一〇	四P
同	破レ家ノツ、クリ話	新宮涼庭著		二二
同	同		二四	〇
同	同		九E	〇
同	同		一五E	〇

Y

同	同		一五E	〇
同	同		九E	〇
同	同		二四	〇
同	同		二二	〇
同	同		四P	〇
同	同		二四H	〇
同	同		四P	〇
同	同		二二	〇
同	同		九E	〇
同	同		一五E	〇

通俗國權論	二編 福澤諭吉著	明治一一、一二	三P	〇
同	明治三一 (福澤全集卷四)		一M	〇
同	同		一M	〇
同	大正一五 (福澤全集第五卷)		九M	〇
同	同		三〇M	〇
同	同		三〇M	〇
同	通俗民權論	福澤諭吉著	明治一一	三P
同	同		四P	〇
同	同		三P	〇
同	同		七P	〇
同	同		一M	〇
同	同		一M	〇
同	明治三一 (福澤全集卷四)		一M	〇
同	同		九M	〇
同	同		二〇M	〇
同	同		二〇M	〇
同	通俗無上政法論	板垣退助述	昭和四 (明治文化全集第七卷)	一五M
同	通俗政治經濟問答	武藤山治著	大正一三 再版	四P



政治、外交 (政治及雜書)

破レ家ノツ、クリ話	新宮涼庭著	大正五 (日本經濟叢書卷二)	六E	-	-
同	同	同	五E	-	-
同	同	同	一〇〇三	-	-
同	同	同	一九E	-	-
同	同	同	三E	九	三
同	同	同	二〇五	七	七
約法會議記錄	約法會議秘書廳編	民國四	八P	七	七
山本、松岡正副總裁の滿蒙に關する所見	滿鐵社員會編	昭和四	八P	七	七
大和民族の醒覺	徳富猪一郎著	大正一三	四P	一	一
瘠我慢の説	福澤諭吉著	明治三四	四P	三	三
同	同	同	四P	四	四
同	同	同	四P	三	三
同	同	同	四M	八	八
同	同	同	九M	六	六
同	同	同	二〇M	六	六
同	同	同	五〇	六	六
同	同	同	五P	三	三
同	同	同	五P	三	三
ヨッフエ君に訓ふる公開狀	北一輝著	大正一二	五P	三	三
横濱の復興と建築	高松政雄述	大正一三 (復興建築叢書第一〇號)	五P	三	三

Z

優良町村の新研究	石田傳吉著	大正五	五P	三	三
有色人搾取政策論	松田福松著	大正一五	四P	二	二
明治廿七八年 在韓苦心錄	杉村濬著	昭和七	八P	四	四
在滿朝鮮人問題に關して	權泰山著	昭和八	一〇P	五	五
財政經濟二十五年誌	高橋龜吉編	昭和七	三六E	二	二
雜纂	幸徳秋水著	昭和五 (現代日本文學全集第三卷)	三六B	三	三
善後會議史	費保彦編	民國一四	三五	三	三
中華民國十九年十一月一日より全國工商會議	昭和同八日迄南京に於て開かれたる (上海滿鐵調査資料第一〇篇)	昭和五	八P	一	一
舌彈	早川鐵治著	大正七	七P	一	一
續國家道徳論	明治四二 (泊翁叢書第一輯)	一M	一	一	一
俗夢驚談	中島勝義編	昭和二 (明治文化全集第五卷)	一五M	一	一
「隨感錄」に現はれたる濱口前首相の精神分析	箕田胸喜著	昭和六	七P	一	一

政治、外交 (外交、植民)

亞國「チャコフ」棉作、亞國「サンフランシスコ」州植民地農場設計書、亞國「ミシオネス」州概況	外務省通商局編	昭和三 (移民地事情第一七卷)	五P	二〇	二〇
亞國「フォルモサ」視察報告書	松本圭一、天野良信共編	大正一五 (移民地事情第九卷)	五P	九	九
亞墨利加國條約並稅則	安政六	H	四四	一	一
同	同	同	一〇四	五	五
同	同	同	九	八〇	八〇
亞墨利加再渡來一事	寫本	一〇八	一四	一	一
亞美理駕書翰	寫本	二九	五	一	一
亞爾然丁國北部地方植民地視察報告	外務省通商局編	大正一二 (移民地事情第五卷)	五P	五	五
亞爾然丁國移住ニ關スル各種調査書	外務省通商局編	昭和四 (移民地事情第一九卷)	五P	九	九
亞爾然丁、パラグアイ及ウルグアイ諸國在留邦人狀況	外務省通商局移民課編	大正一三	八P	九	九
幕末外交談	田邊太一著	明治三一	八P	九	九
同	同	同	一〇〇三	五	五
幕末開國新觀	附新島襄 根岸橋三郎著	昭和二	四P	三	三

(二) 外交、植民

部 號 冊



政治、外交 (外交、植民)

幕末之外交 高橋宇一著 明治三九	八〇	三〇	一
萬國渡海年代記	一〇三	元	一
巴爾幹外交史論 信夫淳平著 大正一〇	五P	充	一
巴爾幹の變遷 長瀬鳳輔、内藤智秀共著 大正三	一〇H	五	一
安政條約批准 交換當時の米國繪入新聞(フランク紙)挿繪拔萃	七X	A〇〇	一
下關米國上下兩院議事録 鈴木徳輔編 昭和三(明治文化全集第六卷)	一五M	一	一
米國加州排日問題調査報告 原田助報 大正一〇	五P	七	一
米國の對東外交 フォスター著、大庭寛一譯 明治四五(大日本文明協會第一期刊行書第四七卷)	一P	一〇元	一
同 大正元 再版	六P	一五	一
米國ヲ中心トシテ觀タル移民問題 外務省情報部編 大正一三	五P	一七	一
米國西北部在留日本人發展略史 米國西北部聯絡日本人會編 一九二一	二P	元	一
米國政治外交概観 藤井新一著 昭和三(文明協會ライブラリ昭和三年度刊行書)	四P	二七	一
ヴェルサイユ會議 中川竹三著 大正九(新時代叢書第五卷)	四P	三	一
ボアソナー卜外交意見 昭和三(明治文化全集第六卷)	一五M	一	一
防長十五年史 馬屋原二郎撰 大正四	二H	六	一
同	八〇	三三	一

防海問答 鹽谷世弘著 寫本	一〇	一〇	一
墨國「ソノラ」チウアウア及低加三州視察報告 外務省編 昭和五(移民地事情第二四卷)	五P	〇/四	一
墨國「ソノラ」シナロア及「ナヤソット」三州ニ於ケル在留邦人情況調査報告 外務省通商局編 大正一五(移民地事情第一〇卷)	五P	〇/〇	一
戊子入明記 清啓著(續史籍集覽第七冊)	二〇	一	一
文祿慶長の役 正編 池内宏著 大正三	二H	一	一
ブラジル移住案内 外務省通商局編 昭和七	七P	三	一
ブラジル移住者通信集 拓務省拓務局編 昭和六	七P	一	一
ブラジル移民案内 拓務省拓務局編 昭和七	八P	一	一
伯刺西爾國サンパウロ市附近本邦人馬鈴薯栽培狀況 外務省通商局移民課編	四E	八	一
ブラック・チェンバ ヤードリ著、大阪毎日新聞社譯 昭和六	七P	一	一
佳木斯移民の實況 市川益平述 昭和八(東亞小冊第一四)	一〇P	三	一
チエッコ・スロヴァキア共和國憲法附主タル同盟キア國トノ條約 美濃部達吉譯 大正九	二J	四	一
西藏問題 石川順著	二P	四	一
千島艦事件 福良虎雄編 昭和三(明治文化全集第六卷)	一五M	一	一
朝聘應接紀及抄譯 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一

朝鮮併合之裏面 小松綠著 大正九	八P	四	一
朝鮮聘禮事 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮聘使後議 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
改朝鮮移住手引草 東洋拓殖株式會社編 大正四 五版三P	一M	一	一
朝鮮移民案内 東洋拓殖株式會社編 大正六	四P	六	一
朝鮮冠服の事 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮京城事變始末書 昭和三(明治文化全集第六卷)	一五M	一	一
朝鮮國信書之式の事 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮往復書 第一〇一 寫本(宗家記錄)	九	一	一
朝鮮最近史 附韓國 戸叶薰雄、楡崎觀一共著 大併合誌 正一一	九H	六	一
朝鮮信使議 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮信使辭見儀注 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮信使記錄(証) 寫本	二元	一	一
朝鮮信使賜饗儀注 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
朝鮮信使進見儀注 明治三九(新井白石全集第四)	一M	一	一
籌辦夷務始末 文慶等編 民國一九	一〇五	一	一
中越東西定議全界約文 孫傳鳳編 光緒二三(漸學盧叢書第一〇)	一〇五	一	一

同 光緒二五	一〇	一	一
中外條約彙覽 ヒーレン、張立志共編 民國一九	三〇五	一	一
中外經緯傳 伴信友著 明治四〇(伴信友全集第三)	二M	一	一
同 明治三四(改定史籍集覽第一冊)	三H	一	一
同 昭和二(新註皇學叢書第六卷)	二M	一	一
中俄關係述略 陳登元著 民國一五(新智識叢書)	三〇五	一	一
一九二九年中俄交涉論 孫幾伊編 民國二〇	三〇五	一	一
中國近時外交史 劉彥著 宣統三	八P	一	一
同 民國三 再版	三P	一	一
中華民國約法及關係法規(新約) 外務省政務局刊(法) 大正五	二P	一	一
中南米諸國移民法規 外務省臨時調査部編 大正一〇	五P	一	一
一 「パラグアイ」共和國移民法	一	一	一
二 「ウルグアイ」共和國移民法	一	一	一
三 「ヴェネズエラ」合衆國移民法	一	一	一
四 亞爾然丁共和國移民法令	一	一	一
五 巴奈馬共和國移民法令	一	一	一
六 祕露共和國移民法令	一	一	一
七 智利共和國移民法令	一	一	一
八 伯刺西爾國「ミナス・セライス」州移民法令	一	一	一
九 玫瑰共和國移民法令	一	一	一



政治、外交 (外交、植民)

一〇 「ウルグアイ」共和國植民法令				
一一 「パラグアイ」共和國植民法並住宅法				
一二 伯刺西爾國「サンパウロ」州植民法				
中日外交史 陳博文撰 民國一七(新時代史地叢書)	七P	五	一	
中山傳信錄 徐葆光編 康熙六〇	一〇五	一	六	
ダバオとマニラ麻 太田興業株式會社編 昭和七	六E	元	一	
第五十九回帝國議會ニ於ケル幣原外務大臣ノ演說(昭和六年一月二十二日) 昭和六	二P	六	一	
第五十七議會ニ於ケル幣原外務大臣ノ演說(昭和五年第一遣米使節日記) 芝間壽吉編 大正七	二P	七	一	
朝鮮最近 大院君傳 附王妃 菊地謙讓著 明治四三	五P	七	一	
外交史 大東合邦論 森本藤吉著 明治二六	六P	四	一	
同	七H	四	一	
同	八〇〇	一	一	
同	一〇一	五	一	
第六十二回帝國議會ニ於ケル齋藤外務大臣演說 齋藤實述 昭和七	九P	二	一	
第六十三回帝國議會ニ於ケル内田外務大臣演說 内田康哉述 昭和七	九P	四	一	
第六十四回帝國議會ニ於ケル内田外務大臣演說 内田康哉述 昭和七	九P	〇	一	
大東合邦論 森本藤吉著 明治二六	H	三	一	

獨逸賠償問題の經過 有吉貞次、江口大輔共著 大正一二(調査報告第四一號)	五P	三	一	
獨逸外交政策 附ウイヘルム第ビュロー著、周崎二世治下の獨逸 万里譯 大正三	三P	四	一	
同	三P	一	一	
獨逸保護領膠州ニ於ケル土地ニ關スル法令 南滿洲鐵道株式會社總務部交渉局編(交渉資料第六編)	三P	六	一	
獨逸の對列國殖民地政策 附戰時の殖地問題 大正八	五P	八	一	
獨逸植民地の母國に對する經濟關係 臺灣總督府殖産局編	一P	一	一	
獨逸帝國と佛蘭西共和國 高桑駒吉著 大正三	三P	八	一	
獨逸戰爭と外交 高桑駒吉著 大正三	三P	一〇	一	
獨逸支協定と獨逸の對支賠償金問題 和田喜八著 大正一三	二P	五	一	
同盟及聯合國ト勃爾牙利國トノ平和條約並議定書 外務省編 大正一〇	二P	四	一	
同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約並議定書 外務省編 大正八	二P	四	一	
同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約並議定書 附波蘭國ニ關スル條約附圖共 外務省編 大正八	二P	四	一	
同盟及聯合國ト洪牙利國トノ平和條約並議定書 及宣言書 外務省編 大正一〇	二P	四	一	
同盟及聯合國ト填地利國トノ平和條約ノ諸條約、諸協定及 外務省編 大正九	二P	四	一	
ドーブ案を中心として 野村合名會社調查部編 大正一三	五P	一〇	一	

E エドワード・グレイの外交

英米佛露ノ各國及支那國間ノ條約 外務省條約局編 大正一三	五P	二〇	一	
英獨佛と植民地 高桑駒吉著 大正四(時局叢書第五卷)	三P	三	一	
英國經綸上の大問題 パーカー著、杉山其日庵譯 大正八 再版	五P	一四	一	
英國の機密室 アストン著、隅井幸次譯 昭和六	七P	二〇	一	
英國植民發展史 エチアトン著、永井柳太郎譯 明治四二(早稻田叢書)	一P	五	一	
英國植民史 カルデコット著、水崎基一譯 明治四二(大日本文明協會第一期刊行書第一三卷)	一P	三	一	
同	六P	二五	一	
同	二P	三	一	
スルカ 英國植民誌 臺灣總督府譯 明治三一	三P	二	一	
英國植民史補遺 カルデコット著、大日本文明協會譯 明治四三(大日本文明協會刊行書)	三P	二	一	
英國植民省に就て 矢内原忠雄報 大正一〇	五P	七	一	
英國拓殖地印度及雜領地制度 安遜著、遠藤剛太郎譯 明治二九	五P	二九	一	
英國續議通商行船條約	英	八	一	
英領北ボルネオ 外務省通商局編 昭和三(移民地事情第一八卷)	五P	八	一	
英領印度現行統治組織 ホーン著、臺灣總督官房調査課編 大正一三(南支那及南洋調査第九一輯)	五P	二〇	一	
不平等條約概論 柳克述著 民國一五	三〇五	一	一	
不平等條約十講 周鍾生述 民國一八 再版	三〇五	一	一	

F 政治、外交 (外交、植民)

G

不平等條約討論大綱 孫祖基編 民國一五(公民教育叢刊第五種)	三〇五	三	一	
不恤緯 蒲生君平著	三〇五	三	一	
伊藤特派 復命書 昭和三(明治文化全集第六卷)	二五M	一	一	
全權大使 復命書及同附屬書類 昭和三(明治文化全集第六卷)	二五M	一	一	
伏敵編 山田榮榮編 明治二五	H	三	一	
富強策 大石正巳著 明治二四	H	三	一	
佛蘭西國條約並稅則	一〇四	五	一	
同 寫本	H	四	一	
佛蘭西殖民法綱要 臨時臺灣總督府調查會編 明治四三	一P	九	一	
扶桑錄 南龍翼著 大正三(海行摺載第三)	一〇H	三	一	
扶桑錄 李景稷著 大正三(海行摺載第二)	一〇H	三	一	
外蕃通略 吉田松陰著	三	三	一	
同 明治二七	二P	六	一	
外蕃通書 近藤守重撰 明治三八(近藤正齋全集第一卷)	一M	一	一	
同 (改定史籍集覽第二一册)	二M	一	一	
同 寫本	三H	一	一	



政治、外交 (外交、植民)

外事彙報 第一號—外務省政務局發行	大正三一	七N	六
外人より觀たる日露戰爭 河島紫川編	明治三七	一P	四一
外交部公報 外交部總務司編管科編	民國一七一	三五	五
外交舞臺の佛國 西山重和著	大正九(通俗國際文庫第七卷)	五P	五
外交ABC 常書林著	民國一八 再版(ABC叢書)	三五	二七
外交篇 永井萬助編	昭和五(明治大正史第二卷)	七H	八
明治外交秘話 小松綠著	昭和二 一〇版	四P	二五
外交報彙編 上海商務印書館刊	民國三	三P	四
外交評論 外交評論社編		三五	二〇
外交時報 第一—外交時報社編	明治三一	二N	三
外國條約集 外務省條約局編	大正一五—	一七N	空
外國殖民地制度 片山秀太郎著	大正五	八P	二九
外交及外交史研究 松原一雄著	昭和二	六P	五
外交史 立作太郎述(東京帝國大學大正九年度講義錄)		五P	五
外交志稿 年表 外務省記録局編	明治一七	一P	五
同		八〇	一八
同		八P	一七
外交史要領 稻田周之助著	昭和三 一〇版(政治學叢書第一〇編)	六P	二三

外交讀本 稻原勝治著		八P	一五
外交通義 長岡春一著	明治三四	一P	三
同		H	二六
同		一〇〇	三二
外交通商史談 渡邊修二郎著	明治三〇	八H	三
外交餘錄 石井菊次郎著	昭和五	八P	五
外務省公表集 外務省編	大正八一	三N	空
外政時言 建部遜吾著	明治三六	一P	五
外政新論 信夫淳平著	大正七	五P	一八
我觀移民問題 松岡正男述	大正八	五P	五
千九百二十年合衆國移民法 柴田市太郎著	大正一三	五P	二六
合衆國伯理璽天德書 寫本		九	三七
現代外交講話 米田實著	大正一五	六P	一五
現代植民政策論 伊藤欽二著	昭和七	七P	三五
現今の南阿 ファイフ著、大塚岸一譯	大正三(大日本文明協會第二期刊行書第三八卷)	一P	一六
同		六P	一六
五國條約書並稅則		二〇	九
五色旗たふる 高柳保太郎著	昭和四	二P	三

H

禦戎策 安積良齋著 寫本		一元	六
滿洲事變發生 陸軍省調査班編	昭	七P	三元
後に於ける排日毎日に就て 和六		三P	二五
排日問題梗概 千葉豐治編	大正二	三P	二五
伯國「アマゾナス」 「パラ」其他七州視察報告 田付七太郎 昭和二(移民地事情第一卷)		五P	三〇
伯國アマゾナス州日本植民地地域劃定並植民計畫に關する調査報告書 外務省通商局編	昭和六	八P	二六
伯國移植民史 外務省通商局編	昭和七	八P	二六
伯國「ミナスジェラエス」及「サンパウロ」州北部視察報告 田付七太郎 大正一四(移民地事情第八卷)		五P	三〇
伯國聯邦及州立植民地ノ概要 加藤順之助編	昭和五(移民問題研究資料第二號)	八P	三七
伯國植民地視察報告書 福原八郎述	昭和二	六P	四
伯國渡航案内 サンパウロ總領事館編	昭和三	二六H	空
布哇同胞發展回顧誌 日布時事社編	大正一〇	八X	三
海牙平和會議 杉村陽太郎著	大正一〇	五P	八
同 (軍備縮小問題研究資料の一)		五P	八
丙子日本日記 任統著	大正三(海行摺載第二)	一〇H	三
米國前國務卿ラランシング氏手記 平和會議秘録 附四巨頭ランシング著、大阪朝日新聞社譯	大正一〇	四P	七
比較植民制度 竹越與三郎著	明治三九 再版	一P	七

政治、外交 (外交、植民)

方長老朝鮮物語 林鶴峯著	大正六(三十輯第二)	二M	一〇
保護領財政自治及自活體行政論 ラードラウエル著、臨時臺灣舊慣調査會譯	大正二	三J	四
邦人活躍のブラジル 田中誠之助著	昭和四 再版	七P	四
日魯北海道史稿 岡本柳之助編	明治三一	H	五
同 再版		八P	一五
同		三P	五
同		八〇〇	三三
北海道殖民地撰定報文 北海道廳編	明治二四	二P	七
北海道拓殖事業計劃ノ大要 附圖 北海道廳編	四册共 明治四二	二P	五
北米の日本人 末廣重雄著	大正四	三P	四
北地危言 明治二四(少年必讀日本文庫第七編)		H	〇〇
奉命教諭朝鮮使客 明治三九(新井白石全集第四)		一M	八
葡萄牙植民地事情 井澤編	昭和四	八P	元
奉使俄羅斯行程錄 張鵬翮撰	大正八(滿蒙叢書第二卷)	七M	六
奉天省に於ける防穀令 伊地知重厚編	大正一五	六P	元
日本外交の先覺 堀田閣老傳 佐藤顯理著	明治四一 再版	八〇〇	一四
同 英吉利國條約並稅則		H	四



政治、外交 (外交、植民)

英吉利國條約並稅則 寫本	六〇	一七
南米アライグアへ植民地事情 海外興業株式會社編 昭和三	六P	二七
夷匪入港録 日本史籍協會編 昭和五(日本史籍協會第六期第七)	三H	四
井伊大老と開港 中村勝麻呂著 明治四二	二H	六
同	二H	七
異人恐怖傳 ケンブル著、志築忠雄抄譯、黒澤翁滿校 大正三 (文明源流叢書第二)	二M	六
夷人之書和解 寫本	二九	四
移住論 スミス著、光吉元次郎譯 明治三九	一P	八
同	三P	一
異國船渡來記神州泰平鑑	一三	一
異國條約書 寫本	一〇七	二
異國日記抄 村上直次郎抄註 明治四四	一P	三
同	一〇三	二
移民地事情 外務省通商局編 大正一一	五P	一〇
第一卷 伯國サンパウロ州視察報告(藤田敏郎報)		
第二卷 伯國事情(野田書記官述)		
第二卷 伯國ニ關スル要項集録		
第三卷 亞國ニ關スル要項集録		
亞國在留邦人所見集録		

第四卷 伯國「モジアナ」「ノロエステ」「ソロカバナ」鐵道沿線各耕地視察報告(藤田敏郎等報)		
第五卷 亞爾然丁國北部地方植民地視察報告		
第六卷 暮里比亞國視察報告(武中來報)		
第七卷 巴拉グアイ國出張報告(諸井六郎報)		
第八卷 伯國「ミナスジェラス」及「サンパウロ」州北部視察報告(田付七太郎)		
第九卷 亞國「フォルモサ」視察報告書(松本圭一、天野良信共編)		
第一〇卷 墨國「ソノラ」「シナロア」及「ナヤリット」三州ニ於ケル在留邦人情況調査報告(澁川副領事報)		
第一一卷 伯國「アマゾン」州「バラ」州「マラニョン」「セアラ」「リオ・グランデ・ド・ノール」「ベルナン・アール」「バイア」「リオン」「ラレド」「スール」「サンタ・カタリナ」州視察報告(田付七太郎)		
第一二卷 伯國ニ於ケル棉栽培(江越技師編)		
第一三卷 在伯邦人衛生狀態視察報告(飯村保三報)		
第一四卷 在亞邦人衛生狀態視察報告		
第一五卷 智利國事情視察報告		
第一六卷 農業上ヨリ見タル墨國「ソノラ」「シナロア」及「ナヤリット」三州(澁川正樹報)		
第一七卷 一、亞國「チャコ」州棉作、二、亞國「サンファン」「メンドーサ」州植民地農場設計書、三、亞國「ミンオネス」州概況(横道金一即等報)		

第一八卷 英領「北ボルネオ」		
第一九卷 亞爾然丁國移住ニ關スル各種調査書		
第二〇卷 南米哥倫比亞國「カウカ」原野地方植民地調査報告		
第二一卷 伯國「バイヤ」州踏査報告並伯國「サンフランシスコ」河流域ノ經濟調査(江越、市毛共編)		
第二二卷 移民地事情(墨西哥事情)		
第二三卷 南米「バラグアイ」國視察報告(山崎在亞公使報)		
第二四卷 墨國「ソノラ」「チウアウア」及低加三州視察報告		
第二六卷 南米「ウルグアイ」國事情		
第二七卷 智利國チロエ島視察報告其他		
移民地事情 海外興業株式會社編 昭和五	二四N	六
移民調査報告 第三 外務省通商局編 明治四一	三N	五
移民調査會聽取書 西北部聯絡日本人會譯 一九二〇	二P	七
移民情報 外務省通商局編 昭和四	三N	六
移民運送船之研究 海本徹雄編 昭和四	三〇E	四
インフラチオン以降の獨逸内地植民に就て伊藤光司著(九州帝國大學農學部農政學教室研究資料第八卷)	八P	三
允澎入唐記(續史籍集覽第七册)	二〇	一
乾忠助一件 寫本	二九	五

政治、外交 (外交、植民)

異船風說書等 寫本	二九	五
安政 夷船等風說 寫本	二九	五
嘉永 異船渡米せし儀に付風說書	二九	三
一九二四年米國移民法制定及之ニ關スル日米交渉經過 外務省編 大正二三	二P	六
伊太利移民 外務省編 昭和八	一〇P	〇
以酌菴事議草 明治三九(新井白石全集第四)	一M	〇
英ジャバンス・メッセ「ジ・ツ・ア」アメリカの反響	三P	二八
附對米 國策 正岡猶一編 大正三		
時局叢書 尙文館編		
第一篇 獨佛戰爭と外交 高桑駒吉著 大正三	三P	一〇
第二篇 獨逸帝國と佛蘭西共和國 高桑駒吉著 大正三	三P	八
第三篇 東方問題とバルカン半島 高桑駒吉著 大正四	三P	三
同	五P	四
第四篇 三國同盟と露佛同盟 附三 高桑駒吉著 國協商 大正四	三P	七
第五篇 英佛獨と植民地 高桑駒吉著 大正四	三P	七
第六篇 歐羅巴と東洋 高桑駒吉著 大正四	三P	七
條約原論 工藤武重著 明治二六	一P	六
條約彙報 外務省條約局編 大正一一	一七N	六
條約彙纂 外務省條約局編 大正一四	六P	四



政治、外交 (外交、植民)

第一卷	日本國及各國間諸條約			
第二卷	第一部 一般國際條約集			
第三卷	第一部 對獨平和條約及關係諸條約			
	第二部 對奧及對洪平和條約並關係諸條約			
	第三部 對勃及對土平和條約並關係諸條約			
縮盟條約彙纂	(自嘉永七年至明治十七年)	外務省編	明治一七	二P 五
各國條約彙纂				二P 六
同				二P 一
條約彙纂	附輸入表	外務省編	明治三一	改訂 二P 一
同				二P 二
條約彙纂	外務省編	明治四一、四五	再訂	二P 三
同				二P 四
條約改正論	外務省編	大正九		二P 五
同				二P 六
條約改正調查報告	外務省臨時調查部編			二P 七
第一一號	舊獨領南洋諸島ニ於ケル外國人ノ地位	附獨逸帝國ト獨逸植民地トノ關稅關係	大正九	五P 八
第一四號	支那陸境關稅制度綱領		大正一〇	九E 九
第一五號	印度ニ於ケル特惠關稅制度問題		大正一〇	三E 一〇
第一七號	中南米諸國移植民法規		大正一〇	五P 一〇
第一八號	米國より觀たる石油問題		大正一〇	三E 一一
第二八號	印度財政委員會報告(英帝國特惠關稅問題)			四E 一二
條約改正之標準	吉田清成述		明治二四	一P 一三

K

同	條約改正及內地雜居	國友重章著	明治二五	五P 一〇七
同	條約改正論	馬塚辰猪著	昭和三(明治文化全集第六卷)	H 一〇八
同	條約改正論	小野梓著	昭和三(明治文化全集第六卷)	五M 一〇九
同	條約改正論	尾崎行雄著	大正一五(尾崎行雄全集第二卷)	二M 一一〇
同	條約改正論	島田三郎著	昭和三(明治文化全集第六卷)	五M 一一一
同	條約改正論	田口卯吉著	昭和三(明治文化全集第六卷)	五M 一一二
同	昭和三(鼎軒田口卯吉全集第五卷)			二M 一一三
同	條約改正論	梅田又次郎著	明治二六	一七M 一一四
同	條約改正史論	小久保喜七著	大正一五	H 一一五
同	條約集	外務省條約局編	大正二一	六P 一一六
同	重大なる結果	民友社編	大正一三	四P 一一七
同	海防備論	藤森大雅著	寫本	二〇 一一八
同	海防彙議	鹽田順庵編	寫本	二〇 一一九

政治、外交 (外交、植民)

卷一	異艦戰法	答問十策附砂盾圖(青木某)		
卷二	上吉田侯書(蒲生秀實)	野叟獨語(杉田鷗齋)		
卷三	上執政書(平山行藏)	上北闕書(同)		
卷四	禦虜對(豐田亮)	備魯西亞策(三谷堯民)		
卷五	籌海因循錄(遠山景晋)	附寶島亂妨一條及圖		
卷六	釐不恤緯(土生熊五郎)	外寇水戰火技三論(賴襄)		
卷七	防海微言(川口長孺)	附山田仁左衛門所揭額圖		
卷八	獻芹微衷(松本胤親)	禦戎策(安積信)		
卷九	海防策(齋藤謙)	慎機論(渡邊登)		
卷一〇	海防策(高野長英)	同評及夢々物語		
卷一一	砲術新舊利鈍建議(高嶋四郎大夫)	答千住某問(古賀侗齋)		
卷一二	上眞田侯書(佐久間啓)	大西錄話(同)		
卷一三	明君一班鈔(德川宣昭)	籌海私議(鹽谷石陰)		
卷一四	和蘭使節船議附肥後產壽三良等唐粵門ヨリ生國ニ書翰ヲ送ル事			
卷一五	和蘭使節船ノ匡略并蘭船番卒圖增補和蘭工論書并和蘭王ヨリ貢獻ノ品物			
卷一六	夷船圖及英夷船長崎入津之始末			
卷一七	亞墨利加船渡來議附夷人及軍艦ノ圖蝦夷地漂着夷人圖(大久保因幡守)			
卷一八	水陸警備論(和田孫兵衛)			

卷一	備夷艦議(筒井紀伊守)			
卷二	吞海肇基論(佐藤信淵)	海防說階		
卷三	海備芻言(山鹿素水)			
卷四	婆心錄附花月草紙二件(松平定信)			
卷五	經濟十二論二則(井上潛)			
卷六	北陲杞憂(大塚唯助)			
卷七	捕影問答(大槻玄澤)	同後編(同)		
卷八	夷會問答同附錄附人頭錢圖			
卷九	擬極論時事封事(古賀侗齋)			
卷一〇	北陲聞見附錄(岸田雋)			
卷一一	清英合戰記略附和蘭風說書(長山貫)			
卷一二	琉球拂郎察往復書柬			
卷一三	水陸戰法秘訣附異樣船及砲圖(佐藤信淵)			
卷一四	高嶋某所傳銃陣法			
卷一五	德丸丸記	敬德丸記附敵四種圖		
卷一六	浪華梅(坂本俊貞)	海防辨		
卷一七	石清水御祈禱(宣命)	傳奏達書		
卷一八	大神宮御祈禱教書	海防新令五條附夷人及艦圖		
卷一九	圖船旗十圖	海防策(佐藤一齋)		
卷二〇	打砲復舊建白(筒井紀伊守)			
卷二一	海防策			
卷二二	海防策附風船並入水海器船之圖			
卷二三	操練微二種(九鬼式部少輔近藤石見守)			
卷二四	操練論(藤川憲)			



政治、外交 (外交、植民)

補卷一二 海防策	改火砲船城制議(江川太郎左衛門)	
	内密答問錄附追加(鶴峯彦一郎)	
補卷一三	海防私策(羽倉則)	讀海防私策(大槻清崇)同評
	獻芹微衷(大槻清崇)同評	
補卷一四	防夷須異砲船建白(大塚同庵)	同續錄附異國船圖
	三隻(同)	
補卷一五	海防論(赤井殿三)	
	擬對編附松本某建白(清水太郎)	
	諸海防彙議	海防餘議
海防彙議續第	鹽田順庵著 寫本	五 六
一	松平越中守海備議(松平定信)	
	寬政海防令附漂民紀事	
二	北地危言	
三	河尻肥後守荒尾但馬守議	文化八年捕俄羅斯人話
	論魯人文	
四	鳩舌或問(渡邊登)	鳩舌小紀(同)
	答人問書(同)	
五、六	海防臆測(古賀煜)	
	嘉永六年夷船四隻渡來始末(欠)	薩州報聞(欠)
海防策	齋藤拙堂著 寫本	五 七
同	(田董錄 第三)	三 一
海外發展地篇	石橋五郎等共編	昭和六(日本地理)
	大系別卷三、四	七 二

扶桑錄(李景稷)	東槎錄(姜弘重)	
丙子日本日記(任統)	海槎錄(金世濂)	
第三	槎上錄(金道源)	東槎錄(黃漫浪)
	東槎錄(趙龍洲)	海槎錄(申濡)
	癸未東槎日記	扶桑錄(南龍翼)
第四	聞見別錄(南龍翼)	東槎錄(金譯士)
	東槎錄(洪譯士)	酬唱錄
	海槎日記	與彼人往復文字
	各處書契	
	筵話	
懷往事談	附新聞 紙實歷	福地源一郎著 明治二七
海槎日記	大正三(海行摠載四)	一〇 一
海槎錄	慶運著 大正三(海行摠載第二)	一〇 一
海槎錄	金誠一著 大正三(海行摠載第一)	一〇 一
海槎錄	金世濂著 大正三(海行摠載第二)	一〇 一
改正條約異同一覽表(改訂條約)	(彙纂附屬)	三五 一
現改正條約類纂	明治三二	一 一
海東諸國記	申叔舟著 大正三(海行摠載第一)	一〇 一
海游錄	申維翰著 明治四〇	一 一
同	大正三(海行摠載第一)	一〇 一

海外發展と衛生問題	外務省通商局編	昭和八	三〇 一七
海外移植民事情調査	東京市役所編	昭和五	二 七
海外事情篇	志賀重昂著	昭和三(志賀重昂全集第一卷)	五 一
海外興業株式會社現勢要覽		昭和七	八 一
海外略志	寫本		一〇 一
海外諸國ヨリ進貢之書	寫本		一〇 一
海舶互市新例(正徳五年)	寫本		二 一
	(長崎新例)		二 一
解放運動中之對外問題	周鯁生著	民國一八	三 一
海關要略	寫本		九 一
開國起原	勝安芳著	明治二六	一 一
同	昭和二、三(海舟全集第一、二卷)		一 一
開國始末(井伊)	鳥田三郎著	明治二二	五 一
同			九 一
同			一 一
回顧錄	戸水寛人著	明治三八	再版
海行摠載	朝鮮古書刊行會編	大正三(朝鮮群書大系續々第三至六輯)	一〇 一
第一	海東諸國記(申叔舟)	海槎錄(金誠一)	
	海遊錄(申維翰)	看羊錄(姜沆)	
第二	海槎錄(慶運)	東槎上日錄(吳允謙)	

各國移民法規	外務省通商局編	明治三九	二 一
各國植民地銀行制度	滿鐵調査課編	昭和五(滿鐵調査資料第一四五編)	二 一
各國對中國的不平等條約	程中行著	民國一八	三 一
各國約章合編			五 一
革命的外交	周鯁生著	民國一七	三 一
同			三 一
假面を剥	汎獨政策	シエラダム著、外務省臨時調査部譯	大正七
官營移民事業報告書	臺灣總督府編	大正八	五 一
韓館唱詠編	延享五		六 一
韓國併合紀念史	帝國實業協會編	大正一	四 一
關スル條約及法令	統監府編	明治三九	二 一
咸臨丸航路圖	伴鐵太郎筆		一六 一
問島問題の回顧	篠田治策述	昭和五	八 一
古賀謹一	甲必丹文書		三五 一
樺太評論	二卷 佐田白茅編	昭和四(明治文化全集第二)	一五 一
稼齋燕行錄	金昌業撰	大正三(朝鮮群書大系續々第七輯)	一〇 一
加州問題ニ關スル日米交渉顛末		大正三	二 一
加州日本人問題	添田壽一、神谷忠雄共著	大正二	三 一



政治、外交 (外交、植民)

華洋訴訟例案彙編 姚之鶴著 民國四	三〇五	七	二
經國無是問答 伊藤大三郎著 昭和五 (日本經濟大典第四六卷)	一九九	四	一
同	二〇	九	四
經國策 齋藤新一郎著 明治二四	二〇	九	四
雞林情盟 三宅邦、朝鮮人李太華等唱和筆談	六	七	一
經世論策前篇 越村茂著 明治二五	六	七	一
遣米使日記 村垣範正述 明治三一	三	一〇	一
同 昭和三 (日本史籍刊行書遣米使節日記纂輯第一卷)	六	一〇	一
萬延遣米使節寫真帳拔萃 附外國三關慶應義塾圖書館編	三五	五	一
遣外使節日記纂輯 日本史籍協會編 昭和三、四	六	一〇	一
日本史籍協會第五、六期刊行書	六	一〇	一
蹇蹇錄 陸奥宗光著 昭和八 (岩波文庫第九三六、九三七)	四	一〇	一
獸序微衷 松本胤通著 明治二五 (少年必讀日本文庫第一〇編)	二	九	一
玉獻策集覽 寫本	二	九	一
顯承述略續 萩原裕著 明治九、二九	九	七	一
扶眼錄 未廣一雄著 大正四	三	一〇	一
癸未東槎日記 大正三 (海行摺載三)	二〇	八	一
近代日本外交史 服部之總著 昭和八	七	一〇	一

近代日支關係の研究 (天津條約より日支開戦に至る) 田保橋潔著 (京城帝國大學法文學部研究調查冊子第三輯)	八	八	一
同	三	八	一
近代露支關係の研究 (調査報告第一七一)	二	一〇	一
近代世界外交問題解説 芦田均著 昭和七	七	一〇	一
金佛郎問題 雷殿編	三	一〇	一
近百年外交失敗史 徐國楨著 民國二一	三	一〇	一
近時外交史 有賀長雄著 明治三一 (早稻田叢書)	六	一〇	一
同 明治三五 六版	六	一〇	一
近二十年來の支那外交 今關天彰著 昭和三	八	一〇	一
歐洲近世外交秘史 附錄歐洲近世外交諸大家列傳 神藤才一著 明治四〇	一	一〇	一
近世外交史 有賀長雄講	一	一〇	一
近世外交史 信夫淳平著 昭和五 (現代政治學全集第一三卷)	八	一〇	一
近世日本 日露英蘭條約締結篇 德富猪一郎著 昭和五 (近世日本國民史第三輯)	二	九	一
近世に於ける北方問題の進展 末松保和著 昭和三 (國史研究叢書第六編)	八	一〇	一
近世日葡通交小史 岩生成一著 昭和二	四	一〇	一
近世列強の外交の基調 齋藤清太郎著 昭和五、六 (西洋史講座第一三卷)	元	九	一

近世支那外交史 稻坂結著 昭和四	八	八	一
近世支那外交史 矢野仁一著 昭和五	八	八	一
近世諸藩來舶集 石黒千尋著 明治三九	二	三	一
同	二	三	一
近世殖民史 ファレンチン著、拓殖局譯 大正七	三	三	一
近世殖民史 三輪德三著 明治四一	一	三	一
近東洋外交史序說 齋藤良衛著 昭和二	六	六	一
癸巳崎陽魯艦滯留始末 寫本	五	七	一
航米記 寫本	五	七	一
光榮之日本 シダゴッフ著、田原禎次郎譯 明治三八	一	八	一
公義被仰上 寫本	一	八	一
航海日記 佐野鼎著 寫本	一	八	一
康熙與羅馬使節關係文書影印本 北平故宮博物院編 民國二一	三	五	一
克語篇 附外 鷺津源監著 寫本	二	三	一
國防政策 中尾駒之助著 明治三一	二	三	一
國民外交小叢書 中華書局	二	三	一
各國航業競爭 張介石 民國一八 四版	三	六	一
國民的外交 ボンソヒー著、小寺謙吉譯 大正一〇	四	二	一
黑龍江 堀田璋左右編 明治三七	一	六	一

黑龍江省植民ニ關スル省單行土地法令 板倉眞五編 昭和五 (資料第二五編)	八	八	一
國際部資料集 大田黒社會科學研究所編	六	九	一
一 植民地に於ける共產黨の活動情勢	七	八	一
國際外交錄 杉村陽太郎著 昭和八	七	八	一
國際法より觀たる幕末外交物語 尾佐竹猛著 大正一五	四	八	一
第四國際關係地圖 外交時報社編 大正四	八	八	一
國際問題 謝扶雅著、孫祖基訂 民國一五 重訂再版 (公民教育叢刊第三種)	三	五	一
國際的現代日本 大日本文明協會編 大正三 (大日本文明協會第三期刊行書第一卷)	三	五	一
同	三	五	一
國策としての南洋移民問題 隈川八郎述 (南支那及南洋調査第一五九輯)	八	八	一
國書複號紀事 明治三九 (新井白石全集第四)	一	八	一
瑣牘偶存 李金鐘著 光緒二三 (漸學叢書第九)	一〇	五	一
同 光緒二五 (漸學叢書第一集第一冊)	一〇	五	一
呼倫貝爾問題 郭道甫著 民國二〇	三	五	一
交涉資料 南滿洲鐵道株式會社總務部交涉局編	三	五	一
第一編 滿鮮露陸路貿易關係條約 附山東省鐵道公司炭礦契約	三	五	一
第二編 支那防設令	三	五	一
第三編 青島海關ニ關スル諸規則及支那内水汽航行規則及之ニ關スル諸條約	三	五	一



政治、外交 (外交、植民)

第四編 滿洲に於ける日支合辦會社定款 支那會社法ト	三P	六
外國人附支那會社法並ニ關係法規		
第五編 支那ニ於ケル關稅々率改正及之ニ關スル内地課稅問題ニ就テ附マツケル條約第八條	三P	七
ブレドン著		
第七編 青島ノ商工業 膠濟鐵道沿線ニ於ケル石炭業山東鐵道會社概況	八E	一五
大正三		
第一編 膠州灣條約論 マルテン著	三P	五
大正四		
第一三編 支那に於ける外國人の地位 顧維鈞著、唯根伊與、清水友次郎共譯	三P	四
大正四		
第一四編 露領烏蘇里地方	一〇E	四
大正四		
第一五編 露國商事法一般	七J	七
大正五		
同		
第一六編 「ロックフェラー」基金及布教團體事業ノ支那ニ於ケル醫學	七S	五
大正四		
第一七編 支那ニ於ケル外國人經營ノ教育施設	二K	六
大正四		
第一八編 支那に於ける憲法の發達概要 附支那憲法ノ發達	一〇J	六
エイチ・エイ・エル・ワイ著、小崎元幹譯		
大正六		
第一九編 蒙古史 コルチン著、清水友次郎譯	三H	六
大正六		
膠州灣條約論 マルテン著、南滿洲鐵道株式會社總務部交渉局編	三P	五
大正四(交渉資料第一編)		
講和會議の感想 喜多又藏著	五P	六
大正八		

講和類例 中村進午編	明治二八	一P	五
航洋記聞 寫本		一元	六
君府海峽通航制度史論 青田均著	昭和五	八P	一〇
極東近時外交史 巽來治郎著	明治四三	八P	四
極東の外交 民友社編	大正五(現代叢書)	三P	六
極東の露西亞 民友社編	大正四(現代叢書)	三P	六
極東露領ト北滿洲 外務省通商局編	明治四三	一P	一〇
居留地制度ト内地雜居 田口卯吉著、昭和三(鼎軒田口卯吉全集第五卷)		二M	三
同		一七M	五
嘉永共和政治洲並魯西亞渡來等之記聞秘書 寫本	嘉永	二元	五
六年共和政治洲渡來記聞 寫本	嘉永	二元	四
舊獨領南洋諸島ニ於ケル外國人ノ地位 附獨逸帝國ト獨逸	附獨逸帝國ト獨逸	五P	八
關稅關係 外務省臨時調查部編	大正九	二P	五
舊條約彙纂 外務省條約局編	昭和五	二P	五
第一卷 各國之部			
第一部 亞米利加合衆國 白耳義 支那共和國			
丁抹國 佛蘭西共和國 獨逸國			
休明光記 明治四〇(續々群書類從第四輯)		一M	六

M

滿蒙 吉野作造編	大正五(現代叢書)	三H	二八
滿蒙移植民問題 難波勝治著	昭和七(滿蒙講座六)	八P	一〇
滿蒙年鑑 中日文化協會刊	大正一一年版	三三N	六
滿蒙の鐵道問題に就て 竹内虎治講	昭和三	六P	一〇
滿蒙の特殊性ト邦人 内藤隈南述	昭和三	四P	一〇
滿蒙處分論 クロバトキン著、大井包孝譯	大正三	三P	六
人口問題ニテ 滿蒙拓植策ノ研究 和外務省通商局編	昭和	六P	六
基調トシテ		八P	六
同			
滿蒙特殊權益論 信夫淳平著	昭和七	七P	六
露 陸路貿易關係條約附東省鐵道路 南滿洲鐵道株式會社總務部交渉局編(交渉資料第一編)		三P	三
滿洲 服部暢著	大正二	一〇H	六
滿洲出隊移住漢民の數的考察 栗本豐著	昭和六	八P	三
(滿鐵調査資料第一五七編)			
滿洲での日米外交戰(太平洋會) 議の成果 和四 竹内克己著	昭和	二P	一
滿洲觀 幣原坦著	大正五	三P	二
同			
滿洲問題之解決 高橋作衛著	明治三七(國際法外交論叢第二)	一P	三
滿洲年鑑(滿蒙年鑑改稱) 滿洲文化協會發行	昭和八一	三三N	六

政治、外交 (外交、植民)

滿洲ニ於ケル日支合辦會社定款 南滿洲鐵道株式會社總務部交渉局編(交渉資料第四編)		三P	六
滿洲に於ける領事裁判權撤廢に就いて 南滿洲鐵道株式會社總務部調査課編	昭和四	一〇P	四
滿洲の郷土化 齋藤茂信著	昭和八	七P	三
滿洲讀本 滿鐵東亞經濟調査局編	昭和二	二四H	三
同			
外交 滿洲と日露戰爭 大竹博吉譯編	昭和八	一〇P	六
祕錄 滿洲の内土侯州英國政府間の條約 新嘉坡英國政廳編	大正一四(南支那及南洋調査第一〇一輯)	六P	三
明治局外中立顛末 昭和七(日本史協會第七期第五回刊行書)		毛H	六
明治外交史の一部 吉野作造著(社會經濟體系第一卷)		二六E	三
墨西哥事情 古谷重綱述	大正一五	六P	三
同 昭和四(移民事情第二二卷)			
北墨士哥殖民法案内 鎌田三之助著	明治四一	一P	六
對露 三重丸事件顛末錄 大日本遠洋漁業株式會社編	大正元	一P	四
南漢山城の開城史 極東に於ける 篠田治策著	昭和五	八P	八
南滿洲ニ於ケル帝國ノ權利 再版 蟻川新著	大正三	三P	二
民國拾八年滿洲出隊移住民移動狀況 栗本豐編	昭和	八P	四
和五(滿鐵調査資料第一三〇編)			



政治、外交 (外交、植民)

民國十六年の滿洲出稼者	南滿洲鐵道株式會社編	六P	九
昭和二(滿鐵調査資料第七〇編)			
民國十七年の滿洲出稼者	南滿洲鐵道株式會社編	八P	五
昭和四(滿鐵調査資料第一〇〇編)			
民族生存の實相	奥田元平著	大正一二	再版
問對筆記	岩瀬震、平山謙 對蘭人ノ問答書	寫本	
長崎實錄	田邊茂啓著	寫本	
長崎古今雜記	寫本		
對外關係長崎年表	長崎縣立長崎圖書館編	大正五	
長崎之記	寫本		
長崎三百年間	(外交事) 福地源一郎編	明治三〇	
同	明治三五		
同			
長崎圖誌	寫本		
內地雜居論	井上哲次郎著	明治二二	
同	昭和三(明治文化全集第六卷)		
內地雜居續論	井上哲次郎著	昭和三(明治文化全集第六卷)	
南蠻記	新村出著	大正四	
南米伯刺西爾國ト日本移植民	海外興業株式會社編	大正一一	
南米移民研究	奥村安太郎著	大正一二	四版

南米哥倫比亞國移植民事情觀察報告	竹島雄三、卷島壽共編	昭和二(移民地事情第一四卷)	五P	10/10	
南米哥倫比亞國「カウカ」原野地方移植民調査報告	昭和四(移民地事情第二〇卷)	五P	10/10		
南米のABC國	田中秀作者(調査研究第一五輯)	八P	11/11		
水野筑後守	明治二五(少年必讀日本振興部正南北開拓意見 文庫第一編)	六H	11/11		
南洋	民友社編	大正四(現代叢書)	六H	11/11	
南洋華僑ト金融機關	臺灣銀行總務部調査課編	大正三	三P	11/11	
南洋企業策(報告)	松岡靜雄述	大正四	三P	11/11	
南洋年鑑	附錄 一九一六—伊藤友次郎著	大正五—	八N	11/11	
南洋ニ於ケル華僑(支那)附爲替	臺灣銀行總務部編	大正三	三P	11/11	
南洋渡航須知	越村長次編	大正八	再版	14H	11/11
維新日米外交の真相	ハリス著 生駒翔翔譯	大正	八〇	11/11	
同					
一九二一年日米外交史	トリート著 村川堅固譯	大正二一	八〇	11/11	
嘉永七年	月日米條約文	大正八	五P	11/11	
日米條約改正記事	外務省編	明治二八	九	11/11	
日米國際記要	大日本文明協會編	大正一一	五P	11/11	

日米交渉五十年史	北崎進著	明治四二(大日本文明協會第一期刊行書第三〇卷)	一P	11/11	
同					
日米問題	アボット著、小島幸治譯	大正七(大日本文明協會第四期刊行書第二五卷)	四P	11/11	
日米問題	ギユリック著、栗原基譯	大正四	四P	11/11	
日米問題ノ要點並ニ其解決法	高橋作衛著	大正三(宮崎教授在職廿五年記念論文集別刷)	三P	11/11	
日米之新關係	高橋作衛著	明治四三	一P	11/11	
日米兩國の對支相互關係	下村厚之著	大正一三	六M	11/11	
日米戰はず	稻垣守克著	大正一〇(國際聯盟協會第九號)	四P	11/11	
日土交渉史	内藤智秀著	昭和六	四〇H	11/11	
日英條約改正記事	外務省編	明治二七	H	11/11	
日蘭三百年の親交	村上直次郎著	大正四	訂正増補再版	八H	11/11
日露外交十年史	附日露交渉に關する往復文書	濱田佳澄著	明治	一P	11/11
日露開戰前之外交文書	原文並英文	明治三七	二P	11/11	
日露國交史料	梅森三郎編	大正四	三P	11/11	
日露交渉彙報	渡邊新太郎編	明治二九	三P	11/11	
明治二大外交の真相	信夫淳平著	昭和三	再版	七P	11/11
同					
日本貿易新聞	第五〇—一九七	寫本	二九	11/11	

政治、外交 (外交、植民)

日本獨逸條約書	外務省編	明治二	H	11/11	
提督日本遠征記	鈴木周作抄譯	明治四五	再版	一P	11/11
日本外交史料展覽會出品目錄	讀賣新聞社編	昭和八	七P	11/11	
日本異國往來記	遠山信武著	昭和二(隨筆文學選集第三卷)	一〇M	11/11	
日本移民論	大河平隆光著	明治三八	一P	11/11	
日本人の海外發展	大日本文明協會編	大正五(大日本文明協會第四期刊行書第一卷)	四P	11/11	
北海道日本開富	勝山孝三著	明治二四	H	11/11	
日本の外交			二元	11/11	
日本之禍機	朝河貫一著	明治四二	一P	11/11	
日本之三大政策	大石正巳著	明治二五	H	11/11	
日本之三大急務	附圖 内田良平著	大正元	一P	11/11	
日本の世界的孤立	前和蘭極東外交官編、小寺謙吉譯	大正九	四P	11/11	
日本及各國殖民地圖表	拓殖局編	大正元	七X	11/11	
日本最近外交史	齋藤文藏述		八〇	11/11	
日本植民地經濟論	持地六三郎著	大正一五	八P	11/11	
日本植民地要覽	全國新聞東京聯合社編	大正元	一P	11/11	
日本帝國委任統治行政年報	外務省編	一九二五—	二五N	11/11	
日本と和蘭	日蘭協會編輯部編	大正三	八H	11/11	







政治、外交 (外交、植民)

隣交徴書 伊藤威山輯 天保九	二	二六
同	三	六
隣交始末物語解 雨森芳州著 大正六(三十輯第二)	二M	一
露獨通商條約史 ソボレフ著、日露協會譯 大正六	一P	二四
露人の滿洲分割論 對支聯合會編 大正三	三P	八
露國月報 第七卷第一號 外務省政務局編 大正	七N	一
露國の武斷外交 ツルベッコイ著、並木仙太郎譯 大正三	一〇〇三	一
戰後露國の外交及軍事 上原好雄著 大正三	一〇〇三	一
露國對清國 渡邊千春著 明治三五	一P	四
露國東邦策 マクシモーフ著、東邦協會譯 明治二	五P	九
羅馬法王論 安藤正純著 大正一一	四P	一
露領極東の農業と植民問題 南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編(露亞經濟調査叢書) 大正一五	三E	一
魯西亞國條約並稅則	一〇四	一
同	H	一
同 寫本	九	一〇
魯西亞應接書 寫本	二九	一〇
領事裁判權討論大綱 黃秩庸編 民國一五(公民教育叢刊第七種)	三三	一
同 再版	三三	一

遼東還附の由來及真相 衣斐鈺吉著 大正四	一〇〇三	一
西洋交通論 一名對西伯 利鐵道策 佐藤宏著 明治三一	H	一〇
同	二〇	一
下關春帆樓に於ける兩雄の會見 大園市藏編 大	八P	七
グラント氏意見 琉球事件 郵便報知 昭和四(明治文	五M	一
ヨング氏筆記 新聞所載 化全集第二卷) 昭和四	一〇	一
琉球處分提綱 遠藤達、後藤敬臣共著 昭和四(明	五M	一
薩哈噠島占領經營論 治文化全集第二卷) 內山吉太、明石鴻南共著 明	二P	八
最近外交事情 牧野義智著 大正元	三P	一
最近外交史 原田豐次郎著 明治四〇 三版(帝國	四M	一〇
最近の獨逸 稻原勝治著 大正八(通俗國際文庫第	五P	一〇
最近の歐洲外交 林毅陸著 大正三	三P	一
最近三十年外交史 有賀長雄著 明治四三(近時外	一P	一
同 史續編)	五P	一〇
最近政治外交史 坪井九馬三著 昭和三	六P	一〇
最近世界外交史 長岡春一著 明治四二	一P	一〇
同	五P	一〇
最近世界の外交 米田實著 大正九	五P	一〇
同 大正一〇 三版	五P	一〇

策彦入唐記 (續史籍集覽第七冊)	二〇	一
三國同盟と露佛同盟附三國 高桑駒吉著 大正四	三P	七
三移民村 花蓮港廳編 昭和三	七P	九
三十年史 木村芥舟著 明治二五	一H	三
三十七、八年役と外交 德富猪一郎著 大正一四	七P	二七
サンパウロ州移民狀況視察要報 堀口九萬一述 大正八	五P	四
三策 狩野深藏著 明治元	三	一
薩藩最初の海外留學生及び當時の外交問題 池田俊彦述 昭和六(鹿兒島史談會第一集)	五H	九
サラワク王國在留邦人の狀況 松本辰藏著 昭和	六P	一
三(南支那及南洋調査第一五一輯)	六P	一
さればロシアは敗れたり(極東外) ウイツテ著 荒川實藏譯 昭和五	七P	一
政弊私儀 黒龍會發行 大正三	一P	一
靖方溯源 山田安榮著 明治二四(伏魔編附錄)	八〇	一
政治外交篇 榎原茂樹、岸田英治共著 昭和五(大	一八M	一
征韓評論 佐田白茅輯 明治八	H	七
同 昭和四(明治文化全集第二二卷)	一五M	一
青島海關ニ關スル諸規則並支那内水汽船航行規	三P	一
則及之ニ關スル諸條約 南滿洲鐵道株式會社總務	三P	一
部交渉局編(交渉資料第三編)	三P	一

西洋國應接書 寫本	九	一〇
世界團體の組織について 稻垣守克著 大正一〇	五P	一〇
(國際聯盟協會第七號)	五P	一〇
世界變局と帝國外交 大津淳一郎著 大正八	五P	一〇
世界改造の巷より 中野正剛著 大正八	五P	一〇
世界の變局 德富猪一郎著 大正四	三P	一〇
世界植民地現勢 朝鮮總督府編 大正一三(調査資	五P	一〇
料第四輯)	五P	一〇
世界殖民史 山内正瞭著 明治四〇 二版(帝國百	四M	一〇
科全書第一一三編)	四M	一〇
一九二四年米國移民法制定及之ニ關スル日米交	二P	一〇
渉經過(附屬英文) 外務省編 大正一三	二P	一〇
戰爭はしないで済む 稻垣守克著 大正一〇	四P	一〇
接鮮瘡語 松崎復著 寫本	三	一〇
社會問題と植民問題 永井柳太郎著 大正元	二Q	一〇
上海租界問題 王楫唐編 民國一三	三〇	一〇
西伯利及滿洲 外務省調査 明治三七	一P	一〇
下田御用(安政元年)	一〇	一〇
下田御用(十一月)	一〇	一〇
下田御用記 寫本	一〇	一〇
支那防穀令 南滿洲鐵道株式會社總務部交渉局(交	三P	一〇
渉資料第二編)	三P	一〇
支那外交史(一八八八—一九〇二年) コチエー著 大正八	五P	一〇
(調査資料第九輯)	五P	一〇

政治、外交 (外交、植民)



政治、外交 (外交、植民)

支那外交史	牧野義智著	大正三	三P	三一
支那外交史論	植田捷雄著	昭和八	一〇P	三一
支那外交通史	窪田文三著	昭和三	六P	一三
同			八P	一三
同			三	一
支那排日運動ノ違法性	大阪商工會議所編		八P	一三
支那時報	第一二 外務大臣官房報告課編	大正二	七N	一四
支那人排斥の由來	大山卯次郎著	大正一三	五P	一七
支那會社法ト外國人	附録支那會社法 南滿洲鐵道株式會社總務部交涉局編 (交涉資料第四編)		三P	一六
支那關係條約集	外交時報社編	昭和五	三	一
最近に於ける支那關稅問題	中濱義久編 昭和四 (滿鐵調查資料第九五編)		八P	二〇
支那研究資料	支那研究資料編輯處編	大正六一	一四N	五
第一卷				
第一號	民國行政紀要第一卷財政(國務院統計局編 支那關係資料編輯處譯)			
	民國行政紀要第二卷交通(同)			
	財政法規改正意見書(國務院法制局稿)			
	公文 民國五年大事記			
第二號	支那政黨史(井上一葉著) 田賦上篇			
	民國行政紀要第三卷司法			
	支那側の關稅改修意見			

膠州灣施設の研究(完)	(大内丑之助著)			
支那の酒及煙草稅				
民國六年度郵政報告	公文			
第三號	民國行政紀要第六卷農商第五篇礦政			
	支那正觀(有賀長雄) 公文 農林統計			
支那近世政治思潮	松井等譯 大正八 (興亡史論第二期第九卷)		一〇H	一〇九
日知錄抄(顧炎武)				
支那國治外法權ニ關スル委員會ノ報告書	外務省編 昭和二		二P	五
支那内地移民の現況	黃育熙著 (支那研究彙錄二九)		三	一
支那に於ける治外法權撤廢問題	中濱義久編 大正二五 (滿鐵調查資料第六三編)		六P	三
支那に於ける獨逸の經營	山本美越乃著 大正三		一P	一六
支那ニ於ケル外國人ノ地位	顧維鈞著、唯根伊與、清水友次郎共譯 (交涉資料第一三編) 大正四		三P	一七
支那に於ける外國租界回收問題	水谷國一著 (滿鐵調查資料第一二五編)		八P	一五
支那ニ於ケル關稅稅率改正及之ニ關スル内地課稅問題	附録マッケー プレトン著 (交涉資料第八條 料第五編)		三P	一七
支那ニ於ケル列國利權色別地圖	朝鮮銀行調查室編 大正三		二P	一〇
支那の外交關係	橋本增吉、牧野義智著 大正九 (通俗國際文庫第一一、一二)		五P	一〇
支那の近狀に對する警告書	對支聯合會編		三P	一七

第三號	鹽稅錄款 公文			
	支那近時交通史第一卷郵便篇上(支那研究會編)			
	民國行政紀要第四卷教育			
	民國行政紀要司法補註			
	北京シンヂケート(福公司)(小野梧式) 公文			
第四號	田賦下篇			
	關稅及釐金稅(賈士毅)			
	法律上の滿蒙(高橋津郎) 公文 雜纂			
第五號	支那近時交通史第一卷郵便篇下(支那研究會編)			
	民國行政紀要第五卷蒙藏上			
	政變關係文書彙存 公文			
第六號	民國行政紀要第六卷蒙藏下			
	民國行政紀要第六卷農商第一篇農政雜纂			
	公文 時事彙存			
第七號	獨逸經營時代に於ける膠州灣施設の研究 (大内丑之助)			
	復辟始末記(公言報白水記) 公文			
第二卷				
第一號	支那造幣沿革(蘭昌善調查)			
	民國行政紀要第六卷農商第二篇林政第三篇漁牧大運河及直隸諸水道(上)(張譽著)			
	奉天省森林調查報告(廖訓策、李芳)			
	膠州灣施設の研究(第二)(大内丑之助著) 公文			
第二號	民國行政紀要第六卷農商第四篇工商			

支那農民の北滿植民と其前途	ヤシノフ著、岸谷一郎譯 昭和六 (露亞經濟調查叢書)		一〇P	三
支那の門戶開放主義に關する條約協定及公文	水谷國一編 昭和五 (パンフレット第七一號)		八P	三
支那鐵道關係條約彙纂	鐵道省運輸局編 大正一五		六P	一
支那鐵道關係條約集	鐵道院編 大正四		三E	突
新朝鮮及新滿洲	朝鮮雜誌社編 大正二 (朝鮮群書大系續第二四輯)		一P	一五
清英交際始末	明治三一 (福澤全集卷二)		一M	一
同			一M	一
同	大正一五 (福澤全集第二卷)		九M	一
同			一M	一
同			二〇M	一
同			五〇	一
清英交際始末	松田晉齋譯 明治二		一〇六	一八
同			一三	三
同			一三	五
同			一三	五
新條約論	中村進午著 明治三〇 (早稻田叢書)		H	三
清嘉慶朝外交史料	故宮博物院編 民國二一 (文獻叢刊特刊)		三〇五	三
清光緒朝中日交涉史料	故宮博物院編 民國二一 (文獻叢刊特刊)		三〇五	三
和信使記錄	附信使記錄 寫本		九	二



政治、外交 (外交、植民)

正信使記録書	寫本	九	三二五
德信使記録書	寫本	九	一
保信使記録書	寫本	九	一
延信使記録書	寫本	九	二五
寶信使記録書	寫本	九	三
文信使記録書	寫本	九	一
同御國		九	二
同書留		九	二
信使記録混合	年代	九	四
信使記録雜集	自享和元 寫本	九	五
新支那	民友社編 大正三(現代叢書)	三	九
大日本新定條約並附錄草案	昭和三(明治文化全集 第六卷)	五	六
新訂善隣國寶記	瑞溪著 昭和七	三	六
使琉球記	李鼎元撰 嘉慶七	一〇	五
使清辨理始末	金井之恭著 明治八	八	一
同	昭和三(明治文化全集第六卷)	五	六
思想の進行と國際聯盟の立場	稻垣守克著 大正	四	八
一〇(國際聯盟協會第八號)		四	八
內閣	處善趣旨書 蕃地事務局編 明治八	一〇	六
同	昭和三(明治文化全集第六卷)	五	六

諸大家對外意見筆記	成田與作編 明治三三	一	一
殖民地便覽	內閣拓殖局編 大正二一	一	一
殖民地銀行論	岡樂三著 明治四五(最近經濟問題 卷一七)	五	一
殖民地一覽	拓殖局編 大正九	五	一
獨逸ニ殖民地經濟ト本國産業	獨逸帝國統計局編 井於ケル 上雅二譯 明治四五	一	一
殖民地教育	幣原坦著 大正元	一	一
殖民地問題	世界情勢研究會編 昭和六(プロレタ リヤ講座一)	六	一
殖民地に於ける共產黨の活動情勢	大田黑社會科 學研究所編 昭和五(國際部資料集一)	六	一
殖民地地理の内容に就いて	田中秀作著(調查研究 第一五輯)	八	一
殖民地組織法大全	臨時臺灣舊慣調查會編 明治四二	一〇	一
同		三	一
殖民地大鑑	深尾幸太郎著 大正五 再版	三	一
殖民地鐵道の世界經濟的及世界政策的研究	永 雄策郎著 昭和五	二	一
殖民地統治論	泉哲著 大正一〇	五	一
殖民地要項一覽	拓殖局編 大正八	七	一
殖民地要覽	拓殖局編 大正九	五	一
殖民地財政論	小林丑三郎著 大正二	一	一

殖民地財政制度	オースチン著、臺灣總督府譯 明治三八	五	一
植民汎論	石黒定美講(早稻田大學明治四一年度政 治經濟科第一學年講義錄)	一	一
殖民法制著書目次集	手島兵次郎編 明治四三	一	一
殖民協會報告	殖民協會發行 明治二六—三二	一	一
殖民及殖民法制原論	ザロル著、若林榮次郎譯 大 正七	五	一
植民及殖民政策	矢内原忠雄著 昭和八 四版	二〇	一
植民論	石黒定美講(早稻田大學政治經濟科第二八 回講義錄) 大正元、二	一	一
植民論	山内正瞭著 明治四四(經濟全書第三卷第 六編)	一	一
殖民政鑑	臺灣總督府民政局編 明治二九	五	一
殖民政策	ケブナー著、磯澤昌貞譯 大正二(大日 本文明協會第二期刊行書第二〇卷)	一	一
殖民政策	金持一郎著 昭和六(現代經濟學全集第 二二卷)	二	一
殖民政策	松岡正男著 大正一一(經濟學講義)	五	一
同		八	一
殖民政策	東郷實著(社會經濟體系第五卷)	六	一
殖民政策	ランチ著、松岡正男、田宮弘太郎共譯 明治四三	一	一
殖民政策	ソルフ著、拓殖局譯 大正一一	五	一
殖民政策汎論	山内顯編 明治四一(帝國百科全書 第一八四編)	四	一

政治、外交 (外交、植民)

殖民政策批判	細川嘉六著 昭和二	八	一
殖民政策研究	山本美越乃著 大正九	六	一
殖民政策と民族心理	東郷實著 大正一四	七	一
殖民新論	松岡正男著 大正一一	五	一
殖民統計第一	東洋拓殖株式會社編 明治四四	二	一
殖民と經濟	堀切善兵衛著 明治四三(最近經濟問 題卷七)	五	一
同		三	一
將來ノ我經濟政策ト日米問題	添田壽一述 大正 三	八	一
商租權概説	松木俠著 昭和五(パンフレット第七 三號)	七	一
終北錄	一名戊唐 高津泰平著 安政四	二	一
ソヴェト外交十年史	タニン著、廣岡光治、大竹 博吉共譯 昭和四	七	一
ソヴェト聯邦の利權政策其他	昭和二(日露協 會報告第二四號)	三	一
「ソヴェト」社會主義共和國聯邦條約集	外務 省條約局譯 昭和五	二	一
副島大使適清概略	昭和三(明治文化全集第六卷)	一	一
宗家記録	諸方御内用(正徳四一) 寫本	一	一
相州浦賀湊異國船到着御配意見聞記	寫本	一	一
遭厄日本紀事	コロウキン原著 高橋景保等譯 寫 本	一	一



政治、外交 (外交、植民)

對亞國移植民政策	外務省通商局編	大正一五	六P	三
對勃平和條約解說概要	附議定書梗概	外務省編	大正一〇	二P
對獨賠償問題ニ關スル公文書	外務省編	大正一	二P	四
對獨對澳兩平和條約及附屬議定書等ノ異同摘要	外務省編	大正九	二P	一
對外策	稻垣滿次郎述	明治二四	H	一
對韓私議	田中穗積著	明治三二	H	一
對韓雜記	同別 陶山鈍翁著	大正四 (日本經濟叢書卷一三)	九E	一
同	同	同	九E	一
同	同	同	五E	一
同	同	同	六E	一
同	同	同	二五E	一
同	同	同	一〇〇三	一
同	昭和三 (日本經濟大典第八卷)	同	一九E	一
大舉海外拓殖の事業を起す提議の案	水野龍著	大正八	二P	一
對滿朝鮮移民の堅實性	石森久彌著	昭和八	八P	一
對澳平和條約並其他ノ諸條約諸協定及諸宣言書ノ解説概要	外務省編	大正九	二P	一

對澳對勃對洪對獨平和條約對當條項表	外務省臨時平和條約事務局編	大正一〇	二P	一
對露通商問題一斑	萩原貞雄稿	大正一〇 (調查報告第三〇號)	三E	一
大勢史眼	福本日南著	大正四	三P	一
大戦外交史	長岡春一著	大正五	三P	一
外交大戦後日譚	チャーチル著、西村二郎譯	昭和	七P	一
秘録	尾崎行雄著	大正一五 (尾崎行雄全集第五卷)	二M	一
對清對韓論策	尾崎行雄著	大正一五 (尾崎行雄全集第五卷)	二M	一
同	同	同	二M	一
大使信報	大使事務局刊	明治五	一三	一
千九百二對支通商條例	中島宗一譯	大正一一 (滿鐵調査資料第七編)	七M	一
大正外交十五年史	信夫淳平著	昭和二	四P	一
大正四年日支交渉ニ關スル公文書	大正四	二P	八五	一
臺灣蕃族及隘勇線	臺灣總督府民政部蕃務本署編	大正三	一P	一
臺灣農業殖民論	東郷實著	大正三	三P	一
臺灣志	伊能嘉矩著	明治三五	一P	一
臺灣植民發達史	東郷實、佐藤四郎共著	大正五	三P	一
臺灣殖民政策	持地六三郎著	大正元 再版	三P	一

竹島文談 陶山鈍翁著 大正四 (日本經濟叢書卷一三)

同	同	同	九E	一
同	同	同	一五E	一
同	同	同	一六E	一
同	同	同	二五E	一
同	同	同	一〇〇三	一
同	昭和三 (日本經濟大典第八卷)	同	一九E	一
同	同	同	二七N	一
拓務時報 第一號	拓務省拓務局編	昭和六一	二七N	一
拓務懇談會速記錄	拓務省編	昭和四	八P	一
拓務省統計概要	拓務省編	昭和五	五R	一
拓務要覽	拓務省編	昭和五	三N	一
統計	内外經濟調査會編	昭和五	三X	一
帝國殖民地課稅一覽	香川岩雄、二瓶治夫共編	昭和四 (資料第一編)	八X	一
帝國主義論	大石猪之助著	明治四三 (國民經濟叢書第一冊)	五E	一
東亞之大勢	末廣重恭著	明治二六	H	一
東亞及南洋ニ於ケル各國領事館調	外務省通商局	大正一一	八H	一

政治、外交 (外交、植民)

東邦關係	渡邊修二郎著	明治二七	H	一〇〇
同	同	同	一〇〇三	一
東北移民問題	王海波著	民國二一 (東北研究叢書)	三〇五	一
東北條約研究	胡崑、丁憲勳共著	民國二一 (東北研究叢書)	三〇五	一
東方問題とバルカン半島	高桑駒吉著	大正四	三P	一
同 (時局叢書第三編)	同	同	五P	一
東方策	稻垣滿次郎著	明治二四	三P	一〇〇
東方妖雲	ヘラルド社記事	伊東巳代治譯	八〇〇	一
德國人說	寫本	同	英	一
東亞特種條約彙纂	東亞同文會編	明治三七	二P	一
同	明治四一 增補	三版	二P	一
同	明治四五 四版	同	二P	一
答問十策	青木定遠著	大正四 (日本經濟叢書卷一)	九E	一
同	同	同	九E	一
同	同	同	一五E	一
同	同	同	一六E	一
同	同	同	二五E	一
同	同	同	一〇〇三	一



政治、外交 (外交、植民)

答問十策 (青木定遠著 昭和四(日本經濟大典第二卷))	一九E	一/三〇	一
同 寫本	三E	九/三〇	一
東棧上日録 吳允謙著 大正三(海行摺載第二)	〇H	七/二	一
東棧録 金譯士著 大正三(海行摺載四)	〇H	七/四	一
東棧録 黃漫浪著 大正三(海行摺載三)	〇H	七/三	一
東棧録 洪譯士著 大正三(海行摺載四)	〇H	七/四	一
東棧録 姜弘重著 大正三(海行摺載第二)	〇H	七/二	一
東支鐵道附屬地問題概要 南滿鐵哈爾濱事務所調査課編	五P	二六	一
東支鐵道附屬地及松黑兩江航行に關する支那法權回收事情 哈爾濱遠東編、濱岡福松譯 大正一一(哈調資料第七號)	五P	二六	一
東支鐵道を中心とする露支勢力の消長 弓場盛吉編 昭和三(哈運資料)	六P	二六	一
東支鐵道土地回收運動に對する考證 南滿鐵哈爾濱事務所調査課編 大正一一(哈調資料第一二號)	五P	二六	一
東拓十年史 東洋拓殖株式會社編 大正七	二P	元	一
近世東洋外交史序説 齊藤良衛著 昭和二	八P	六	一
東洋近時外交史 巽來治郎講(早稻田大學明治四一年度政治經濟科第一學年講義録)	一P	七	一
東洋拓殖株式會社事業概況 東洋拓殖株式會社編 大正六	七X	A六	一

同 東洋拓殖株式會社事業概要 東洋拓殖株式會社編 大正六	七P	三九	一
同 東洋拓殖株式會社事業一斑 拓殖局編 明治四五(拓殖局報告第二九)	三P	二四	一
同 東洋拓殖株式會社事業一斑 拓殖局編 明治四五	一P	二六	一
同 通信館志 金慶門編 明治四〇	一P	四	一
同 大正二(朝鮮群書大系續第一編)	一〇五	三	一
同 通航一覽 明治四五(國書刊行會刊行書)	一P	二五	一
第一 琉球國部 第一一四 朝鮮國部	一P	二八	一
第四 長崎港異國通商總括部 異國渡海總括部			
安南國部 第四、五 南蠻部			
第五、六 唐國部 第六 阿蘭陀國部 葡厄利亞國部			
第六、七 暹羅國部			
第七 信川、加知安、蜜西耶部			
艾萊國 浮泥國部 田彈國部			
巴且國部 摩利加國部 瓜哇國部			
萬老高島部 大人國部 小人國部			
第七、八 魯西亞國部 第八 北亞墨利加部			
安岡島部 異國部 附録 海防部			
通俗外交論 福澤諭吉立案 中上川彦次郎筆記 明治一七	四P	二	一
同 明治三一(福澤全集卷五)	一M	七/五	一

同 大正一五(福澤全集第五卷)	一M	二/五	一
同 同	九M	元/五	一
同 同	〇M	三/五	一
同 同	五〇	三/五	一
通俗國際文庫 外交時報社編			
第一卷 最近の獨逸 稻原勝治著 大正八	五P	〇	一
第二卷 獨逸社會民主黨 煙山專太郎編 大正八	五P	〇	一
第三卷 最近の露西亞 稻原勝治著 大正九	五P	〇	一
第四卷 現代の英國 西山重和著 大正九	五P	〇	一
第五卷 印度の現狀及將來 稻原勝治著 大正九	五P	〇	一
第六卷 米國の東漸 石川實著 大正九	五P	〇	一
第七卷 外交舞臺の佛國 西山重和著 大正九	五P	〇	一
第八卷 土耳其廢頽史 長瀬鳳輔著 大正九	一六H	六	一
第九卷 巴爾幹の將來 長瀬鳳輔著 大正九	五P	六	一
第一〇卷 列強の産業戰 稻原勝治著 大正九	九E	一四	一
第一一卷 支那の外交關係 橋本增吉、牧野義智共著 大正九	五P	七	一
U ウイルソン奮闘史 片倉藤次郎著 大正一〇	四P	二九	一
浦賀御用記 寫本	一〇七	一三	一
W 我國民ノ海外發展ト南洋新占領地 山本美越乃著 大正六(法律學經濟學研究叢書第二一册)	三P	一三	一

政治、外交 (外交、植民)

同 我が殖民地 濱田恒之助、大山長資共著 昭和三	四P	二八	一
同 和戰兩様の準備 附録 八件 圓城寺天山著 明治三七	一P	三	一
同 約章成案匯覽 北洋洋務局纂 光緒三一	五	一	一
同 野叟獨語 九 杉田鶴齋著 大正四(日本經濟叢書卷一)	九E	一/九	一
同 同	一五E	三/九	一
同 同	一六E	一/九	一
同 同	一五E	一/九	一
同 同	一〇三	一八/九	一
同 昭和四(日本經濟大典第二九卷)	一九E	一/九	一
同 同	二E	九/九	一
同 明治二四(溫知叢書第四編)	三M	三/四	一
同 歐羅巴と東洋 高桑駒吉著 大正四(時局叢書第六卷)	三P	七	一
同 右武衛殿朝鮮渡海之雜稿 珍書同好會編	二二	四	一
同 小杉樞 郵寫本 幽囚録 吉田松陰著	五	五	一
同 在亞邦人衛生狀態視察報告 飯村保三報 昭和一一(移民地事情第一三卷)	五P	二〇/三	一



政治、外交 (國際問題)

在米同胞發展史 <small>附名士列傳</small> 加藤十四郎著 明治四一	三P	二七一	一
在伯邦人衛生狀態視察報告 <small>飯村保三報 昭和二一 移民地事情第一三卷</small>	五P	一〇三	一
在伯本邦移植民ニ關スル視察報告 井上雅二著 大正一五	六P	六	一
在伯日本移民ノ寄生蟲ニ關スル研究報告 藤波鑑著 昭和二三	六P	一三〇	一
在「サンパウロ」帝國總領事館移植民問題研究資料 第二號 伯國聯邦及州立植民地ノ概要 加藤順之助編 昭和五	八P	七	一
在支那本邦人進勢概覽 <small>第二 外務省通商局編 大正八</small>	二P	三〇	一
坐間筆語 <small>附江關談 新井白石筆語</small>	二〇	七	一
善隣國寶記 周鳳著	二	四	一
同 (改定史籍集覽第二一冊)	六	三	一
同 大正一四 (續群書類從第三〇輯上)	三H	三	一
續善隣國寶外記 周鳳著 (改定史籍集覽第二二冊)	三H	三	一
同 大正一四 (續群書類從第三〇輯上)	三M	三	一
續善隣國寶記 周鳳著 (改定史籍集覽第二二冊)	三H	三	一
同 大正一四 (續群書類從第三〇輯上)	三M	三	一
續善隣國寶記 周鳳著 (改定史籍集覽第二二冊)	三H	三	一
同 大正一四 (續群書類從第三〇輯上)	三M	三	一

(三) 國際問題

C 中國國際條約義務論 刀敏謙著 民國一四 三版	三五	部	號	冊
D 同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約並議定書 朝陽會刊 大正八	一〇P	七	一	一
F 不戰條約文問題に就て 不戰條約御批准奏請反對同盟編 昭和四	八P	六	一	一
不戰條約文問題始末 向軍治著 昭和四	一〇P	元	一	一
不戰條約中「人民の名に於て」の問題 美濃部達吉編 昭和四	八P	七	一	一
不戰條約論 信夫淳平著 昭和三 (國際聯盟協會叢書第八二輯)	七P	三	一	一
G 現代の海權爭霸 石丸藤太郎譯 昭和五 (文明協會ラ	七P	二八	一	一
軍備縮少問題研究資料 國際聯盟協會刊				
第二 軍國主義打破 杉村陽太郎著 大正一四	八〇	三〇	一	一
軍備縮小問題と國際聯盟 宇治田直義著 昭和六	八P	一〇五	一	一
軍國主義打破 杉村陽太郎著 大正一〇 (軍備縮少問題研究資料ノ二)	八〇	三〇	一	一
軍縮條約草案とその解説 國際聯盟事務局東京支本多熊太郎編 昭和七	八P	一四	一	一
耶氏の「不戰條約研究」を評す 笠間泉雄著	八P	二	一	一
I 委任統治問題 松原一雄著 昭和八	一〇P	六	一	一
J 常設國際司法裁判所 織田萬著 大正一五	七P	一六	一	一

K

壽府三國會議と其後 堀川淳一郎著 昭和四	七P	二五	一
同	七P	二〇	一
國定教科書 海外關係記事 昭和五 (東亞小冊第六冊) に於ける	二P	六	一
金本位制の職能 國際聯盟事務局東京支部刊 昭和七 (國際聯盟叢書第五冊)	八P	一五	一
國難來 金城外史著 昭和五	八P	五	一
國聯調查團報告書及其批評 中華民國國難救濟會編 民國二一	三〇五	六	一
國際軍備縮少問題 三枝茂智著 昭和七	八P	一〇八	一
同	八P	三三	一
國際平和に關する考察 稻垣守克著 大正一〇	四P	七	一
國際平和論 カーネギー著、都築馨六譯 明治四一	一P	六	一
國際時報 外務省情報部編 大正一一	一八N	兜	一
國際事情 外務省編 大正九一	一三N	三	一
同 昭和二一六 三版	八P	三九	五
國際間に於ける日本の孤立 全亞細亞會編 大正	三P	二八	一
國際經濟會議報告書 外務省編 昭和二	二P	六	一
同	二P	六	一
國際經濟會議と世界經濟の現情勢 國際聯盟事務局東京支部編 昭和八	八P	三五	一
國際經濟會議と其問題 上田貞次郎編 昭和二	四P	二四	一

政治、外交 (國際問題)

同	三E	兜	一
國際問題 エンゲルス著、岡村貞三譯 昭和三 (マ	七P	一	一
國際問題より見たる滿蒙 阿比留乾二著 昭和八 (滿蒙講座一一)	八P	三四	一
國際聯盟 煙山專太郎著 大正一〇 (新時代叢書第一二卷)	四	五	一
國際聯盟調查團ノ報告ハ何ヲ物語ルヤ 鮑觀澄述 昭和七	八P	一九	一
國際聯盟概説 外務省情報部編 昭和五	七P	一四	一
同	七P	二四	一
國際聯盟軍縮本會議と日本 本多熊太郎著 昭和	一〇P	六	一
國際聯盟經濟叢書 國際聯盟事務局東京支部編			
第二冊 世界農業恐慌 附國際農業 抵當銀行 昭和六	二四E	二八	一
同	二四E	二九	一
第三冊 世界經濟不況の過程並びに様相 昭和七	二四E	二二	一
同	二四E	二四	一
第四冊 手形法國際統一と我商法の改正 (改正手	一五J	六	一
の解) 昭和六 越智昌三著			
第五冊 金本位制の職能 ムリナルスキー編 昭	八P	一九	一
第六冊 國際聯盟全委員會最終報告書 和七	八P	一四	一
同	八P	三六	一



政治、外交 (國際問題)

第七冊 世界經濟概観 一九三二、一九三三年

國際聯盟金委員會最終報告書 國際聯盟事務局東京支部刊 昭和七 (國際聯盟經濟叢書第六冊)

同

國際聯盟規約 國際聯盟事務局東京支部刊 昭和二  
英佛和 國際聯盟規約 國際聯盟協會編 昭和三(國  
文對譯) 國際聯盟協會パンフレット第七  
七輯)

日英佛 國際聯盟規約 國際聯盟協會編 大正一三  
對照 國際聯盟協會パンフレット  
第四七輯)

國際聯盟規約論 立作太郎著 昭和七

國際聯盟講評 信夫淳平著 大正九

國際聯盟協會刊行書 國際聯盟協會編

第七號 世界團體の組織について 稻垣守克著 大  
正一〇

第八號 思想の進行と國際聯盟の立場 稻垣守克著  
大正一〇

第九號 日米戦はず 稻垣守克著 大正一〇

國際聯盟協會叢書 國際聯盟協會編

第八二輯 不戰條約論 信夫淳平著 昭和三

國際聯盟年鑑 青木節一編 一九二七—三一

國際聯盟に於ける滿洲事變經過の概要 陸軍省  
調査班編 昭和六

國際聯盟に於ける日支問題議事録 國際聯盟事務  
局東京支部編 昭和七

同

國際聯盟の理想と現實 杉村陽太郎著 大正一〇

國際聯盟入門 大熊眞著 昭和三

國際聯盟理事會並に總會に於ける日支紛争の議  
事經過詳録 國際聯盟事務局東京支部編 昭和七  
(資料第一二五)

國際聯盟政策論 神川彦松著 昭和二(政治ライ  
ブリー第四卷)

國際聯盟支那調査委員會報告書ニ對スル帝國政  
府意見書 外務省編 昭和七

國際聯盟主催軍縮會議の經過 國際聯盟事務局東  
京支部編

國際勞働立法 淺利順四郎著(社會經濟體系第一〇  
卷)

國際債務問題 橫濱正金銀行調査課編 大正一二

國際通貨經濟會議議題 國際聯盟事務局東京支部  
編 昭和八(資料第一四〇號)

滿洲事變と不戰條約國際聯盟 松原一雄著 昭和  
七

滿洲に於ける調査委員會と滿鐵 渡邊諒編 昭和  
八(滿鐵國聯調査記録第一編)

日支紛争に關する國際聯盟調査委員會の報告  
外務省譯 昭和七

N

同

M

同

P

パンフレット 國際聯盟協會編

第三八輯 我國の震災に對する諸外國の同情と震  
災に關する諸名士の所感 大正一二

第七七輯 英佛和 國際聯盟規約 昭和三  
文對譯 國際聯盟規約 昭和三

聯盟退關係諸文書 國際聯盟協會刊 昭和八

聯盟を脱退したら日本はどうなる? 東京日日新  
聞社編 昭和八

聯盟政治の現勢 國際聯盟事務局編 昭和六

リットン報告附屬書 國際聯盟協會刊 昭和八

リットン報告書 朝日新聞社刊 昭和七

李頓報告書批判 中日問題研究社編 民國二一

リットン報告書に對する帝國政府意見書 國際聯  
盟協會刊

リットン報告書の経緯 太平洋問題調査會編 昭和  
八

倫敦軍縮會議と日本 小旗和輔著 昭和四(文明協  
會ライブラリ)

ロンドン會議統帥權問題 第一線同盟編 昭和五

最近國際思想史 淺野利三郎著

世界經濟會議の檢討 深澤甲子男、千早健三郎共著  
昭和八

世界農業恐慌(附國際農業  
抵當銀行 國際聯盟事務局東京支部  
編 昭和六(國際聯盟經濟叢書第二冊)

同

政治、外交 (國際問題)

R

聯盟退關係諸文書 國際聯盟協會刊 昭和八

聯盟を脱退したら日本はどうなる? 東京日日新  
聞社編 昭和八

聯盟政治の現勢 國際聯盟事務局編 昭和六

リットン報告附屬書 國際聯盟協會刊 昭和八

リットン報告書 朝日新聞社刊 昭和七

李頓報告書批判 中日問題研究社編 民國二一

リットン報告書に對する帝國政府意見書 國際聯  
盟協會刊

リットン報告書の経緯 太平洋問題調査會編 昭和  
八

倫敦軍縮會議と日本 小旗和輔著 昭和四(文明協  
會ライブラリ)

ロンドン會議統帥權問題 第一線同盟編 昭和五

最近國際思想史 淺野利三郎著

世界經濟會議の檢討 深澤甲子男、千早健三郎共著  
昭和八

世界農業恐慌(附國際農業  
抵當銀行 國際聯盟事務局東京支部  
編 昭和六(國際聯盟經濟叢書第二冊)

同

同

T

戰爭はしないで済む 稻垣守克著 大正一〇

資本主義安定の最新現象と國際狀勢について  
ブハリン、スターリン共著 鳥海篤助譯 昭和三  
資料 國際聯盟事務局東京支部

第一二五、一二九號 國際聯盟理事會並に總會に  
於ける日支紛争の議事經過詳録二、  
三一—一九三二

第一四〇號 國際通貨經濟會議々題 昭和八

新統一手形法諸條約正文 大橋光雄譯 昭和六

太平洋會議に就て 副島道正著 昭和四(東亞小冊  
第三)

太平洋問題 米田實著 昭和四(第二朝日常識講座  
第一卷)

太平洋問題(一九二九年) 新渡戸稻造編 昭和五

太平洋問題之解剖 葛綏成編 民國二

帝國委任統治關係文書 外務省條約局編 昭和八

通貨經濟會議の顛末 日本國際協會刊 昭和八

通商障礙調査資料 國際商業會議所日本國內委員會  
編

同



第六門 經濟及社會問題



# 第六門 經濟及社會問題

## 一 經濟

### (一) 經濟原論

部	號	冊
五 E	三	一
八 E	二〇	一
八 E	二〇	一
八 E	二〇	一
三 E	六	一
三 E	六	一
三 E	六	一
一五 E	六	一
一八 E	九	一
九 E	一〇	一
一八 F	九	一
一四 E	三	一

經濟及社會問題 (經濟原論)

### C

分業論 高田保馬著 大正二 (法律學經濟學研究叢書第一三)	八 E	二八	一
文化價值主義の經濟哲學 杉村廣藏著 昭和八 (經濟學全集第九卷)	一八 E	二〇	九
分配の理論 岸本誠二郎著 昭和八	三〇 E	四	一
分配論 カアバア著、大山千代雄譯 大正一四	三三 E	一五	一
分配論 クラーク著、林要譯 大正一四	三五 E	九	一
ブルジョア經濟學批判 小林良正編 昭和三 (ス作集第四卷)	一八 E	二〇	一
物財の價值 フェター著、河上肇評釋 明治四四	六 E	九	一
地代論 ロートベルトウス作、山口正吾譯 昭和三 (岩波文庫第二七二—二七四)	一四 M	六	一
同	一八 E	六	一
地代論研究 向坂逸郎著 昭和八	三六 E	三	一
地代思想史 高島素之著 昭和三 (社會科學叢書第一〇編)	一八 E	三六	一
賃銀労働及資本 マルクス著、安倍浩譯 大正一二 (マルクス全集第一〇冊)	九 E	二〇	一
同 昭和三 (世界大思想全集第三〇卷)	一八 E	三	一
賃銀労働と資本 マルクス著、堺利彦、岡田宗司共譯 昭和三 (社會思想全集第六卷)	五 Q	三	一











經濟及社會問題 (經濟原論)

經濟學研究 福田德三著 明治四〇	一〇E	二四	一
同改 大正四	一〇E	一	二
同	一〇E	五	二
同	一〇E	三〇	二
經濟學研究 河上肇著 大正一三	一四E	一六	一
經濟學研究 大西猪之介著 昭和二(大西猪之介經濟學全集第四卷)	一九E	三六	一
經濟學研究法 キエーン著、天野爲之譯 明治三〇	一E	七	一
經濟學研究方法 金井延著 明治四五(經濟全書第六卷第一編)	六E	一八	一
同	一E	一九	一
經濟學講義 福田德三著 明治四〇、四二	一五E	三〇	三
同 明治四二	二E	五	一
同	二E	一〇	一
同	二E	一〇	一
同 明治四三 再版	二E	三	一
同改 第一卷 大正四	一〇E	五	一
同 再版	一〇E	充	一
同 大正一四(經濟學全集第一集)	三E	二九	一

同	三E	一六	一
經濟學講義 神戸正雄著 明治四二	二E	三〇	一
經濟學教科書 福田德三著 明治四四	六E	四	一
同	一〇E	三六	一
同 明治四五 訂正三版	六E	五	一
近經濟學教科書 黒川喜一、谷口彌五郎共著 大正	一四E	八	一
同 大正一三 訂正四版	一五E	四	一
同 大正一四 三訂六版	一六E	五	一
同 昭和二 七版	一七E	七	一
經濟學教程 レーニン著、河野重弘譯 昭和四	六Q	三	一
經濟學教程 レオンチエフ著、小原次朗譯 昭和八	三E	二九	一
經濟學認識論 大西猪之介著 昭和二(大西猪之介經濟學全集第一卷)	九E	一	一
經濟學に於ける若干の哲學問題 二木保幾著 昭和	一八E	九	一
集第九卷)	一〇E	一	一
經濟學の第一原理 ジード著、八太舟三譯 昭和八	三F	一四	一
經濟學之原理 ラルネッド述、浮田和民譯 明治二	四E	一六	一
經濟學の常識 酒井五千太郎編 明治四一	一E	一四	一
同	一〇E	三〇	一

經濟及社會問題 (經濟原論)

經濟學の基礎 スマート著、桐生政次譯 明治三六	一E	九	一
經濟學の基礎概念 メンガー著、山口正太郎譯 大	四E	二〇	一
經濟學の根本概念 河上肇著 明治四三(經濟全書	六E	五	一
同 第一卷第一編)	一〇E	二四	一
經濟學の根本問題(マルクス主義經濟) 共産アカデ	三E	二四	一
野重弘譯 昭和七	三E	二四	一
經濟學の領域及び方法 キインズ著、濱田恒一譯	七E	九	一
第七四)	七E	九	一
經濟學入門(資本論の方) マルクス、レーニン主義	三E	二九	一
義經濟學研究会譯 昭和八	三E	二九	一
經濟學入門 ルクセンブルグ著、佐野文夫譯 大正	三E	二八	一
同 昭和八(岩波文庫第八七五—八七七)	四M	二九	一
經濟學及課税之原理 リカアドオ著、小泉信三譯	四M	九	一
二九五)	四M	九	一
同	四M	二二	一
經濟學及び課税の諸原理 リカアドウ著 吉田秀	三E	一五	一
想思全集第六三)	三E	一五	一
經濟學論攷 福田德三著 大正一〇	三E	三〇	一
同	三E	七	一
同 大正一四(經濟學全集第四集)	三E	一六	一

經濟學說體系 高島素之、安倍浩譯 大正一三、	一四E	七	二
第一卷 價值及價格論	一四E	七	二
第二卷 貨銀論	一四E	七	二
第三卷 資本利子及企業利得論	一四E	七	二
第四卷 地代論	一四E	七	二
第五卷 人口論	二Q	七〇	一
第六卷 租稅論	一四E	七	二
第七卷 貨幣論	一四E	七	二
第八卷 自由貿易及保護關稅論	一四E	七	二
第九卷 經濟恐慌論	一四E	七	二
第一〇卷 社會政策論	二Q	二八〇	一
經濟學說と社會思想 小泉信三著 大正九	四E	二四	一
同	四E	二〇	一
同 大正一〇 五版	三E	二九	一
同 大正一〇 六版	三E	三〇	一
經濟學新講 高田保馬著 昭和四	三E	六	五
第一卷 總說 生産の理論 第二卷 價格の理論	三E	六	五
第三卷 貨幣の理論 第四卷 分配の理論	三E	六	五
第五卷 變動の理論	三E	六	五
同 昭和五、六 二版	三E	六	五
經濟學總論 土方成美著 昭和三(現代經濟學全集	一四E	一六	五
第一卷)	一四E	一六	五



經濟及社會問題 (經濟原論)

經濟學總論	金井延講 (明治大學講義錄)	一E	五
經濟學粹	ラブレ著、牧山耕平譯	四E	五
經濟學大意	津村秀松著	二E	四
同	明治四四 三版	六E	五
經濟學大綱	河上肇著 昭和三 (經濟學全集第一卷)	八E	一〇
經濟學提要	エリ、ウキックウ共著、石澤久五郎譯述	一E	一五
經濟學提要	津田誠一著	三E	二七
同	昭和二	三E	七
經濟學通論	二宮基成著	一E	二二
經濟學通論	小川郷太郎著	二E	一五
經濟學要義	河田嗣郎著	九E	二五
經濟學要論	神戸正雄著	四E	六
經濟原論	天野爲之著	四E	三
經濟原論	フイリッポヰツ著、氣賀勘重譯	二E	七
經濟原論	寶積一著	一E	一〇
經濟原論	井上辰九郎講 (早稻田大學四十一年度講義錄)	二E	四
同	(早稻田大學政治經濟科第二八回講義錄)	六E	三

經濟原論	河上肇著	八E	五
經濟原論	小泉信三著	二E	一
同	昭和六 (現代經濟學全集第二卷)	二E	三
經濟原論	マシヤル著、井上辰九郎譯	二E	一〇
同	明治四一	二E	二
經濟原論	向井鹿松著	九E	三
經濟原論	大西猪之介著	一E	一〇
同	昭和二 (大西猪之介經濟學全集第二、三卷)	一E	一〇
同	昭和三	四E	三
經濟原論	シイガー著、堀川美哉譯	三E	一
經濟原論	田島錦治著	五E	六
經濟原論	(序編第) 高橋誠一郎著	一E	三
同	(一編) 學講義	一E	三
經濟原論	(第一) 高橋誠一郎著	二E	一〇
同	(編) 講義	一E	三
經濟原論	山崎覺次郎講	八E	三
同	訂正再版	一E	三
經濟原論	氣賀勘重撰	五E	三
同	大正三 再版	五E	三

經濟及社會問題 (經濟原論)

同	大正八 五版	九E	一〇
經濟原論	池袋秀太郎著	一E	一〇
同	第七〇編	一E	一〇
經濟汎論	明治三六 (帝國百科全書)	四E	七
同	明治四二 五版	四M	七
經濟法則の論理的性質	左右田喜一郎著	四E	七
經濟價値の精神科學的並に實證研究	武田鼎一著	三E	一五
經濟價値論	加田哲二著	四E	三〇
同	大正一〇	三E	二六
經濟科學概論	ボグダノフ著、林房雄、木村恭一共譯	九M	六
同	昭和五 (改造文庫第一部第七一篇)	三E	三
經濟科學綱要	大野信三著	一六E	三
經濟各論教科書	横山一郎著	一七E	三
同	昭和二三版	一E	二
國民經濟綱要	松井康義著	八E	一七
同	明治三八	一E	二
商業經濟教科書	黒澤次久著	一四E	六
同	大正三	一E	二
經濟恐慌論	高島素之、安倍浩共譯	一三E	一
同	大正一二 (經濟學說體系第九卷)	一三E	一〇
經濟入門	一名生産 道案内	一三E	一〇
同	小幡篤次郎譯	一三E	一〇
同	明治一〇	一三E	一〇

テギョット	經濟及租稅原論	三E	一八
リカアドオ	經濟學	一E	一〇
古典叢書		一E	一〇
經濟理論の心理學的基礎	高垣寅次郎著	一E	一〇
同	(經濟學全集第五卷)	一E	一〇
經濟纂論	大島貞益著	一E	一〇
同	明治三三	一E	一〇
經濟生活の原理	竹村豐太郎著	一E	一〇
同	昭和二三	一E	一〇
經濟生活の理論	土方成美著	一E	一〇
同	大正一五	一E	一〇
經濟私言	河津暹著	一E	一〇
同	大正元	一E	一〇
經濟心理の研究	米田庄太郎著	一E	一〇
同	大正九 三版	一E	一〇
經濟小學	イリス著、神田孝平譯	一E	一〇
同	慶應三	一E	一〇
經濟初步	和田信郎、鬼頭悌二郎合著	一E	一〇
同	明治一五	一E	一〇
經濟大意	田尻稻次郎著	一E	一〇
同	明治三一	一E	一〇
經濟的文化と哲學	野村兼太郎著	一E	一〇
同	大正九	一E	一〇
同	大正一〇 改版 四版	一E	一〇
經濟的的道德主義	スミス著、田中達、蒲生治郷共譯	一E	一〇
同	大正七 (大日本文明協會第四期刊行書第三卷)	一E	一〇



經濟及社會問題 (經濟原論)

經濟的財價値の基礎理論	パウエル著、長守善譯	昭和七(岩波文庫第八五八、八五九)	二四M	二六	一
經濟哲學	アルガコフ著、島野三郎譯	昭和三	三E	四	一
經濟哲學	二本保幾著(社會經濟體系第一卷)		三E	一	一
經濟哲學の問題	左右田喜一郎著	大正五	一E	一〇	一
經濟哲學の諸問題	左右田喜一郎著、大正八(三版)		九E	四	一
同	左右田喜一郎論文集第一卷		九E	四	一
同	大正一一 改刷		三E	一〇	一
經濟要論	上 ポールガール著、横山正修譯	明治三	一E	一五	一
經濟要論	下 同上		一〇E	二四	一
經濟全書	神戸正雄編	明治四三			
第一卷 經濟原論					
第一編 經濟學の根本概念(河上肇)					
第二編 生産論(田島錦治)					
第三編 消費論(津村秀松)					
第四編 交易論(氣賀勳重)					
企業形態論	リーフマン著、増地庸治郎、横原覺共譯	大正一一	八E	三三	一
同	昭和二 四版		三E	三三	一
企業形態論	リーフマン著、志摩象雄譯	大正一一	三E	三	一
企業論	シュモラー著、増地庸治郎譯	大正一〇	三E	七	一
同改	大正一五		二E	三三	一
企業論	坂西由藏著	明治三七(經濟學經濟史論叢	一E	三	一

同	明治三八 訂正再版		二E	一四	一
勤業理財學	マルシャル著、高橋是清譯	明治二一	三E	二五	一
金利生活者の經濟學	ブハーリン著、小林良正譯	昭和三(スターリン、ブハーリン著作集第四卷)	一八E	一〇	一
全金融資本論	ヒルファディング著、林要譯	昭和	一E	一〇	一
同	昭和六(社會思想全集第一五卷)		五Q	五	一
金融資本と帝國主義	猪俣津南雄著	昭和四(經濟學全集第二六卷)	一八E	一〇	一
交易論	氣賀勳重著	明治四三(經濟全書第一卷第四編)	一〇E	二四	一
同			六E	三	一
國富論	スミス著、青野季吉譯	昭和三、四(世界大思想全集第一、一二)	一八E	四	一
國富論	スミス著、氣賀勳重譯	大正一五(經濟學古典叢書)	一七E	一四	一
同	昭和二(岩波文庫第一六一)		一四M	六	一
國富論	スミス著、竹内謙二譯	昭和六(改造文庫第一部第一三篇)	一九M	二二	一
國民經濟概論	田中穂積著	大正六	八E	一〇	一
同			四E	一〇	一
國民經濟學	フックス著、安倍浩譯	大正九	四E	一〇	一
同			七E	一〇	一
國民經濟學	フックス著、坂西由藏譯	昭和三	一八E	一〇	一
國民經濟學原理	高橋誠一郎編	明治四四	八E	七	一

經濟及社會問題 (經濟原論)

同			九E	三九	一
同			三E	七	一
國民經濟學原論	木岡永次郎著	昭和二	一七E	三	一
國民經濟學原論	シュモラー著、山田伊三郎譯	大正三	八E	五	九
第一冊 概論					
第二冊 要素					
第三、四冊 組織					
第五、七冊 運營					
第八、九冊 總覽					
國民經濟學原論	津村秀松著	明治四〇、四二 再版	二E	一〇	二
同	明治四一、四二 一、三版		二E	二五	二
同	明治四〇、四二 一、四版		六E	七	二
同	明治四五 七版		六E	九	二
同	大正三 訂正増補		八E	一四	二
同	大正一一 訂補		九E	三三	二
同			八E	二五	二
國民經濟原論	福田德三著	大正一四(經濟學全集第一集)	一三E	一	一
同			一三E	一	一
同			一三E	一	一
同			二E	一	一

同			二E	一〇	一
國民經濟原論	ビックハン著、前田稔靖譯	昭和七	三E	二九	一
國民經濟原論	服部文四郎著	大正一四	一六E	一六	一
國民經濟講話	福田德三著	大正六一八	四E	一〇	三
乾、國民經濟講話	五刷	坤一、勞働經濟講話 再刷			
同	大正六、七、九 四、三、九刷		四E	一〇	三
同	大正六一八 五、三、八刷		四E	一〇	三
同	大正六、七 五刷		四E	一〇	三
同	大正一〇 改訂増補 四版		四E	一〇	三
同			四E	一〇	三
同	大正一四(經濟學全集第二集)		一三E	一〇	一
同	二版		一三E	一〇	一
國民經濟の進歩(經濟原論)	氣賀勳重著	昭和七	三E	一〇	一
國民經濟の組織及發達	河津運著	大正七	一〇E	二〇	一
アモン經濟學	勝田貞次著	昭和三	一七E	一五	一
說紹介及び研究	國民厚生學		一三E	一〇	一
國際經濟論	服部文四郎著	大正五	一三E	一〇	一
國際經濟總論	堀江歸一著	昭和四(堀江歸一全集	一八E	一〇	一



經濟及社會問題 (經濟原論)

この後の者にも (ラスキン著、西本正美譯 昭和三  
 (岩波文庫第三三三、三三四) 一四M 七  
 一  
 根本概念雜篇 福田德三著 大正二四 (經濟學全集  
 第四集) 二二E 二六/四  
 一  
 同 大正一五 五版 二二E 二六/四  
 一  
 高等經濟原論 ミル著、天野爲之譯 明治二七 三  
 一E 二四  
 一  
 クロボトキンの經濟學說 原名田園、工  
 キン著、中山啓譯 大正九 四E 一九  
 一  
 恐慌學說 昭和七 (經濟學全集第一四卷)  
 一八E 二〇/四  
 一  
 恐慌に關する諸學說 谷田吉彦著 昭和七 (經濟學  
 全集第一四卷) 一八E 二〇/四  
 一  
 恐慌論 パートン著 古仁所豐譯 明治四三 (大日  
 本文明協會第一期刊行書第二七卷) 五E 五  
 一  
 同 明治四五 再版 一九E 二七  
 一  
 恐慌論 近藤年彦著 昭和三 (通俗近代經濟叢書第  
 七編) 一八E 二〇/四  
 一  
 恐慌と金問題 水川透著 昭和七 (經濟學全集第一  
 四卷) 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス學解說 高島素之著 昭和三 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス價值論の排撃 土方成美著 昭和二 一七E 五  
 一  
 同 一九E 二四  
 一  
 マルクス價值論の社會的内容 ベートリ著、友岡  
 (社會思想叢書第四編) 久雄譯 大正一五 一三E 三二  
 一

マルクス價值論の終焉 バグエルク著、神永文三  
 撰叢書第一〇編) 譯 昭和二 (マルクス思  
 マルクス經濟學 高島素之著 昭和四 (現代經濟學  
 全集第四卷) 二二E 二六/四  
 一  
 マルクス經濟學 ウンタアマン著、山川均譯 大正  
 一〇 四E 三三  
 一  
 同 昭和二 (マルクス主義叢書第二卷) 一八E 二〇  
 一  
 マルクス經濟學入門 カウツキー著、石川進十郎譯  
 大正一四 (新學說大系第九卷) 三三E 一八〇  
 一  
 マルクス經濟學說の發展 河西太一郎等著 昭和  
 二六、二七卷) 四、六 (經濟學全集第  
 二六、二七卷) 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス經濟學大綱 ホルハルト著、田中九一譯  
 一部第一〇六篇) 昭和八 二六版 (改造文庫第  
 同 大正一五 再版 (社會思想叢書第一編) 一九M 二〇  
 一  
 マルクス研究 福田德三著 大正一四 (經濟學全集  
 第四集) 一三E 三三  
 一  
 マルクスのロビンソン物語 大熊信行著 昭和四 三三E 二六/四  
 一  
 マルクス資本論 ホルハルト編、水谷長三郎譯 昭  
 和二 一七E 九  
 一  
 註 解 マルクス資本論 ローゼンベルグ著、直井武夫譯  
 昭和六 三三E 二四  
 一  
 マルクス資本論の展開 カイン著、小栗慶太郎譯  
 昭和二 (マルクス思想叢  
 書第四編) 一八E 七  
 一  
 マルクス資本論略解 河上肇著 大正一四 四版 二六E 五  
 一  
 マルクス主義經濟學 河上肇著 昭和五 (改造文庫  
 第一部第四九篇) 一九M 二〇  
 一

M

マルクス主義經濟學の基礎理論 河上肇著 昭和  
 第八卷) 四 (經濟學全集 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス主義經濟學大綱 エンゲルス著、遠田吉  
 五郎譯 昭和三 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス主義の根本問題 プレハノフ著、入江  
 武一譯 昭和五 (マル  
 クス主義の旗の下に) 文庫) 三三E 五  
 一  
 マルクス主義の根本問題 プレハノフ著、木村春  
 海譯 昭和三 (マルク  
 ス主義叢書第二卷) 一八E 二〇/四  
 一  
 マルクス主義の根本問題 プレハノフ著、恒藤恭  
 譯 大正一〇 四E 三三  
 一  
 マルクス全集 マルクス著、高島素之譯 大正二、  
 三 九E 二六  
 一  
 第一一九 資本論 一一三 資本の生産行程 四一六 資本の流通行程  
 七上下一九 資本制生産の總行程  
 第一〇 經濟學批判 (佐野學譯) 價值價格及利潤 (安倍浩譯)  
 賃銀労働及資本 (同) 自由貿易論 (同)  
 第一一 神聖家族 (河野密譯)  
 マーシャルに據る經濟學講義 佐原貢臣著 昭和 三三E 一八四  
 一  
 麻氏財理學 アクレオッド著、赤坂龜次郎譯 明治 三三E 四  
 一  
 メンガーの高位價值論と利子及利潤論 荻山健  
 吉著 昭和八 (商研パンフレット第一號) 三六E 九  
 一  
 民間經濟錄 福澤諭吉著 明治一〇 二二 八〇  
 一

經濟及社會問題 (經濟原論)

同 明治一三 三版 二五 二五  
 一  
 同 明治二五 三版 九E 七  
 一  
 同 大正六 一八E 二七  
 一  
 同 明治三一 (福澤全集卷四) 一M 一  
 一  
 同 大正一四 九M 元/四  
 一  
 同 二〇M 三/四  
 一  
 同 同二 明治一三 二〇 三三/四  
 一  
 同 同 民富邁言 二五 一五  
 一  
 同 民富邁言續 H 二四  
 一  
 同 三つの經濟學 ゾムバルト著、小島昌太郎等譯 昭 三六E 一六  
 一  
 同 日本經濟の基礎構成 勝田貞次著 昭和二 三六E 九  
 一



經濟及社會問題 (經濟原論)

一三六

日本經濟論 田口卯吉著 昭和五 四〇版(改造文庫第一部第二三篇) 一九M 三四

農地價格論 松本正幸著 昭和九 三〇E 二〇

農業經濟學 河田嗣郎著 昭和二 第六版 一九E 五

農業理論的發展 河西太一郎著 昭和四(經濟學全集第二六卷) 一八E 二七/六

農本主義 加藤一夫著 昭和八 三三E 二五

基督教精神 歐米資本主義經濟 請川健藏著 昭和四 三三E 五

より觀たる 歐米資本主義經濟 請川健藏著 昭和四 三三E 五

壘國學派の價值學說 波多野鼎著 昭和四(價值學說史第二卷) 三三E 二

歐氏經濟論 チャーカー著、栗田宗次、山本淳吉共譯 明治三一 二二E 八

同 一E 一五

壘太利學派經濟學 荒木光太郎著(社會經濟學體系第一卷) 二六E 一

P プレブス經濟學 リーグ編、田所輝明譯 昭和五 一九M 六

レニンの辯證法的唯物論 アボリン著、塚本三吉譯 大正一四 三三E 二四

勞働賃銀制 瀧本誠一著 大正九(社會度の改良案 利益分配法 叢書) 四E 二七

同 一〇〇三 二七

リカアド アモン著、阿部勇、高橋正雄共譯 昭和 一七E 一五

リカアド批判 マルクス著、杉田欣一譯 昭和三 一八E 五

リカアド價值論の研究 森耕二郎著 昭和二 一七E 四

リカアドウの價值論及其批判史 堀經夫著 昭和 二E 三

リカアド經濟學 デール著、鷺野準太郎譯 大正 二〇E 二四

理論經濟學概説 レイテラー著、有澤廣巳、大森義太郎共譯 大正一五 二六E 九

理論經濟學叢書

第二編レオン、ワ純粹經濟學入門 早川三代治譯 昭和六 二四E 四

理論經濟問題 神戶正雄著 大正一〇(財政經濟及社會叢書第三册) 四E 三六

李氏經濟論 リスト著、大島貞益譯 明治二二 二四E 元

勞賃價格及利潤 マルクス著、河上肇譯 大正一〇 四E 三五

同 昭和二(岩波文庫第二二二) 二四M 五

同 昭和二 六版(マルキシズム叢書第五册) 一八E 四

勞働價值論の擁護 ヒルファディング著、塚本三吉譯 昭和五(改造文庫第一部第六五篇) 一九M 三二

勞働經濟講話 福田德三著 大正七 再刷(國民經濟講話前册) 四E 九

同 大正七 四刷 四E 九

同 四E 九

同 四E 九

流通經濟講話 福田德三著 大正一四 三版 三E 二七

S

同 大正一四 九版 一三E 一四

最近獨逸經濟學說 阿部秀助著 大正一四(經濟學講義) 一六E 六

最近經濟論 田島錦治著 明治三〇 再版 一E 二八

同 明治三一 四版 一E 一五

同 明治三五 九版 二E 一四

最近の經濟學思潮 ホネツガー著、安倍浩、谷口武彦共譯 昭和二(中外文化協會定期刊行書第一六刊) 三三E 二六

最新經濟學 杉程次郎著 大正一二 二二E 五

最新經濟論 夏秋龜一著 明治四二 一〇版 六E 八

産業貿易論 マーシャル著、佐原貴臣譯 大正一二 二四E 五

政治及經濟 カニンングハム著 明治二七(日新叢書第五卷) 二二E 二

生の經濟哲學 高木友三郎著 昭和八 三三F 四

生産論 田島錦治著 明治四三(經濟全書第一卷第二編) 一〇E 二四/一

同 六E 四

正統學派經濟學說研究 津田誠一著 大正一五 一六E 一三

正統學派の價值學說 波多野鼎著 昭和三(價值學說史第一卷) 三三E 九/一

正統派經濟學 アモン著 昭和四(社會科學叢書第二五編) 一八E 三〇

同(社會經濟體系第一卷) 一六E 一

經濟及社會問題 (經濟原論)

一三七

世界經濟學の要求と其意義 阿部秀助著 五E 三〇

セリグマン氏經濟原論 セリグマン著、石川義昌譯 大正三 三版 八E 二

社會經濟學 ジード著、安藤忠義譯 明治四三(大社會學叢書第一卷) 二Q 八

同 明治四五 再版 四Q 八

社會經濟學 金井延著 明治三五 二E 一〇

同 明治三六 訂正再版 二E 一〇

同 明治四〇 九版 八E 一

同 明治四〇 一〇版 五E 一

社會經濟學原論 カッセル著、大野信三譯 大正一〇 二七E 一

同 昭和四(堀江歸一全集第一〇卷) 一八E 二

社會經濟論 北澤新次郎著 昭和五 三三E 二

社會經濟新原理 武田鼎一著 昭和六 再版 二四E 九

解社會主義と資本主義の識婦人 ショウ著、加藤朝說譯 昭和四 五Q 二

資本蓄積論 ルクセンブルグ著、益田豐彦、高山洋吉共譯 昭和二 一七E 一

同 昭和四(社會思想全集第一四卷) 五Q 一

資本蓄積再論 ルクセンブルグ著、益田豐彦等共譯 昭和四(社會思想全集第一四卷) 五Q 一







經濟及社會問題 (經濟原論)

一四〇

富の理論の數學的諸原理に關する研究	クルノ	一六E	一六	一
山伊知郎譯 昭和二(内外經濟學名著第四册)				
富の創造	ロックウツド著、大日本文明協會譯	四E	二〇	一
卷)				
六(大日本文明協會第四期刊行書第二三				
四)はれたる經濟學	大西猪之介著	九E	一五	一
大正九 再版				
統制經濟の基本理論	武田鼎一著	六E	一六	一
昭和八				
通俗資本論	ホルハルト著、水谷長三郎譯	三E	一四	一
三				
同 昭和六(社會思想全集第二〇卷)				
五Q				
通俗資本論	博洽德編 李李譯	八E	一八	一
民國一五				
U				
ウイザー社會經濟理論	古屋美貞著	六E	一五	一
昭和八				
世渡の杖一名經	ウエラント著、瓊江何譯	二五	三〇	二
經濟便蒙				
唯物論と經驗批判論	レーニン著、佐野文夫譯	三E	三六	一
昭和				
唯物論と經驗批判論	二(レーニン著、山川均譯)	五Q	三九	一
昭和				
唯物論と經驗批判論	三(社會思想全集第九卷)	五Q	三九	一
昭和				
唯物史觀	ブハーリン著、廣島定吉等譯	二六F	一八	一
(スターリン、ブハーリン著作集第二卷)				
昭和				
唯物史觀	中國青年社編	八E	一五	一
年社叢書第二種)				
唯物史觀批判	バラノウスキイ著、水谷長三郎譯	三E	一七	一
大正一四				
唯物史觀解説	ゴルテル著、堺利彦譯	三E	一七	一
大正一三				
同 大正九(レット、カヴァ叢書第二編)				
四E				
唯物史觀研究	河上肇著	三E	一四	一
大正一〇				

(二) 經濟學史及經濟史

A				
アダム・スミスの經濟思想	谷口彌五郎著	三E	一六	一
一二				
同 大正一三 増補改訂 四版				
アダム・スミスの國債租稅並自由貿易論に關する研究	堀江歸一著 昭和四(堀江歸一全集第一〇卷)	八E	二九	一
アダム・スミス生誕二百年記念號	理財學會編	四E	一六	一
大正一二				
同				
アダム・スミス生誕二百年記念論集	東京商科大編輯所編	四E	一六	一
大正一二(商學研究第三卷第一號)				
同				
安藝領鹽田記録(大阪御番所留書) 寫本		四E	一六	一
アメリカ繁榮史論	パーカー著、山口貞孝譯	三H	三三	一
五(世界興亡史論第一九卷)				
アメリカ株式恐慌と其後の發展	フィッシャー著、高泰雄共譯	三E	三〇	一
昭和七				
アメリカ經濟史	丸岡重堯著	八E	二〇	一
第二九卷)				
亞米利加經濟史講話	フォークナー著、佐藤精一譯	三E	三三	一
昭和八				

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

一四一

Z				
同 大正一一 九版				
同 大正一三 二〇版				
唯物史觀の改造	バラノウスキイ著、高島素之譯	三E	二〇	一
大正一三(新學說大系第一册)				
唯物史觀のために	福本和夫著	八E	一五	一
昭和三				
唯物史觀淺釋	劉宜之著	八E	一五	一
民國一六 五版				
財界學	勝田貞次著	三E	一七	一
大正一二 再版				
財産の進化	ラファルグ著、高島素之譯	三E	二六	一
(新學說大系第一二卷)				
ゴド財産論	ゴドキン著、岩城忠一譯	三E	一七	一
大正一二				
續經濟學研究	福田德三著	八E	一七	一
大正二				
續經濟學講義 第一編	福田德三著	六E	一五	一
流通總論				
大正二				
同				
俗流經濟學の批判	マルクス著、菱美憲譯	八E	一六	一
(マルキシズム叢書第一三册)				

B				
アメリカ資本主義發達史	石濱知行著	三H	一六	一
昭和五				
青木昆陽集	青木昆陽著	二七M	一〇	一
第一卷)				
東瀛	海保青陵著	九M	一〇	一
三卷)				
同 昭和四(日本經濟大典第二七卷)				
九E				
同				
輓近價值學說史	チュールジョン父子共著、山下芳一譯	三E	一六	一
大正一三				
米價變動史	石原保秀著	三E	一六	一
大正三				
米價記	柴田善伸著	九M	一〇	一
七卷)				
同 寫本				
米國經濟學の史的發達	古屋美貞著	三E	一六	一
昭和七				
米國信託會社發達史	ペリン著、河田正義譯	八E	一五	一
大正				
今米錢考		二〇	一六	一
武家時代社會の研究	牧野信之助著	九E	一三	一
昭和三				
佛教經濟思想研究	友松圓諦著	三F	一四	一
昭和七(佛教社會科學研究叢書第一編)				
文化六年大松澤丹宮様江奉申上候書付	山片小右衛門著	九M	一〇	一
大正一五(近世社會經濟叢書第五卷)				
地代學說の發展	今村武雄著	四E	一〇	一
昭和六(三田同學會モノグラフ第二輯)				



經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

地代論	リカルド著、高島素之、安倍浩共譯	大正一三(經濟學說體系第四卷)	四E	七	一
地代思想史	高島素之著	昭和三(社會科學叢書第一〇編)	八E	二六	一
町人考見録	三井高居著	昭和四(日本經濟大典第一二二卷)	九E	一	一
同			二E	九	一
同	(徳川時代商業叢書第一)		六E	二六	一
朝鮮經濟史	猪谷善一著	昭和三(經濟生活研究第三篇)	八E	七	一
朝鮮社會經濟史	白南雲著	昭和八(經濟學全集第六一卷)	七E	二六	一
同			八E	二〇	一
中國近代經濟發展史	侯厚培著	民國二一(近代經濟叢書一)	三〇E	七	一
中國商業史	陳燦編	民國一四	三〇E	七	一
中國財政史略	徐式莊著	民國一五(學藝叢刊一一)	三〇E	四	一
中世寺院法と經濟思想	山口正太郎著	大正一四	三三E	二〇	一
中世教會法的徵利論考	打村鐵三著	昭和二	三三E	二〇	一
中世ヨーロッパ經濟史	坂西由藏著	昭和八(經濟學全集第二八卷)	八E	二〇	一
大英商業史	レブイー著、田口卯吉譯	明治一二	二E	五	一
大日本産業事蹟	大林雄也編	明治二四	四E	二七	一
大日本農牧林業及物産	附運輸 大林雄也編	明治産業事蹟 通二四	四E	二九	一

田園地方紀原	朝川善庵著	明治二五(少年必讀日本文庫第一二編)	H	二〇	一
同			九E	一	一
同	大正五(日本經濟叢書卷二一)		九E	一	一
同			一五E	一	一
同			一六E	一	一
同			一〇E	一	一
同			一九E	一	一
同	昭和四(日本經濟大典第三三卷)		一九E	一	一
同			二E	一	一
田畝里程考	黒田玄鶴著	大正四(日本經濟叢書卷一九)	九E	一	一
同			二E	一	一
同			二E	一	一
同	大正一四		一〇E	一	一
同			一九E	一	一
同	昭和四(日本經濟大典第二九卷)		二E	一	一

田賦考	昭和五(日本經濟大典第三八卷)	一九E	一	一	
同		二E	九	一	
田制派源考	日吉偉三著	大正五(日本經濟叢書卷二一)	九E	一	
同		二E	九	一	
同		一九E	一	一	
同	昭和四(日本經濟大典第三三卷)	二E	九	一	
同		二E	九	一	
田租考	栗原柳庵著	大正五(日本經濟叢書卷二一)	九E	一	
同		二E	九	一	
同		一九E	一	一	
同		二E	九	一	
同	昭和四(日本經濟大典第三三卷)	二E	九	一	
同		二E	九	一	
獨逸行商人制度の研究	露國大蔵省編 中村禧、太田三孝共譯	大正一二(滿鐵調査資料第一編)	四E	二四	一

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

ドイツ經濟史	石濱知行著	昭和四(經濟學全集第二九卷)	一八E	二〇	一
獨逸經濟思想史	小林良正著	(社會經濟體系第二卷)	一八E	二〇	一
獨逸經濟思想史	加田哲二著	昭和六	二四E	四	一
獨逸經濟史要	小林良正著	昭和四(社會科學叢書第一四編)	一八E	二七	一
ドイツ農民戰爭	エンゲルス著、西雅雄譯	昭和二(マルクス、エンゲルス政治論叢書)	一八E	二七	一
獨逸商工勃興史	文部省編	明治三四	四E	三	一
同			三E	一四	一
獨逸におけるマルクス經濟理論の發展	林要著	昭和六	一八E	二〇	一
江戸實屋會所記録	寫本		六X	一九	一
第一冊 質屋惣代被仰付御觸之寫	質屋中より判形		六X	一九	一
第二冊 質屋月行事帳	第三、四冊 質屋組合帳		一八E	二〇	一
第五冊 質屋月行持順帳	第六冊 質屋仲ヶ間帳		一八E	二〇	一
第七、九冊 質屋集銀控	第一〇、一五冊 諸控		一八E	二〇	一
英佛兩國大小農制に關するアーサー・ヤングの研究	福田德三著	大正一四 五版(經濟學全集第三集)	三E	一	一
英國價值學說史	ライブクネヒト著、八木澤善次譯	昭和三(社會思想叢書第五編)	一八E	一	一
ロツシヤ經濟學史論	十六、十七兩 羅ッシャイシヤイニ於ける	著、杉本榮一譯	一八E	一	一







經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

祕庫器錄	源恒著	昭和四(日本經濟大典第一卷)	三E	九/一	一
寶貨漫文抄	大村成富著	大正五(鼠璞十種第二)	二M	△/二	一
封建制下の農民一揆	田村榮太郎著	昭和八	三〇E	三	一
封建社會の統制と闘争	黒正巖著	昭和三	四E	二	一
本朝地方春秋	三木量平著	大正五(日本經濟叢書卷二〇)	九E	一	一
同			一五E	三/〇	一
同			一六E	一/〇	一
同			一五E	一/〇	一
同			一〇〇三	八/〇	一
同			一九E	一/六	一
同			二E	九/三	一
本田利明集	本田利明著	昭和七(日本大思想全集第一卷)	七M	三/二	一
于鯛問屋記録	寫本		五X	天	二
補宋書刑法食貨志	郝懿行撰	光緒一七(廣雅書局刊)	六	七	一
補宋書食貨志	倪燦撰	光緒二八(史學叢書第二九册)	六	四/元	一
補宋書食貨志	郝懿行輯		五	九	一

J

百姓一揆の研究	黒正巖著	昭和三	一九E	一七〇	一
百姓一揆史談	黒正巖著	昭和四	八E	二〇七	一
イギリス經濟史	野村兼太郎著	昭和四(經濟學全集第二九卷)	八E	一〇七/元	一
イギリスにおけるマルキシズムの運動	伊藤好道著		一八E	一〇七/七	一
昭和六(經濟學全集第二七卷)			一〇E	六	一
石川縣蠶業沿革史	石川縣内務部編	大正四	三〇E	六	一
維新農村社會史論	小野武夫著	昭和七	四E	三三	一
伊太利社會經濟史	山口正太郎著	昭和八(各國社會經濟史叢書第一)	七E	九	一
一致共和對策辨	山片小右衛門著	大正一五(近世社會經濟叢書第五卷)	九M	三/五	一
石見國銀山舊記	大賀吉雄著	昭和二(近世社會經濟叢書第八卷)	九M	三/八	一
奈良朝時代に於ける寺院經濟の研究	竹内理三著	昭和七	三E	一九	一
地方國本録	太田英任著	大正三(日本經濟叢書卷六)	九E	一/六	一
同			五E	三/六	一
同			六E	一/六	一
同			二五E	一/六	一
同			一〇〇三	八/六	一
同			一九E	一/三	一

K

同			三E	九/三	一
地方日用記	寫本		九	一五	二
地方大概集	加藤高文編	明治五	一六	九	五
神社の經濟生活	律令時代	祝宮靜著	四E	一〇	一
時農集	寫本		九	九	一
常平倉の研究	本庄榮治郎著	大正一四	一五E	一〇	一
剩餘價值學說略史	森戸辰男、笠信太郎共著	昭和八(經濟學全集第五〇卷)	一八E	一〇/五	一
重農學派經濟學	山口正太郎著	昭和六	四E	四〇	一
十七世紀和蘭經濟學說一斑殊に商國主義の學說	福田德三著	大正一四	三E	五九/三	一
重商政策發達史	竹内謙二著	昭和七	一五E	一〇	一
重商主義經濟學說研究	高橋誠一郎著	昭和七	一六E	一〇	一
同			二六E	一〇	一
歌舞伎劇の經濟史的考察	山本勝太郎、藤田儀三郎共著	昭和二	九E	一六	一
同			三E	七	一
加賀藩農政史考	小田吉之丈著	昭和四	三E	七	一
開城ノ時邊ニ就テ	尾崎俊甫著	昭和四	三E	四〇	一
甲斐國山梨、八郡村高帳	寫本		一〇七	一五	一
廻船魚船諸用拍	天明	寫本	三	一五	一

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

各國經濟史	野村兼太郎等共著	昭和四(經濟學全集第二九卷)	一八E	一七〇/元	一
各國社會經濟史叢書	章華社編				
第一 伊太利社會經濟史	山口正太郎著	昭和八	七E	一〇	一
第二 英吉利社會經濟史	堀經夫著	昭和九	七E	一四	一
漢代の幣制小史	趙烈著	(支那研究彙錄三〇)	三E	六	一
影唐寫本漢書食貨志	光緒一〇(古逸叢書第三七册)		七	三/七	一
名古屋寶同	顏師古註	昭和三(古典保存會第二期生院本)	一九X	九	一
觀古閣泉說	鮑康著	同治一二	四	六	一
觀古閣叢稿	鮑康著	同治一二	四〇	三	一
廣東十三行圖說	武藤長藏著	昭和六	四E	一六	一
川船御役所諸證文拍	嘉永七年	寫本	九	六	一
經地解義	下坂謙著	大正五(日本經濟叢書卷二一)	九E	一/三	一
同			一五E	三/三	一
同			一六E	一/三	一
同			一五E	一/三	一
同			一〇〇三	八/三	一
同			一九E	一/三	一
同			三E	九/三	一



經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

慶長十六年禁裏御普請帳	大正一三(續群書類從第二五輯上)	三M	二/三五上
經營經濟學の成立	佐々木吉郎著 昭和五	三E	二五
經濟度量	乳井建富著 昭和四(日本經濟大典第一七卷)	九E	一/七
同		二E	九/七
經典穀名考	山田文靜著 大正五(日本經濟叢書卷二一)	九E	一/三
同		一五E	三/三
同		一六E	一/三
同		一五E	三/三
同		一六E	一/三
同		一五E	三/三
同		一〇〇三	一八/三
經濟沿革史	阪谷芳郎講	一四E	三
經濟學考證	福田德三著 大正一〇 改訂	三E	七
經濟學派比較評論	佐々木多門著 明治四〇	一E	一七
經濟學論攷	福田德三著 大正一五 五版(經濟學全集第四集)	三E	二五九/四
經濟學說研究	慶應義塾大學經濟學部編 大正一三	一八E	二〇〇
經濟學說研究	吉田秀夫著 昭和七	六E	五
經濟學說史	シュパン著、鷺野隼太郎譯 大正一五	一六E	八
同	昭和五	三E	一七

經濟學說史研究	山口正太郎著 大正一三	一四E	二〇
經濟學史	濱田健二郎、伊勢本一郎共著 明治二七	九E	一五
經濟學史	イングラム著、米山勝美譯 大正一四	一五E	一
經濟學史	久留間敏造著(社會問題講座)	一七E	一〇五
經濟學史	小川市太郎著 明治四〇(帝國百科全書第一六四篇)	一〇E	三三
同		三E	五
同		四M	一五
同		一八E	二〇
唯物史觀經濟學史	住谷悅治著 昭和三 三版 より見たる經濟學史(社會思想叢書第六編)	一八E	二〇
經濟學史	高橋誠一郎著 昭和四(現代經濟學全集第七卷)	三E	二二
經濟學史概論	波多野鼎著 昭和六	一四E	一五
經濟學史概論	北澤新次郎著 大正一二 五版	一四E	一〇
經濟學史研究	福田德三著 大正一四(經濟學全集第三集)	三E	二六/三
經濟學史研究	高橋誠一郎著 大正九	九E	一五
同		九E	一六
同		一五E	一五
經濟學史の基礎概念	住谷悅治著 昭和六(改造文庫第一部第一〇二篇)	九M	二三
經濟學史要論	堀經夫著 昭和六	一四E	一六
經濟學前史	高橋誠一郎著 昭和四(經濟學全集第二三卷)	一八E	一〇七/三

同 (社會經濟體系第一卷)		一六E	一
經濟五策	大塚昌伯著 昭和五(日本經濟大典第三八卷)	一六E	一
同		三E	九/三
經濟制度と經濟發展	ベルンスタイン著、松下芳男譯 昭和四(社會思想全集第一三卷)	五Q	三
經濟生活の歴史的考察	坂西由藏著 大正一四 三	一五E	九
經濟史	寶積一著 昭和四(通俗近代經濟叢書第一〇編)	一八E	一〇
經濟史	大西猪之介著 昭和二、三(大西猪之介經濟學全集第五一七)	一六E	三六/五七
經濟史概論	石濱知行著 昭和三	一六E	一五
同 (社會問題講座)		一七E	一〇六
經濟史概論	河津暹著(社會經濟體系第二卷)	一六E	一
經濟史概要	栗栖越夫著 大正一三 六版(近世商業經濟叢書)	一三E	一五
經濟史眼	田尻稻次郎著 明治三四	一E	一
經濟史研究	福田德三著 大正一四(經濟學全集第三集)	一三E	一六/三
經濟史研究	本庄榮治郎著 大正九	九E	一三
同		一〇〇三	一五
經濟史研究	經濟史研究會編 昭和四一	三N	七

經濟史研究	野村兼太郎著 大正一五	一六E	二三
經濟史考	本庄榮治郎著 大正一〇	三E	五
經濟史講義	田崎仁義著 昭和二	三E	九
經濟史論考	黒正巖著 大正一二	三E	三
同	大正一三	一八E	九
經濟思想發展史	沖中恒幸著 昭和八	一六E	二五
經濟思想及學說史	小林丑三郎著 昭和二	一七E	一六
經濟史總論	内田銀藏著 明治四五(經濟全書第六卷第五編上)	一六E	一三
同		一E	一〇九
經濟思想史	ヘネー著、大野信三譯 大正一二(社會科學大系第二卷)	一四E	二
經濟思想史	朱通九、金天錫共著 民國二一(國立暨南大學法學院叢書)	一六E	一
經濟思想史論	八木澤善次著 昭和五	三E	三六
經濟史と時事問題	福田德三著 昭和二 三版(經濟學全集第六集下)	一三E	一六/六下
同		一三E	一六/六下
經濟史雜考	福田德三著 大正一四 五版(經濟學全集第三集)	一三E	一五九/三
經濟單位發展史研究	福田德三著 大正一四(經濟學全集第四集)	一三E	一六六/四
同	大正一五 五版	一三E	一五九/四

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)



經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

經濟的文明史論の成立	國民經濟	ビュリアー著、權田保之助譯	大正六	八E	一四
經濟哲學史	ホーナー著、東晋太郎譯	大正一〇	三E	一	
經濟隨筆	橋本敬簡著	昭和七(近世地方經濟史料第一卷)	三E	一	
檢見心得之事	寫本		二四	二	
獻芹微衷	松本胤通著	明治二五(少年必讀日本文庫第一〇篇)	H	〇〇/〇	
權衡度量實驗考	吳大澂著	宣統七	一〇X	五	
ケイザー及タキトスに據る古獨逸土地共有制度			三E	三	
福田德三著	大正一四	五版(經濟學全集第三集)	三E	三	
企業集中論	小島精一著	昭和二(產業統制史編第一分册)	九E	三	
飢饉留	寫本		一〇七	三	
近代資本制發達史	ホブスン著、石井靜人譯	昭和	一七E	一	
近代資本主義發達史論	ホブスン著、住谷悅治等共譯	昭和七(改造文庫第一	一九M	二五	
部第五四、五五篇)			八E	三	
近時の經濟變動	ウエルス著、梅若誠太郎譯	明治	一〇E	六	
書第二四卷)	四二(大日本文明協會第一期刊行		三六E	一	
同			一九E	六	
近世地方經濟史料	小野武夫編	昭和七	三六E	一	
近世ドイツ經濟學史	シュルツ著、住谷悅治、赤間信義共譯	昭和七	三六E	一	
近世封建社會の研究	本庄榮治郎著	昭和五(改造	一九M	毛	
	文庫第一部第四四篇)			一	

近世經濟學說史上	高橋誠一郎著	昭和三(政治ラ	一九E	一四
	イブラリ第一八)			
近世經濟恐慌史論	ハインドマン著、八木澤善次譯	大正一四	三E	一七
近世經濟思想史論	河上肇著	大正九	四E	一六
近世日本農村經濟史論	土屋喬雄、小野道雄共著	昭和八(經濟學全集第五九	八E	〇九/九
卷)				
近世の經濟思想	本庄榮治郎著	昭和六	二四E	一六
近世農村問題史論	本庄榮治郎著	大正一四	三E	一七
近世歐洲經濟史	瀧本誠一述		一五E	一
近世社會經濟叢書	本庄榮治郎編	大正一五、昭和	九M	三
第一卷	世事見聞錄(武陽隱士)			
第二卷	濱方記錄(室谷鐵腸編)			
第三卷	御鹽方一件 御鹽方定式留			
第四卷	御鹽方御觸留 東贖(海保青陵)			
第五卷	薩藩天保度以後財政改革願末書(海老原齋)			
	鹿兒島藩租額事件			
	仁政篇(玉蟲十藏) 可驗錄(櫻田地)			
	古傳密要(萱場李)			
	御財用方全體之儀等品々御奉行衆被御開届取調十ヶ			
	條申達候留			
	一致共和對策辨(山片小右衛門)			
	文化六年大松澤丹宮様江奉申上候書付			

第六卷 檢地訂正御格式(瀧江政光著註)

年々作合生米多少考(新田目道茂)				
政光黑澤道家覺書(瀧江政光著)				
遺言	新田目道茂訂註			
斗代名義考(新田目道茂)				
田法歩尺精辨(同)	四田缺借精術(同)			
田法四六精術(同)				
第七卷	大意書 米價記(柴田善作)			
第八卷	蠶飼絹篩大成(成田思齋) 絲割符由緒書			
	明和天保年中絲高値一件記録			
	桐生市立替并織物之記			
第九卷	石見國銀山舊記(大賀吉菴)			
	西遊雜誌(古河古松軒)			
	四神地名錄(同)			
第一〇卷	作州百姓一揆叢書(矢吹正巳編)			
	高野領民一揆始末(井畑義珍)			
	東武百姓一件			
第一一卷	名野川郷民逃散記(元吉忠八共記)			
	池川用居非常大要記録(毛利治左衛門等編)			
	伊豫吉田藩三間騷動(西園寺源透)			
	安部野童子問(浪華城南隱士)			
第二二卷	東遊雜誌(古河古松軒)			
金錢沿革物價表	西村兼文著	寫本		

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

金融六十年史	三浦徹太郎編	大正一三(東洋經濟	二四E	三五
	叢書第一輯)			
金輸出禁止史(一名金解禁問題)	銀行問題研究会編	昭和四	三E	二
同			二四E	一〇
基督教經濟學說研究	福田德三著	大正一四	三E	一
	(經濟學全集第三集)		二九	三
桐生市立替並織物之記	昭和二(近世社會經濟叢書		九M	八
	第八卷)		一八E	一六
古代支那經濟史	田崎仁義著	昭和八(經濟學全集	一九E	一三
	第二八卷)		二〇E	一
公田說	中井竹山著	昭和四(日本經濟大典第二三	一九E	一
同			二E	九
同	大正一四(續日本經濟叢書第二卷)		一六E	一
同	寫本		五	一七四
黃銅組合沿革誌	森本英樹著	大正一二	一四E	一〇九
蠶飼絹篩大成	成田思齋著	昭和二(近世社會經濟	九M	三
	叢書第八卷)		一八E	一〇七/三
工業及產業發達史	鈴木茂三郎著	昭和五(經濟學	一八E	一
	全集第三一卷)		四E	二四
個人主義經濟學說と其環境	細貝正邦著	大正一	四E	一
	〇再版		三	一
古今米價表	寫本		三	一
ラード國民經濟學史	コンラード著、安倍浩譯	大	四E	二〇
	正一〇		一	一



經濟及社會問題

(經濟學史及經濟史)

國民經濟史	ザイルブランド著、菅野和太郎、四宮恭二共譯 昭和三 再版	一八E	一
國際貿易政策思想史研究	手塚壽郎著 昭和六	二四E	一
光明寺古文書(折本)	足代弘訓校 寫本	五X	一九
今世中國貿易通志	陳重民編 民國一三	三〇六	四
蒿里遺珍	羅振玉編	一〇〇五	二五
考證文書	昭和五(日本經濟大典第四八卷)	一九E	一
同		二E	九/四八
コッサ經濟學史	コッサ著、關未代策譯 昭和五	二四E	一
古典經濟學の哲學的背景	山下芳一編 大正一三	二二E	一
クロボトキンの經濟學說(原名、田園、クロボトキン著、中山啓譯 大正九)		四E	一九
政治書	瀧江政光著、新田目道茂訂註 大正一五(近世社會經濟叢書第六卷)	九M	三/六
郷土經濟史研究提要	小野武夫著 昭和七	三三E	一
恐慌と獨占	小島精一著 昭和三(産業統計史論第一分冊)	一九E	三
京都經濟史研究會紀要	京都經濟史研究會編 第一冊 日本交通史の研究 昭和四 本庄榮治郎編	三E	二五
德川時代の交通概説(本庄榮治郎)			
助郷と農民の生活(大山敷太郎)			
草津宿の助郷に就いて(黒羽兵治郎)			

助郷に基く農民の紛争(黒正巖)			
明治政府の助郷政策(黒羽兵治郎)			
大垣藩百疋傳馬制度(井篁弁)			
姫街道の研究、附氣質の關所について(大山敷太郎)			
大井川の歩渉制度(平松弘)			
番船と清酒取引の慣例(和田篤憲)			
昭和二年及び三年に於ける日本經濟史文獻一覽			
第二冊 明治維新經濟史研究	本庄榮治郎編 昭和五	三E	二五
幕末の新經濟政策(本庄榮治郎)			
會社に關する知識の移植(菅野和太郎)			
幕末の商社(同)			
通商會、爲替會社(同)			
國立銀行(同)			
明治初年の御用金(本庄榮治郎)			
明治政府の貸附金(吉川秀造)			
明治四年の幣制改革(堀江保藏)			
陸運會社の設立及解散(黒羽兵治郎)			
明治政府の士族授産(吉川秀造)			
松方正義公と明治初期の農政(黒正巖)			
明治初期の工業(同)			
明治初年の百姓一揆(同)			
明治初年の宗教的百姓一揆(同)			
明治初期の反動思想(本庄榮治郎)			

M

明治維新經濟史年表			
舊江戸問屋沿革概略	寫本	九	一八
舊佐賀藩の均田制度	小野武夫著 昭和三	一九E	一六
舊宇和島藩の關持制度	小野武夫著 大正一三	二四E	一八
町入用減方御觸留	弘化二年 寫本	壹	一七
漫遊見聞録	農商務省刊 明治二一	八〇	二四
マルサス批判の發展	吉田秀夫著 昭和八	二八E	二九
マルサス及リカルド研究	福田德三著 大正一四	三三E	一
五版(經濟學全集第三集)		一九	三
マルサスと彼の業績	ボナア著、堀經夫、吉田秀夫共譯 昭和五	三E	九
明治維新時代經濟史	猪谷善一著(社會經濟體系第二卷)	六E	一
明治維新經濟史	猪谷善一著 昭和三	七E	一三
明治維新經濟史	高橋龜吉著 昭和五(經濟學全集第三一巻)	八E	二〇/三
明治維新經濟史研究	本庄榮治郎編 昭和五(京都經濟史研究會紀要第二冊)	三E	一五
國家學會創立	明治憲政經濟史論 八 國家學會編 大正三十年記念	五P	五
明治工業史土木篇	石橋純彦等共編 昭和四	三〇E	三
明治工業史鑛業篇	青山秀三郎等編 昭和五	二〇E	五
明治商工史	澁澤榮一撰 明治四四	七E	三
明治大正産業發達史	高橋龜吉著 昭和四	二E	六

經濟及社會問題

(經濟學史及經濟史)

明治前期財政經濟史料集成	改造社刊 昭和六一	二四E	二七
第一卷 理財稽蹟(小菅揆一)			
第二、三卷 松方伯財政論策集(松方正義)			
第四、六卷 大藏省沿革誌(大藏省編)			
第七卷 歳入出決算報告書(大藏省編)			
第七卷 地租改正報告書 地租改正例規沿革撮要			
地租關係書類彙纂			
第一一巻 明治卅年幣制改革始末概要(大藏省編)			
明治年間米價調節沿革史(大藏省理財局刊)			
準備金始末(松方正義編)			
準備金始末參考書(大藏省編)			
紙幣整理始末(松方正義編)			
貨幣制度調查會報告			
同附録(貨幣制度調查會編)			
第一七巻 工部省沿革報告 會計檢査院史(川口嘉編)			
第一八巻 興業意見(前田正名)			
明和御勘定方差遣起原 寫本(長崎經濟書第四)			
明和天保年中絲高直一件記録	昭和二(近世社會經濟叢書第八卷)	九M	三/八
無類三菱會社内幕聞録	師岡國編 昭和四(明治文化全集第二二巻)	一五M	一/三
維新三井家奉公履歷	田中九右衛門編 明治二九	二H	三三
李政談	大正三(日本經濟叢書卷六)	九E	一/六



經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

李政談	大正三 (日本經濟叢書卷六)	一五E	三/六	一
同		一六E	一/六	一
同		一七E	一/六	一
同		一八E	一/六	一
同	昭和四 (日本經濟大典第一七卷)	一九E	一/七	一
同		二〇E	一/六	一
同		二一E	一/七	一
木綿問屋記錄	寫本	二〇E	一/九	六
木綿織物商概略	寫本	一九	一/六	一
木綿通考	吉田敏成著 寫本	一九	一/三	一
長崎經濟書	寫本	一九	一/七	五
長崎正德新例	寫本 (長崎經濟書第一、二卷)	一九	一/三	一
仲方書留		一九	一/七	一
奈良朝時代民政經濟の數的研究	澤田吾一著 昭和二	一九	一/九	一
明治成金没落史	越山堂編輯部編 大正一五 (經濟パンフレット第二輯)	一九	一/七	一
年々作合生米多少考	新田目道茂著 大正一五 (近世社會經濟叢書第六卷)	一九	一/六	一
日本橋魚市場沿革紀要	阪本二三郎著 (徳川時代商業叢書第一)	一九	一/一	一

日本奴隸經濟史	瀧川政次郎著 昭和五	一六E	一/七	一
同		一七E	一/六	一
日本富豪發生學	白柳秀湖著 昭和六	一七E	一/六	一
同		一八E	一/六	一
日本封建經濟史	瀧本誠一著 昭和五	一八E	一/六	一
日本寺院經濟史論	細川龜市著 昭和五	一八E	一/一	一
日本寺領庄園經濟史	細川龜市著 昭和七	一八E	一/一	一
日本貨幣流通史	小葉田淳著 昭和五	一八E	一/一	一
日本會社企業發生史の研究	菅野和太郎著 昭和六	一八E	一/一	一
日本經濟學說の要領	瀧本誠一著 明治四一	一八E	一/一	一
同		一九E	一/一	一
同	昭和五 (改造文庫第一部第二四篇)	一九E	一/一	一
日本經濟學說史資料	野村兼太郎編 昭和七	一九E	一/一	一
同		一九E	一/一	一
日本經濟學史	瀧本誠一著 (社會經濟體系第一卷)	一九E	一/一	一
圖日本經濟變遷大系	日本經濟研究所編 昭和七 改訂版	一九E	一/一	一
日本經濟革命史	白柳秀湖著 昭和四	一九E	一/一	一
日本經濟史	本庄榮治郎、黑正巖共著 昭和四 (現代經濟學全集第六卷)	一九E	一/一	一

同 (社會經濟體系第二卷)		一九E	一/一	一
日本經濟史	石井秀雄著 昭和四 (國體科學叢書第七卷)	一九E	一/一	一
日本經濟史	黑正巖述 (國史講座第六冊)	一九E	一/一	一
日本經濟史	高橋龜吉等共著 昭和五 (經濟學全集第三卷)	一九E	一/一	一
日本經濟史	竹越與三郎著 大正九	一九E	一/一	一
同		一九E	一/一	一
同		一九E	一/一	一
日本經濟史	瀧本誠一著 大正九	一九E	一/一	一
同	大正一〇 三版	一九E	一/一	一
同	六版	一九E	一/一	一
同	大正一二 增補改訂	一九E	一/一	一
同	大正一四 (經濟學講義)	一九E	一/一	一
日本經濟史文獻	本庄榮治郎著 大正一三	一九E	一/一	一
同	昭和八 改訂	一九E	一/一	一
同	昭和一二 改訂	一九E	一/一	一
日本經濟史概論	佐野學著 大正一二	一九E	一/一	一

同	昭和五 (佐野學集二)	一九E	一/一	一
日本經濟史概說	第一 本庄榮治郎著 昭和三	一九E	一/一	一
同	昭和六	一九E	一/一	一
日本經濟史原論	本庄榮治郎著 大正一〇	一九E	一/一	一
日本經濟史研究	幸田成友著 昭和三	一九E	一/一	一
日本經濟史巷話	細貝正邦著 大正一四	一九E	一/一	一
日本經濟史の研究	內田銀藏著 大正一〇	一九E	一/一	一
同	再版	一九E	一/一	一
同	大正一〇 (內田銀藏遺稿全集第一、二輯)	一九E	一/一	一
日本經濟史論	福田德三著、坂西由藏譯 明治四〇	一九E	一/一	一
同		一九E	一/一	一
同	明治四四 再版	一九E	一/一	一
同	大正三 改訂 三版	一九E	一/一	一
同	大正一四 改訂 五版	一九E	一/一	一
同	大正一四 (經濟學全集第三集)	一九E	一/一	一
同	五版	一九E	一/一	一

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)



經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

日本經濟思想史	瀧本誠一著 昭和四 (社會科學叢書第二七篇)	一八E	三二	一
日本經濟史要	栗栖越夫著 大正二三	一三E	七	一
日本經濟典籍考	瀧本誠一著 昭和三	一五M	三	一
日本經濟全史	西内青藍編 昭和四	三E	六	一
第一卷 史料編	神代一欽明			
總叙				
財政に關する史料	土地及戶口に關する史料			
工藝に關する史料	農産に關する史料			
通貨及金銀に關する史料	交通及外交に關する史料			
貸借融通に關する史料	商業及物價に關する史料			
大族及大官に關する史料	雜史料			
經濟及政治年表(神代一皇極天皇)				
日本金融史	石橋湛山著 昭和五 (經濟學全集第三卷)	一八E	二七/三	一
日本金融資本發達史	野村順之助著 昭和六	一四E	六	一
日本古代經濟	西村真次編 昭和八	元E	八	一
交換篇第二册 市場	同第四册 貨幣			
日本農業史序說	小野武夫著 昭和五 (經濟學全集第三卷)	一八E	二七/三	一
日本農業小史	沼田賴輔著 明治三七	一五E	六	一
史的研究 日本ノ經濟ト佛敎	河田嗣郎、岡本一郎共著 明治四五 (法律學經濟學研究叢書第九册)	六E	二九	一
日本農民一揆錄	田村榮太郎著 昭和五	三E	一八	一

法制史上 日本農民の生活	律令 瀧川政次郎著 昭和より觀たる 時代 和	一七E	三	一
日本農民史	柳田國男著 昭和六	三E	一六	一
日本農民騷動史	木村靖二著 大正一四	一九H	六	一
日本農民爭鬭史	木村靖二著 昭和五	六Q	二六	一
日本勞農二千年史	河瀬蘇北著 大正一三	三E	一八	一
日本社會經濟編年史	吉田英雄著 昭和三	一九E	二六	一
日本社會經濟史	本庄榮治郎著 昭和三 (經濟學全集第三〇卷)	一八E	二七/三	一
日本資本主義發達史	野呂榮太郎著 昭和五	三E	二九	一
同 (社會問題講座)		三E	二九	一
日本資本主義發達史	高橋龜吉著 (社會經濟體系第二卷)	一七E	二五	一
日本資本主義發達史序論	森喜一著 昭和七	一六E	二	一
日本商業史	菅野和太郎著 昭和五	三E	四	一
日本財政經濟史料	大藏省編 大正一一、一二	一五E	一〇	一
第一、二、五、六卷	財政之部			
第二、三、六、七卷	經濟之部			
第四、八卷	官制之部			
第四、八、九卷	土木之部			
第四、九卷	交通之部			
第四、一〇卷	戶口之部			
	屬島之部 巡察之部			

O

第一〇卷	拾遺 附錄			
同 一一七	大正一一、一二	三E	一五	七
日本財政史	土屋喬雄著 昭和五 (經濟學全集第三卷)	一八E	二七/三	一
農奴社會史考	細川龜市著 昭和七	一五E	四	一
新農民蜂起譚	小野武夫編 昭和五	三E	一六	一
農民經濟史研究	小野武夫著 大正一三	一四E	一六	一
農民生活の研究	木村靖二著 大正一三	一三E	一〇	一
大分市生石濱之市に關する調査	大分高等商業學校 校商事調査部編 昭和五 (調査報告第五輯)	一四E	四	一
大分縣坂の市町滿弘寺市に關する調査	羽多野徹 片山辨一郎共編 昭和四	三E	元	一
牛津大學經濟學教授候補者としてのW・J・アッシュ	武藤長藏著 昭和六	一四E	一六	一
近江商人事績寫真帖	菅野和太郎等編 昭和五	一四X	三	一
御朱印御物成勘定帳	享和 寫本	三	一六	一
和蘭東印度會社の司法	ロイス著、臺灣總督官房調査課譯 大正一一 (南支那及南洋調査第七八輯)	一四E	一八	一
御鹽方一件	大正一五 (近世社會經濟叢書第三卷)	九M	三	一
御鹽方御觸留	大正一五 (近世社會經濟叢書第三卷)	九M	三	一
御鹽方定式留	大正一五 (近世社會經濟叢書第三卷)	九M	三	一

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

R

歐洲經濟學史	高橋誠一郎述 大正七、九	一〇E	二三	三
同	大正六、七	九E	六	二
歐洲經濟學史	瀧本誠一著 昭和六	一四E	四	一
歐洲經濟史	本位田祥男著 昭和五 (現代經濟學全集第五卷)	三E	二九	一
歐洲經濟史	瀧本誠一著 大正一三 三版	一四E	一六	一
同	昭和二	一七E	二七	一
同	大正一一 (經濟學講義)	八E	一九	一
歐洲資本主義的發展	本位田祥男著 (社會經濟體系第二卷)	一六E	二	一
奧太利學派經濟學	荒木光太郎著 昭和四 (社會科學叢書第一七編)	一八E	一四	一
大山酒造家書類	寫本	一九	一五	一
禮記王制地理圖說	長久保赤水著 大正四 (日本經濟叢書卷一六)	九E	一六	一
同		一五E	一六	一
同		一六E	一六	一
同		一五E	一六	一
同		一〇E	一六	一







經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

正名緒言 同附 菱川大觀著 大正四 (日本經濟叢書 卷一六)

同 昭和五 (日本經濟大典第二三卷)

同 昭和五 (日本經濟大典第二三卷)

同 昭和五 (日本經濟大典第二三卷)

正德配分金 寫本 (長崎經濟叢書第三卷)

西洋經濟史 黑正巖著 昭和五、六 (西洋史講座第一三卷)

慶應義塾創立 西洋經濟思想史展覽會目錄 慶應義塾圖書部編 昭和七

同

同

世界經濟發展論 野村兼太郎著 昭和七 (世界經濟問題叢書第三編)

世界商業史 野村兼太郎著 昭和四

世界商業史要 野村兼太郎著 昭和六 (經濟學全集第三八卷)

仙臺物產沿革 山田揆一著 大正一四 (仙臺叢書別集第二卷)

仙臺藩租稅要略 山田揆一著 大正一四 (仙臺叢書別集第二卷)

仙臺貨幣志 安部定橋著 大正一四 (仙臺叢書別集第二卷)

戰後經濟史 水澤專吉編 明治三二

賤者考 本居内遠著 昭和五 (日本經濟大典第四八卷)

同

同

鮮滿經濟十年史 朝鮮銀行編 大正八

先泰經濟思想史 甘乃光著 民國一五 (國學小叢書)

洗濯屋六軒中宿五十軒請印帳 寫本

聖トマス經濟學 (中世經濟學) 上田辰之助著 昭和八 (史の一文獻)

社會經濟史學 日本評論社刊 昭和六

社會經濟史原論 ウエーバー著、黑正巖譯 昭和二

社會主義經濟的發展 河野密著 昭和四 (經濟學全集第三二卷)

釋幣 王國維著 民國一六 (海寧王忠愍公遺書二集第三册)

近世史現代 濞澤翁の位置 山路愛山著 昭和三 (山史に於ける濞澤翁の位置 路愛山選集第一卷)

質屋小作法内評一件 寫本

志學問答 遠藤泰通著 昭和五 (日本經濟大典第三八卷)

同

重憲筆記 大山重憲著 昭和五 (日本經濟大典第三八卷)

同

資本主義沒落前史 ヴァルガ著、高山洋吉譯 昭和六

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

近資本主義發展史論 ホブソン著、松澤兼人等共譯 昭和三

資本主義以前經濟史 山川均著 昭和四 (經濟學全集第三二卷)

資本主義經濟學の史的發展 河上肇著 大正一二

資本主義の成立とそれ以後に於ける經濟的發展 石濱知行著 昭和四 (經濟學全集第三二卷)

シーザー及タチトスニ依ル古獨逸土地共有制度ニ關スル若干ノ疑問 福田德三著

下京中出入之帳 (續々群書類從第一六輯)

支那ギルドの研究 根岸信著 昭和七

同

支那經濟研究 田中忠夫著 大正九

支那經濟史 加藤繁著 昭和八 (經濟學全集第二八卷)

同 (社會經濟體系第二卷)

支那經濟史研究 田中忠夫著 大正一一

支那古代經濟思想及制度 田崎仁義著 大正一三

支那資本主義發達史 長野朗著 昭和四

歷史之經新史觀 セーリグマン著、河上肇譯 明治三三 (千駄木叢書第二編)

經濟的說明 三八 (千駄木叢書第二編)

白石茂兵衛覺書 白石茂兵衛著 昭和五 (日本經濟大典第三八卷)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同







經濟及社會問題 (經濟學史及經濟史)

山下幸内上書並附論	大正三(日本經濟叢書卷五)	二五E	三/五	一
同	同	一六E	一/五	一
同	同	二五E	一/五	一
同	同	一〇〇三	八九/五	一
同	昭和三(日本經濟大典第一卷)	一九E	一/二	一
同	同	三E	九/二	一
四日市商業會議所三十年史	四日市商業會議所編 大正一二	一三E	六	一
唯物史觀經濟史	昭和四(經濟學全集第三二卷)	一八E	二〇/三	一
唯物史觀經濟史出立點の再吟味前	福田德三著 昭和三	一九E	一九	一
同	同	一九E	三〇	一
唯物史觀研究	ラブリオラ著、木蘇毅譯 (社會科學大系第三卷) 大正一二	一四E	四	一
唯物史觀研究	河上肇著 大正一三 二一版	一四E	一四	一
唯物史觀の改造	バラノウズキイ著、高島素之譯 大正一三(新學說大系第一册)	一三E	一四	一
齋庭の穂	梅辻規清著 大正五(日本經濟叢書卷二)	九E	一/三	一
同	同	一五E	一/三	一
同	同	一六E	一/三	一
同	同	一五E	一/三	一

Z

同	昭和四(日本經濟大典第三三卷)	一九E	一/三	一
同	同	二E	九/三	一
同	明治二四(少年必讀日本文庫第四編)	H	三〇〇/四	一
材木直段書上帳	慶應 寫本	二九	二七	一
材木定價書	藤井直撰 大正六(三十輯第三)	三M	二〇五/三	一
財產起源論	レヴィンスキイ著、貴島克己譯 四(改造文庫第一部第三八篇)	一九M	六	一
財產制度の發達	ラファルグ著、藤田敏三譯 一一(中外文化協會刊行書第一刊) 大正	一三E	三三	一
同	同	一〇〇三	三四	一
財產進化論	ラファルグ著、荒畑勝三譯 (改造文庫第一部第六二篇) 昭和四	一九M	五	一
同	同	五Q	五三/三	一
財政學史	三宅鹿之助著(社會經濟體系第三卷)	一八E	一/三	一
雜記 寫本	同	五	一四	一
雜輯幕府御用書類	(輿中)二宮尊德著 宮尊德全集第三(卷) 生田精編 昭和五(日本經濟大典第五〇卷)	一五M	八/三	一
同	同	一九E	一/三	一
同	同	二E	九/三	一
續泉說	李竹朋著 同治一三(觀古閣叢稿增)	四〇	三	一

(三) 財政

部 號 冊

A 赤字時代の財政諸問題	神戸正雄著 昭和七	一六E	三	一
安徽全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	一〇E	三	一
B 賠償及戰債支拂猶豫問題と世論	昭和六(商工調査第四〇號)	一四E	一七	一
米國クリーヴランド市土地評價法	東京市政調査會譯 大正一三	一五E	一〇三	一
三版(市政調査資料第四號)	同	一〇E	一四	一
米國戰時財政經濟事情	伊藤文吉編 大正七	一〇E	一四	一
米國租稅論	天野爲之著	一〇E	三	一
膨張財政の建設的役割	小島經濟研究所編 昭和九	一七E	二〇	一
物價騰貴ト其ノ抑制方策	特ニ通貨膨脹ニ付テ 大藏省理財局編 大正七	七E	一七	一
豐後國天平九年正稅帳斷簡	後藤碩田著 (一豐郷土史料) 昭和四	一〇H	四	一
C 地方經濟一班	大和田廣治著 明治三五	一E	六	一
地方債統計	大正元 內務省地方局編 大正三一	一三R	六	一
地方債統計年表	大正六 大藏省理財局編 大正八一	一三R	一〇六	一
地方財政	田中廣太郎著 昭和五(時事問題講座六)	一三E	五	一
同	昭和四(經濟學全集第二〇卷)	一八E	一〇七/三	一

經濟及社會問題 (財政)

同	(社會經濟體系第三卷)	一六E	一/三	一
地方財政概要	內務省地方局調	一三R	二九	一
地方財政學	小林丑三郎著 明治四四	一五E	六	一
地方財政學	ラートゲン述 明治二三 三版	一四E	一四	一
地方財政學要義講義	內務部編(地方自治講義第五種)	一〇五	一/五	一
地方財政問題	本多精一著 明治四四(最近經濟問題第一三卷)	一五E	一八	一
同	同	一八E	一三	一
地方財政要覽	明治三九年度 內務省地方局調 大正	一三R	一六	一
地方稅法	田中廣太郎著 昭和三(現代法學全集第九卷)	一七J	六三/九	一
地方稅改革問題	神戸正雄著 昭和七	一六E	一四	一
地方稅研究	田中廣太郎著 昭和四	一六E	六	一
地方稅ニ關スル調査	度支部司稅局編 隆熙三	一六E	一四	一
地券稅施行方法見込書	寫本	一〇A	一	一
治國譜及治國譜考證	朝日丹波、森文四郎共著 正四(日本經濟叢書卷一七)	一九E	一/七	一
同	同	一五E	一/七	一
同	同	一六E	一/七	一
同	同	一五E	一/七	一







經濟及社會問題 (財政)

田法四六精術	新田目道著 大正一五 (近世社會經濟叢書第六卷)	九M	三/六	一
田制沿革考及國郡管轄考	星野常高著 大正四 (日本經濟叢書卷一七)	九E	一/七	一
同		一五E	三/七	一
同		一六E	一/七	一
同		一五E	一/七	一
同		一〇〇三	一八/七	一
同	昭和四 (日本經濟大典第二六卷)	一九E	一/六	一
同		二E	九/六	一
同		一四	一/五	一
田制沿革考	日吉偉三著 大正五 (日本經濟叢書卷二一)	九E	一/三	一
同		一五E	一/三	一
同		一六E	一/三	一
同		一五E	一/三	一
同		一〇〇三	八/三	一
同	昭和四 (日本經濟大典第三三卷)	一九E	一/三	一

同		二E	九/三	一
田制租法	本居内遠著 昭和五 (日本經濟大典第四八卷)	一九E	一/八	一
同		二E	九/八	一
田租沿革要記	附石高孝大日 幸田思成著 明治二九 (本租稅志正誤)	一六	一/三	一
同	昭和五 (日本經濟大典第四七卷)	一九E	一/七	一
同		二E	九/七	一
田租考	栗原柳庵著 大正五 (日本經濟叢書卷二一)	九E	一/三	一
同		一五E	一/三	一
同		一六E	一/三	一
同		一五E	一/三	一
同	昭和四 (日本經濟大典第三三卷)	一九E	一/三	一
同		一〇〇三	一八/三	一
道府縣雜種稅一覽	內務省地方局編	七E	一/六	一
獨乙同盟關稅法	函館稅關編 明治三九	二E	一/六	一
獨乙政府強制公債	堀江榮助稿 大正一一 (調查資料第一三號)	三N	一/三	一

一九二二年獨乙財政計畫及稅制 堀江榮助稿 大正一三號

E 獨字國稅法 本多駒二郎述

英佛駐劄財務官戰時報告 大藏省理財局編 大正七

營業收益稅の話 勝正憲著 昭和五

營業稅問題 侯厚培著 民國二〇

英國賦稅要覽 バキストル著、何禮之譯 明治四四

英國公債整理事情 堀江歸一調查、東京交換所編

英國の金融市場と財政 大阪高等商業學校銀行業務研究室編 大正一〇 (大阪高等商業學校銀行業務研究室調查報告第三册)

英國整理公債並大藏省證券ニ關スル調査 一E

英領印度關稅定率表 昭和六 (貿易經濟叢書第三七) 二E

英帝國特惠關稅制度概要 外務省臨時調查部編 大正一二 四E

驛屯賭徵收ニ於ケル慣例調査 度支部司稅局編 隆熙二 六E

越中國官舍納穀交替記 (改定史籍集覽第二七册) 三H

フアッシュョ財政批判 ヱアラ著、木下牛治譯 昭和七 三E

府縣稅及北海道地方稅課率對照表 大正六、內務省地方局編 二E

省地方局編 二E

經濟及社會問題 (財政)

G

福建全省財政說明書 清理財政局編 (財政說明書) 三〇E

佛國ノ對聯合與國貨附金 安倍書記報告、日本銀行臨時調查委員會編 大正八 九E

佛國ノ財政政策ニ關スル前大藏大臣元老院議員リボー君ノ大演說 附大藏大臣ク(佛國ルタン紙掲載) 日本銀行調查局譯 大正九 九E

佛國及佛領印度支那の關稅政策 日本商工會議所編 昭和五 (調查資料八) 三E

佛國收稅法 大藏省租稅局譯 明治一一 四E

佛領殖民地の關稅政策 シロート著 昭和六 (南支那及南洋調查第一九七輯) 四E

合衆國收稅法 プーツウエル編、立嘉度譯 明治五 二H

現行地方稅要覽 上島清二著 大正一一 改訂增補五版 二四J

現行輸入稅率對照表 (關稅定率法) 改正案輸入稅率對照表 (案參考書) 七E

震火減免稅便覽 時事新報社編輯部編 大正一二 二七E

減債基金問題論文集 豐川良平集 大正六 一〇E

吟味方法留 寫本 二E

御分量金請拂帳 明治六、八 寫本 三E

御勝手方御定書 寫本 二E

濠洲貿易ト新關稅 蘆田五郎稿 大正九 (調查報告第一六號) 九E











經濟及社會問題 (財政)

經國本義	三木廣隆述 山田勝理筆記	大正四(日本經濟叢書卷一七)	二〇三	八九/七
同	昭和四(日本經濟大典第二六卷)		一九E	一/六
同	京市房捐之歴史及整理之經過	南京特別市財政局編 民國一八	三E	九/六
同	京市特種建設公債一覽	南京特別市財政局編 民國一八	三E	一
同	經濟財政橫議	堀江歸一著	大正二	六E 一六
同	同		三E	一〇
同	昭和四(堀江歸一全集第八卷)		八E	二九/八
同	吉林省の財政	中濱義久編 昭和三(滿鐵調查史料第八二編)	一九E	一四
同	吉林省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	三〇E	元
同	企業と租稅	勝正憲著 昭和五(商學全集第三一卷)	三E	一四
同	企業財政論	高瀬莊太郎著 昭和八(現代經濟學全集第三〇卷)	三E	一五
同	貴州全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	三〇E	一五
同	古傳祕錄	小松新治著 昭和四(日本經濟大典第二八卷)	一九E	一/六
同	古傳密要	萱場李著 書第五卷)	大正一五(近世社會經濟叢書)	九M 五

同	昭和四(日本經濟大典第二八卷)		一九E	一/六
同	同		三E	九/六
同	大正一二(仙臺叢書第四卷)		七M	四
同	興行稅及觀覽稅に關する調査	(東京商工會議所商工調査第二四號)	三E	一四
同	湖北省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	三〇E	一七
同	貢法論	近藤和四郎著 昭和四(日本經濟大典第三二卷)	一九E	一/三
同	同		三E	九/三
同	個人所得稅便覽	東京稅務監督局編 大正一二	八E	二五
同	國家財政學	小林丑三郎講(日本大學三八年講義錄)	一E	一〇
同	同	(日本大學三九年度講義錄)	一E	一三
同	國家財政史	小林丑三郎著(經濟全書第六卷第七編)	六E	八
同	國庫金業務狀況	貯金局編 昭和四	三E	一四
同	古今稅務要覽	昭和七(近世地方經濟史料第一卷)	三E	一
同	國別輸出入品價額十ヶ年對照表	(關稅定率調查參考書) 大藏省關稅局編 明治四二	七E	一三
同	國地財政劃分問題	李權時著 民國一八(經濟學叢書)	三E	一六
同	國民政府の財政報告	(民國十七年七月) 中濱義久譯 昭和レット第六九號)	三E	一六

國民政府の財政施設	志村悅郎著 昭和二(上海滿鐵調查資料第二編)	七E	一〇
國民政府財政ノ近狀	外務省亞細亞局編 昭和五	三E	一七
同	同	三E	三〇
國民豫算論	增補 太田正孝著 大正一三(報知文化叢書)	七E	一〇
穀物關稅論	神戶正雄著 明治四二(法律學經濟學研究叢書第三册)	二E	一六
黑龍江省の財政	昭和五(滿鐵調查資料第一四九編)	四E	一
黑龍江省財政一斑並現行稅則	南滿洲鐵道株式會社總務部調查課調查書 大正九(調查報告書第八一)	二E	一七
黑龍江全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	二〇E	元
國債調査	東京交換所編 明治四一	一E	一三
同	同	四E	三三
國債沿革略	大藏省理財局編 大正五	七E	一
同	同	三E	四
國債論	工藤重義著 明治四二(帝國百科全書第一九五編)	四M	一六
國債整理	小川郷太郎著 昭和五(時事問題講座第二)	三E	一〇
國債史	工藤重義著 明治四二(帝國百科全書第一九六編)	四M	一七
國債償還論	神戶正雄著 明治四一(法律學經濟學研究叢書第一册)	二E	一四

國債統計年報	大正三 大藏省理財局編 大正五	三E	一〇
國債要覽	林正明譯	五E	一〇
國定稅率協定稅率對照表		七E	一〇
元宮內府所管國有各地種考	度支部編 隆熙二	六E	一四
國稅全解	藤澤弘著 大正一一	三E	一六
小麥、小麥粉及烏卵輸入關稅率に關する意見	農學會編 大正一五	二E	一七
湖南全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	二〇E	一七
公債百萬磅定約集	寫本	H	四三
公債論	アダムス、小野英次郎合著 明治二九	一E	一七
公債論	神戶正雄著(經濟全書第五卷第六編)	六E	一〇
公債論	田尻稻次郎著 明治三一	一E	一五
公債論	田中穗積講(早稻田大學四十二年講義錄)	一E	一六
同	(早稻田大學政治經濟科第二八回講義錄)	八E	一三
公債手續報告書	寫本	H	四三
公債要論	田中穗積著 大正五	六E	一〇
廣西全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	三〇E	一〇
江西全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)	三〇E	一三
貢租所繁案	寫本	二E	一六



經濟及社會問題 (財政)

江蘇全省財政說明書 清理財政局編 (財政說明書)	三〇E	三	一
盡微問答 山崎開齋述 大正六 (三十輯第一)	二M	二五	一
同 大正三 (日本經濟叢書卷一)	九E	一	一
同	一五E	一	一
同	一六E	一	一
同	一五E	一	一
同	一〇〇三	一	一
同 昭和三年 (日本經濟大典第三卷)	一九E	一	一
同	二E	九	一
高等租稅各論 田中穗積著 明治三九	二E	四	一
同	二E	九	一
久世家秘傳地方落穂記 寫本	五	九	一
教育費負擔金増額と豫算問題 松田雪堂著 昭和	二七E	七	一
休戰後ニ於ケル佛國財政經濟施設概要 日本銀行調査局編 大正八	五E	三四	一
休戰後ノ米國財政 岡本初雄調 大正九	九E	三四	一
久德氏上書控 久德臺八著 昭和三年 (日本經濟大典第五卷)	一九E	三	一
同	二E	五	一

M

同 大正一四 (續日本經濟叢書第三卷)	六E	五	一
滿洲國現行內國稅稅率表 滿鐵經濟調查會編 昭和八	二六E	二四	一
滿洲國稅關輸入稅稅則 昭和八 八版	二七E	二六	一
滿洲國稅關輸入稅稅則 附統稅 滿洲書院編輯部編 規呈 昭和七	六E	八	一
マルクス主義財政特ニ租稅論 マルクス等共著、四方田敏郎編譯 昭和四	三E	一	一
松方伯財政論策集 松方正義著 昭和六 (明治前期財政經濟史料集成第一卷)	二四E	二七	一
明治三十七八年役戰後財政整理報告 大藏省編	七E	一〇	一
明治三十七八年戰時財政始末報告 大藏省編	三E	五	一
同	三E	五	一
明治四十三年度以降十ケ年間ニ於ケル財政狀態ノ變遷概況 日本銀行調査局編 大正八	五E	三五	一
明治大正財政詳覽 東洋經濟新報社編 大正一五 (東洋經濟新報創刊三十週年記念出版第一輯)	二E	一五	一
同 昭和四 再版	六R	四	一
明治財政史 土方成美著 (社會經濟體系第三卷)	六E	一	一
明治財政史 一名松方伯 明治財政史編纂會編 明治	三E	一五	一
第一卷 緒言、財政機關 第一一三卷 會計法規			
第三卷 豫算決算 第四卷 國庫內納			
第五一七卷 租稅 第七卷 葉煙草專賣			

三度圖書

第八、九卷 國債 第九卷 準備金			
第一〇卷 預金、恩賞諸祿、罹災救助基金			
第一一、一二卷 通貨 第一二一—二四卷 銀行			
第一五卷 凡例、總目錄、索引、附錄	三E	二	一
同	三E	一	一
同	三E	一	一
同	二〇E	二五	一
明治財政史綱 東洋經濟新報社編 明治四四	五E	六	一
同	八〇〇	二九	一
同	二八E	九	一
明治財政要鑑 細川雄二郎解 明治二五	H	二四	一
民國財政論 楊汝梅著 民國一六	三〇六	四	一
民國財政史 賈士毅著 民國六	二五E	八〇	二
民國財政史 賈士毅著、濱岡福松譯 大正一四	一五E	七	二
ミツチエル氏の財界前途樂觀說 池田龍藏譯 大正	九E	三〇	一
水戸領石高調帳 寫本	一七〇	一四	一
木材及林産物ノ關稅調 農商務省山林局編 明治	二E	六	一
文部省豫算書 文部省編 昭和三一	七R	六	一
N 內務省豫算書 內務省編 昭和三一	七R	一	一

經濟及社會問題 (財政)



經濟及社會問題 (財政)

日本國債論 青木得三著 昭和三	六E	一〇一	一
同 (社會經濟體系第三卷)	六E	一〇一	一
日本之富 日本銀行調查局調 大正五	六E	一〇一	一
同	六E	一〇一	一
同	六E	一〇一	一
日本新關稅率評論 カルミンスキ著、大藏省主稅局譯 明治四〇	七X	C四	一
日本租稅論 神戶正雄著 昭和三 (現代經濟全集第三卷)	三E	一〇四	一
日本財政經濟論 洪純一、モルトン共著 昭和六	四E	一〇三	一
日本財政經濟策 田尻稻次郎著 明治四四 (實業界臨時增刊)	六E	一〇四	一
同	六E	一〇四	一
日本財政の特殊問題 沙見三郎著 昭和三	一〇E	一〇五	一
日本財政論 小林丑三郎著 大正三	一〇E	一〇五	一
日本財政論 公債 大内兵衛著 昭和七 (經濟學全集第二卷)	八E	一〇七	一
日本財政論 租 阿部勇著 昭和八	六E	一〇五	一
日本財政論 租稅 阿部勇著 昭和七 (經濟學全集第三卷)	八E	一〇七	一
日本財政史 本庄榮治郎著 大正一五	六E	一〇五	一
日本財政史 土屋喬雄著 昭和五 (經濟學全集第三卷)	八E	一〇七	一
日本財政史論 渡部萬藏著 明治四二	二E	一〇七	一

O

同 大正元 再版	六E	一〇一	一
日本財政總覽 細川雄二郎編 明治二五—四一	三X	一〇六	一
第一輯 明治元年—明治二十三年度	三X	一〇六	一
第二輯 明治二十一年—明治二十五年度	三X	一〇六	一
同第一輯	三X	一〇六	一
第二十七八年戰役後之財政及經濟 鹽島仁吉、柳澤泰爾共編 明治三六	四E	一〇七	一
農林省豫算書 農林省編 昭和四一	七R	一〇七	一
大正五年度農商務省所管豫定經費追加要求書 大正七	二E	一〇〇	一
歐米大戰爭ニ於ケル財政ニ關スル調査 大藏省編 明治三五	一E	一〇六	一
歐米各國國庫歲出入金額、陸海軍費、出入貿易品元價概覽表 町田實一編 明治三三	二E	一〇九	一
歐米經濟財政要覽 大藏省理財局編 大正一五—	三R	一〇八	一
第一輯 英國 第二輯 米國 第三輯 獨逸	三R	一〇八	一
歐米國債整理始末 東京交換所編 明治四三	二E	一〇六	一
同	二E	一〇六	一
沖氏祕傳書 寫本	六E	一〇一	一
大隈君財政要覽 木龍清類編 昭和四 (明治文化全集第九卷)	一五M	一〇九	一
御藏舊例書 寫本	一〇E	一〇五	一
大藏省沿革史 大藏省編 昭和七、九 (明治前期財政經濟史料集成第二三卷)	四E	一〇七	一
大藏省年報 明治三八—大藏大臣官房文書課編 明治	一R	一〇三	一

P

大藏省豫算書 大藏省編 昭和四一	七R	一一	一
歐洲戰後の財界と日本の將來 田尻稻次郎著 大正四 再版	四E	一〇〇	一
歐洲戰後の財政及金融 田尻稻次郎著 大正五 三版	四E	一〇〇	一
歐洲諸國に於ける地方團體の課稅制度 內務省地方局編 明治三五	二E	一〇三	一
御財用方全體之儀等品々御奉行衆被御聞取調 十ヶ條申達候留 大年一五 (近世社會經濟叢書第三卷)	九M	一〇五	一
波斯關稅定率表 大藏省理財局編 昭和五 (貿易經濟叢書第三三輯)	三E	一〇三	一
R 禮記王制地理圖說 長久保玄珠著 大正四 (日本經濟叢書卷一六)	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
同 昭和四 (日本經濟大典第二三卷)	九E	一〇六	一
同	九E	一〇六	一
蘭領印度關稅定率法及關係法規 臺灣總督府編 昭和五 (南洋調查第一八輯)	三E	一〇五	一
蘭領東印度關稅法 藤井卯平譯 大正一四 (南洋經濟叢書第六冊)	六E	一〇四	一

經濟及社會問題 (財政)

歷代租法 大正六 (三十輯第三)

同 昭和三 (日本經濟大典第五卷)	一〇E	一〇五	一
同	一〇E	一〇五	一
理塵集 昭和七 (近世地方經濟史料第七卷)	二E	一〇七	一
陸軍省豫算書 陸軍省編 昭和三一	七R	一〇三	一
臨時軍事費豫算追加	七R	一〇三	一
理財稽蹟 小菅揆一著 昭和六 (明治前期財政經濟史料集成第一卷)	四E	一〇七	一
露國ノ經濟財政 大藏省理財局編 大正三 (調査月報特別第一、二號)	七E	一〇六	一
露國農民の課稅及其他負擔重度の研究 南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編 昭和二 (露亞經濟調查叢書)	三E	一〇七	一
露國ノ戰時財政 シンガリヨフ述、宮村時一郎譯 大正七	一〇E	一〇七	一
勞農露國豫算に就て 日露協會編 大正一三 (日露協會報告第一六號)	一三N	一〇六	一
露西亞社會主義聯邦ソヴェト共和國關稅定率表 大藏省理財局編 (貿易經濟叢書第三四輯)	三E	一〇三	一
欽定兩浙鹽法志 延豐泰錄 嘉永六序	四E	一〇四	一
第一冊 奏摺 職名 凡例 總目	四E	一〇四	一
第一、二冊 詔首	四E	一〇四	一
第四冊 圖說	四E	一〇四	一
第三冊 疆域	四E	一〇四	一
第五冊 課額	四E	一〇四	一







經濟及社會問題 (財政)

專賣局年報第一二回(明治四二年度)	明 專賣局編	明治四三	三R	四
仙臺藩租稅要略	宮城縣廳編 昭利七(近世地方經濟史料第四卷)	三三	五E	一
戰後各國關稅政策概說	日本商工會議所編 昭利四(調查資料六)	三三	一〇五	一
戰後財政整理案	池田龍藏調	大正七	九E	一
戰後財政始末報告	大藏省編	明治三三	三E	一
同			三E	一
戰時公債ト戰時財政摘要	メカニックス・エンド・行調、大藏省理財局譯	大正五	七E	一
戰時ニ於ケル地方財政經濟ノ概況	大藏省司稅局編	明治三八	一E	一
戰時ニ於ケル佛國ノ財政及經濟	田邊治一郎稿	大正六(橫濱正金銀行報第一二七號)	五E	一
戰時の財政經濟	大正六(戰時列國地方資料第五輯)		一〇E	一
戰時及戰後ニ於ケル英國財政	朝鮮銀行調查局編	大正八	九E	一
戰時財政(一九一四)	日本銀行臨時調查委員會編	大正八	九E	一
戰時財政經濟特ニ政府ト銀行トノ關係	東京銀行集會所編		六E	一
一九二九年英國事業促進(起債保證並補助)法	對米船舶提供記念財團譯		二E	一
陝西全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)		二E	一

戰爭ト外資	服部文四郎著	大正四	再版	四E	二二
社會問題と財政	小川郷太郎著	大正九		一Q	一
社會政策より見たる稅制問題	社會政策學會編	大正五(社會政策學會論叢第九冊)		一〇E	一
社會的財政學	大畑文七著	昭和五		三E	一
社會法大意	宇井小一郎著	昭和三(日本經濟大典第一卷)		九E	一
同				三E	一
社會私議	中井積善著	寫本		三E	一
市町村財政の實際と其理論	田子一民著	大正七		五P	一
四田缺借精術	新田目道茂著	大正一五(近世社會經濟叢書第六卷)		九M	一
市營事業	社會政策學會編	明治四四(社會政策學會論叢第四冊)		六E	一
司法省豫算書	司法省編	昭和四		七R	一
下總國香取郡長岡村卯改山高水帳	(寶永八年)寫本			五X	一
支那現下の關稅問題	靜如著(支那研究彙錄三四)			三E	一
支那改訂輸入稅率表	東京商工會議所編	昭和四(商工調查第一八號)		三E	一
支那關稅改正問題	井出季和太著	大正一四(南支那及南洋調查第一〇二輯)		一五E	一
支那關稅改修問題と輿論	大日本紡績聯合會調查部編	大正三		八E	一
支那關稅問題論說集	支那關稅引上反對關西聯合大會編	大正六一		七E	一

支那關稅及釐金制度	吉田虎雄著	大正四	一〇E	七
同			二E	一
支那關稅制度綱要	增補 中濱茂久編	昭和七	三E	一
同	昭和四(滿鐵パンフレット第六五號)		三E	一
支那關稅制度論	高柳松一郎著	大正九	九E	一
千九百二十支那關稅定率表詳解	外務省臨時調查部編	大正一三	一四E	一
支那內國關稅制度	井出季和太著	昭和四一九(南支那及南洋調查第一五八、一七六、二〇八、二一五)	三E	一
支那ニ於ケル地租制度改革問題	田中富藏、清水友次郎共譯	大正七(調查資料第三輯)	九E	一
支那ニ於ケル關稅稅率改正及之ニ關スル内地課稅問題ニ就テ	(附錄マッケー)アレドン著、南滿洲鐵道株式會社總務部交涉局編(交涉資料第五編)		三P	一
支那の烟酒稅	橋川凌著	大正一一	三E	一
支那の關稅改正問題	木村増太郎報	大正一四(啓明會紀要第四號)	一五E	一
支那の對外交通經濟借款	中濱義久編	昭和五(滿鐵調查資料第一四〇編)	一四E	一
支那の對外交通政治借款	中濱義久著	昭和四(滿鐵調查資料第一一二編)	三E	一
支那の財政	安東不二雄著	大正一〇(續支那研究叢書第三卷)	一四E	一
同	再版		九E	一

經濟及社會問題 (財政)

支那の財政改革國債整理案	バツト著、古仁所豐譯	大正一二	一四E	一
支那陸境關稅制度綱領	外務省臨時調查部編	大正一〇(條約改正調查報告第一四號)	九E	一
支那最近の工業並に財政	臺灣總督府編	昭和四(南支那及南洋調查第一六二輯)	三E	一
支那政府の財政狀態に關する記錄	リチャードソン著、下田一史譯	大正一四(パンフレット第一四號)	一五E	一
國民政府支那新輸入關稅表	大阪商工會議所編	昭和四	三E	一
支那新輸入稅率と日支貿易	東亞經濟調查局編	昭和六	一四E	一
支那財政ノ真相ト其革新策ニ就テ	木村増太郎編	大正一四(啓明會紀要第三號)	一五E	一
支那財政論	木村増太郎著	昭和二	一七E	一
同			一七E	一
同			一七E	一
清韓關稅目詳解	附各國貨幣及坂口武之助著	明治	四E	一
審計院公報	國民政府審計院編	民國一八一	三五	一
清國關稅制度	酒匂秀一著	明治四四(東京高等商業學校研究叢書)	五E	一
新疆全省財政說明書	清理財政局編(財政說明書)		一〇E	一
新日本の財政經濟	本多精一著	大正二	八E	一
同			八E	一